

# 官報

號外

明治二十七年五月十九日

土曜日 內閣官報局

## 第六回 衆議院議事速記録第二號

明治二十七年五月十八日(金曜日)午後一時十分開議

議事日程 第三號 明治二十七年五月十八日

午後一時開議

- 第一 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出緊急事件) 第一讀會
- 第二 鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出緊急事件) 第一讀會
- 第三 營業滿期國立銀行處分法案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 國事ニ關スル犯罪ノ爲メ諸祿ヲ沒收セラレタル者ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第七 國稅徵收法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第九 明治二十二年勅令第四百四十一號第一條改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十一 明治二十三年法律第四號中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十三 明治二十五年豫備金支出ノ件(政府提出) 第一讀會
- 第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十五 明治二十五年各特別會計豫算外支出ノ件(政府提出) 第一讀會
- 第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十七 明治二十六年豫備金支出ノ件(政府提出) 第一讀會
- 第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十九 明治二十六年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件(政府提出) 第一讀會
- 第二十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十一 明治二十六年度ニ於テ中央備荒儲蓄金ヲ以テ豫算超過支出ノ件(政府提出) 第一讀會
- 第二十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

- 第二十三 解散ニ關スル決議案(河野廣中君外一名提出) 第一讀會
- 第二十四 會期ニ關スル決議案(山田東次君外一名提出) 第一讀會
- 第二十五 上奏案(片岡健吉君外五名提出) 第一讀會
- 第二十六 田畑地價特別修正法律案(東尾平太郎君外二十三名提出) 第一讀會

○議長(楠本正隆君) 諸君、例ニ依ッテ諸般ノ報告ヲ致シマスル  
 (森田書記官朗讀)

山口千代作君、首藤陸二君、高木正年君ヨリ國事ニ關スル犯罪ノタメ諸祿ヲ沒收セラレタル者ニ關スル法律案ニ對スル件ニ付、守屋此助君ヨリ金玉均事件ニ關シ清國政府ヘ對スル處置ノ件ニ付政府ヘ質問書ヲ提出セラレタリ  
 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

鐵道敷設法改正追加法律案  
 提出者 加賀美嘉兵衛君 望月右内君  
 重野謙次郎君 柴四朗君  
 家永芳彦君

外國ニ輸出スル物品ニ課スル海關稅免除法律案  
 提出者 大岡育造君 原善三郎君  
 島田三郎君 清水永三郎君

菓子稅免除法律案  
 提出者 高木正年君 前川慎造君  
 土居通夫君 林和一君  
 稻田政吉君

鐵道敷設法改正法律案  
 提出者 加賀美嘉兵衛君 望月右内君  
 山下千代雄君 重野謙次郎君  
 丹後直平君

鐵道敷設法中改正法律案  
 提出者 時岡又左衛門君

特別委員左ノ適當選セラレタリ  
 實業教育費國庫補助法案審査特別委員  
 石阪昌孝君 三浦碧水君  
 前川慎造君 駒林廣運君  
 長谷川泰君 橋本久太郎君  
 鐵道比較線路決定ニ關スル法律案外七件審査特別委員  
 菊池九郎君 厚地政敏君  
 小間肅君 重野謙次郎君  
 名倉次君 望月右内君

加賀美嘉兵衛君 坂本則美君  
 松田吉三郎君  
 安田愉逸君  
 加賀美嘉兵衛君  
 田中源太郎君  
 佐藤里治君

綿絲輸出税免除法律案審査特別委員  
 佐藤八郎右衛門君 紫藤 寛治君 奥 三郎兵衛君  
 江 碯 均君 丹後 直平君 栗原 亮一君  
 小倉 良 則君 佐々木 政 父君 吉富 簡一君  
 駒林廣運君外七名提出ニ係ル蠶種検査法案提出者中駒林廣運君ヲ取消サレ  
 タキ旨申出テラレタリ

〔左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

國事ニ關スル犯罪ノ爲諸祿沒收セラレタル者ニ關スル法律案ニ對ス  
 ル質問書

該法律案第一條ニ明治三年九月十日太政官布告藩制施行ヨリ同九年八月太  
 政官第百八號布告實施間ニ於テ國事ニ關スル犯罪ノ爲家祿賞典沒收セラ  
 レタルモノ云云右ハ何等ノ理由アリテ明治三年ヨリ起算セシカ假令ハ其以  
 前明治元年以來國事ニ關スル犯罪ノ爲家祿ヲ沒收セラレタルモノナシト  
 セス然ルニ彼等ニ對シテハ其恩典ノ及ハサルハ何等ノ主意アリテ然ルヤ此  
 均シク國事ニ關スル諸犯ニシテ一視同仁ノ恩典ニ浴スル能ハサルハ是レ頗  
 ル了解ニ苦シム所ナリ依テ議院法第四十八條ニヨリ質問書提出候也  
 右成規ニ據リ提出候也

明治二十七年五月十八日

提出者 山口千代作 外二名  
 贊成者 佐藤文兵衛 外三十名

質問書

曩ニ金玉均ハ上海東和洋行ニ於テ兇漢洪鐘宇ノ銃殺スル所トナリ其遺骸ハ  
 日本人和田延次郎カ上海道臺ノ檢屍ヲ經テ既ニ之ヲ受取リ稅關手續結了ノ  
 上荷物トシテ將ニ日本郵船會社ノ漁船ニ搭載シ吾國ニ持テ歸ラントスルノ  
 際清國政府ハ其遺骸ヲ掠奪シ兇漢洪鐘宇ト共ニ自國ノ軍艦ニ搭載シ朝鮮ヘ  
 送附シ吾日本帝國ヘ大侮辱ヲ加ヘタリ  
 右清國政府ノ所爲ニ對シ吾政府ハ何等ノ處置ヲ爲シタルヤ  
 又此後何等ノ處置ヲ爲サントスルヤ  
 右議院法第四十八條ニ依リ質問ニ及ヒ候間至急答辯アラントヲ望ム

明治二十七年五月十八日

提出者 守屋此助  
 贊成者 犬 養 毅 外三十名

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、中野武營君

○中野武營君(二百五十七番) 本員ハ豫算委員長ノ資格ヲ持チマシテ請求ガ  
 ゴザイマス、豫算委員ハ豫算調査中デゴザイマスルニ依ッテ、都合ニ依リマ  
 シテ本議場ヲ缺席ヲ致シマスルコトゴザイマスルガ、此儀豫メ本院ノ許可  
 フ得タイノデゴザイマス

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(楠本正隆君) 議場ニ別ニ御異議ガゴザイマセヌケレバ中野武營君ノ  
 請求ヲ許スモノト認メマス、是ヨリモウ一ツ茲ニゴザイマスル、富永準太君ハ  
 豫算委員デゴザイマシタガ、病氣ニ就イテ辭任ノ申出ガゴザイマス、病氣ニ就  
 イテ豫算委員ヲ辭任致シタイト申出ガゴザイマス、是ハ前例モアルコトデゴ  
 ザイマスルガ故ニ請願ヲ御容ニナリマスルカ、御異議ガアレバ決議ヲ採リマ  
 ス

○國島博君(百五十八番) 是ハ先例モアツテ許サレヌコトニナツテ居ルノデ  
 アリマスルカラ、一度病氣ト云フハ已ムヲ得ヌデアリマセウガ、病氣ナラバ  
 又癒ルコトモアル、休ンデ居ッテモ尙ヘヌノデゴザイマス、漫ニ之ヲ毀ハス  
 ト云フト爲ニ屢々、辭任ガ出テ後ノ惡例ニナルデアラウト存ジマスルカラ、許  
 サレヌ様ニ致シタイト考ヘマスデゴザイマス

○河島醇君(四十一番) 私ハ國島君ニ贊成致シマス、本人ガ議場ニ出席ノ出  
 來ヌ有様デアレバイザ知ラズ、尙ホ議場ニ出席ガ出來ルナレバ許スト云フコ  
 トハドウモ先例ニ對シテ不都合デアルト思ヒマス

〔百五十八番ニ贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 百五十八番ハ辭任ハ未來ノタメニ許スハ宜シカラヌト  
 云フ說デアリマスカラ決ヲ採リマス、辭任ヲ容レザルコトニ同意ノ諸君ハ起  
 立

〔分ラヌト呼フ者多シ〕

○議長(楠本正隆君) モウ一應採リマスル、此問題ニ對シテハ——然ラバ端  
 フ更メテ許スト云フコトニ就イテ決議ヲ採リマス

○千田軍之助君(百六十七番) サッキノ宣告ガ明瞭ナラナカッタニ就イテ、  
 少シ起立ニ迷フタ人ガアリマス

○議長(楠本正隆君) 宜シウゴザイマス、豫算委員辭任ノ申出ガゴザイマス、  
 之ヲ辭任シタイ、豫算委員ヲ病氣ニ附イテ、之ニ同意スルヤ如何ノ決議ヲ採  
 リマス

○下飯坂權三郎君(十番) 一寸私ハ此間今日ハ富永君ハ出席サレヌノデアリ  
 マスカ、ドウデアリマセウカ、來テ居ルナラツレデハイケナイ

〔大井憲太郎君「決ヲ採リ始テカラソシナ餘計ナコトニ構ハズニ」……ト呼フ〕

○議長(楠本正隆君) 富永準太君ノ辭任ヲ許スト云フコトニ同意ノ諸君ハ起  
 立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數

○守屋此助君(百十二番) 議長、私ハ質問書ヲ出シタコトニ附イテ

○議長(楠本正隆君) 登壇ヲ促シマスル

（守屋此助君演壇ニ登ル）

○守屋此助君(百十二番) 諸君、自分ハ今日政府ニ對シテ質問書ヲ出シマシ  
タ、其質問ノ趣意ハ明治十七年ニ朝鮮國デ亂ルアリシ時ニ、朝鮮國デ亡命  
ノ人トナリ、日本ニ來ッテ岩田周作ト唱ヘシ人、此人ハ明治十七年以來日本  
國ノ保護ノ下ニ立チ、日本政府モ十分ニ之ヲ保護シ、吾々義氣ニ富シテ居ル  
所ノ四千万ノ同胞モ之ヲ愛シタムアル、此人不幸ニシテ先ニ上海ニ於テ洪  
鐘宇ノタメニ銃殺サレマシタ、銃殺致サレマシタ、其時ノ跡始末——跡始末  
ト云フコトニ附イテノ問ゴザリマス、其問ヲ出ス前ニ二言申シテ置カ  
ケレバナラヌコトガアル、ソレハドウ云フコトデアル、金玉均ハ日本ニ來ッ  
テハ岩田周作ト唱ヘテ十年ノ餘留ッテ居ッテ日本政府ハ岩田周作トシテ警  
察署等ニ於テ取扱フシテ居ル、サウシテ此人ニ向ッテ小笠原島ニ送ル、若ク  
ハ北海道ニ送ルト云フ事柄ハ罪人囚徒トシテノ取扱ハゴザリマセヌ、岩田  
周作ナル人ヲ十分保護スルト云フ氣デ日本政府ハ送ッテ居ル、ソレ故彼ガ到  
ル處家屋ヲ政府ガ供シテヤリ、食物ヲ供シテヤッタデハゴザリマセヌカ、  
是ハ十分デス、サウデゴザリマスカラ日本政府ハ此岩田周作ナル人、朝鮮ノ  
亡命ノ人、金玉均、此人ヲ保護スルト云フ意思ハ第一アツタト云フ事實ハ動  
キマセヌノデゴザリマス、ソレカラ此人ガ神戸ノ港ヲ發シテ上海ニ到ル其時  
ニ如何ナルコトヲ爲シタカ、日本ノ保護ヲ岩田周作ナル者ハ離レル氣デ居  
タカ居ラナイカ、彼ノ心情ヲ一ツ探ッテ置カケレバナラヌ、政府ノ意思ハ  
カリデハイケンイ、日本國ノ保護ヲ受ケヌト彼レ自身ニ離レタカ否ヤガ最  
モ大切デアリマス、是ハ當然日本政府ノ保護ヲ離レナイト云フ意思ハ彼カ發  
表シテ居ルコトハ著明ナルモノガゴザリマス、ソレハ何デアルカ、神戸ノ港  
ヲ發スルトキニ往復切符ヲ買ッテ神戸ノ港ヲ出タノデゴザリマス、是カラ推  
シテ見レバ彼レ自身ニ於テモ日本ノ保護ノ下ニ立ツト云フ氣デ居ル、日本政  
府ハ十年此方彼ノ保護ニ熱心デアツタ、サウシテ見レバ過日伊藤總理大臣ノ  
御演說ヲ之ニ照シ合セレ、大變疑問ガ深クナツテ來ニヤナラヌ、ナゼナラ  
バ總理大臣ノ演說ハ何ト申サレタ、日本ノ外交ノ政策ト云フモノハ維新以來  
更ニ變更スル所ガナイ、斯様ニ總理大臣ハ斷言シテ居ラレル、此事柄ガ偽デ  
ナケラネバ——此事柄ガ法螺デナケラネバ、ドウ云フ疑問ガ出テ來ルカト云  
フニ、日本政府ガ此金玉均ト云フ事柄ハ一人ノコトデハゴザリマスガ、日清  
韓ノ三國ニ關ル所ノ外交上ノ重大ナル問題ナリト、斯様ニ考ヘルノデアアル、  
ソレハナゼナレバ往復切符ヲ買ッテ而シテ上海ニ至ッテモ日本人ノ開イテ居  
ル旅館東洋行ニ止宿シタ程デアアル、飽マデ日本ノ保護ノ下ニ立タウト思ッ  
タノデアアル、此人ガ銃殺ヲ致サレタ、是ハ支那ノ上海ニアツタコトデゴザリ  
マスカラ現在——現在斯ノ如キ事變ノアリシ所ノ國デ檢屍ノ手續ヲスルト云  
フハ是ハ當然デアアル、檢屍ノ手續ガ濟シ其後ハ彼レ上海道臺ハ之ヲ如何ニ  
決シタル、日本人和田延次郎ニ引渡シタデハナイカ、此引渡ガ濟ンデカラ後  
ハ理窟ノ上カラ判斷スレバ是ハ何物デアアル、朝鮮亡命ノ金玉均即チ岩田周作  
ナル人、此人ハモウ其時カラ後ハ日本人 和田延次郎ノ荷物ニナツタノデゴ  
ザリマス、ソレ故稅關ノ手續ヲシテ——稅關ノ手續ヲ經テ之ヲ荷物トシテ、  
荷作ヲシテ日本ノ郵船會社ノ船ニ積ンデ戻ラウトシタノデゴザリマス、其戻  
ラントスル時ニドウシタカト云フト上海道臺ハ檢屍ノ手續ヲ濟マシテ、是デ

宜シト支那官吏ガ日本人和田延次郎ニ渡シタノデゴザリマス、此後ハ和田  
延次郎ノ荷物ニナツテ居ル、此物ガ一人ノ唯私有物デ何ニモ國ノ交際上ノ事  
柄外國ノ關係上ニ更ニ關係ナイモノナラソレハ強テ此演壇ニ立ッテ言フ程ノ  
コトハアリマセヌ、前ニモ申シ諸君ノ御熟知ノ如ク日清韓三國ニ關ル所ノ  
重大ナル關係ヲ持ッテ居ル所ノモノデアアル、此物ヲ支那政府ハ一度日本人和  
田延次郎ニ渡シテソレカラ後妙ニ言葉ヲ作り設ケテ正々堂々ノ談判ヲ取ツタ  
ンデゴザリマセヌ、正々堂々ノ談判ヲ取ツタナリ、跡ヲドウシタ、支  
那ノ國ノ軍艦ヲ積送ツタ、而カモ送り方モアラウニ支那ノ軍艦ニ入レテ兇漢  
洪鐘宇ト船ヲ同ジウセシメテ朝鮮政府ニ送ツタ、支那政府ノ所爲ハ何デア  
ル、日本ノ國ノ是程保護シテ政府モシテヤル我々、四千万同胞モ之ヲ大切ニ思ッ  
テ居ルモノヲ朝鮮ニ送ル、朝鮮ニ送レバ、野蠻ノ國デアアルカラ死ンデ  
後ニ死體ニ向ッテ又刑ヲ加ヘルト云フコトハ、彼レ支那政府ト雖モ知ラナケ  
レバナラヌ、知ッテ居ルノデアアル、サウシテ知ッテ其上何ヲシタカ、支那政  
府デ……支那ノ政府ト云ヘバ誰ノ考ニモ李鴻章ト云フ考ガ直グ浮ブノデア  
マス、此李鴻章何ヲシタ朝鮮ニ向ッテ祝辭ヲ送ツタ、朝鮮ニ祝辭ヲ送ルノガ  
合點ガ往カヌ、平ツタク云ヘバ、日本ノ國ニ向ッテハ悔ミノ電報ヲ寄越サニヤナ  
ラヌ、誰カ日本ヲ尊敬シテ居レバ……日本ノ外交政策ガ——外交政策ガ海外  
ノ國ニシテ畏怖セシメ尊敬セシムルダケノ政略ヲ執ッテ居ラレタナラバ、  
貧弱國ナル朝鮮ニ向ッテ祝辭ヲ贈ルト云フ事柄ヲ隣國支那ガ見テ我々ガ保護  
シテヤツタ同胞ト一般ノ保護ヲシテ遺ル者ガ殺サレタ時ニ、悔ミノ電報一本  
位ハ取ラレナケレバナラヌ、所ガ此事ニ就イテハソレ一ツモ取ラレナイ  
ハ、ソレハ併ナガラ支那ノ政府ノ仕方ガ直接ニ言ヘバ惡ルイ、併ナガラ其源ヲ  
探グレバ日本政府ノ外交政策ニ於テ海外諸國ニ侮ラレテ居ルト云フコトハ免  
二角一ツ見ユルノデアアル、ソコデ支那政府ガ一旦日本人 和田延次郎ニ渡シ  
タモノヲ、正々堂々タル手續ヲ渡シタモノヲ、正當ノ理由ナクシテ曖昧模糊  
ノ間ニ取ラゲテ自國ノ軍艦ニ搭載シ洪鐘宇ト船ヲ同ジウシテ之ヲ送ル、此事柄  
ハ諸君ドウデゴザリマセウカ、日本ノ國ニ向ッテ彼ガ侮辱ヲ加ヘテ居ラヌカ、  
無禮ノ所爲ヲシテ居ラヌカ、是ガ無禮デナイカ、侮辱デナイカ、無禮ト云フ  
事柄ト侮辱ト云フコトハ斯ノ如キ事實ヲ名ケテ侮辱ト云ヒ無禮ト云フノデア  
ラウト私ハ確信シテ居ルノデアアル、此無禮侮辱ヲ受ケタカラソコデ自分ガ今  
ノ内閣ニ向ッテ問フノハ清國政府ニ向ッテ今日唯今以前——今日唯今以前伊  
藤伯ガ立派ニ申サレタ所ノ十年此方外交政策ノ事ニ就イテハ一ツモ變更セヌ  
ト言ツタ、其斷言ニ向ッテ此十年此方是迄保護ヲシテ居ル者ガ殺サレタ、此國  
ガ侮辱セラレタト云フニ就イテドウ云フ處分ヲシテ居ルカ、是ガ第一ノ問デ  
アリマス、第二ノ問ハ——第二ノ問ハ今日以後ハ如何ニスルカ——今日以後  
ハ如何ニスル、此事ニ就イテ一寸申上ゲテ置クノハ隨分上海ニ居ル領事ノ仕  
方ガ不親切デアルト云フ小言モアル、ソレカラ大島公使ト云フ朝鮮ニ居ル公  
使ハ如何、朝鮮ノ國デ金玉均ヲ洪鐘宇ガ銃殺シテ先ツ朝鮮ノタメニハ御目出  
度ト云フコトデ、朝鮮ノ宮廷ニ於テ祝宴ノ會ガアツタ、是ニ招カレテ居ル、  
日本ノ立派ノ公使先生ハ金玉均ヲ養ニシタト同一般ナ御馳走ヲ食ベテ居  
ル、此公使先生ハ立派ナ東洋ノ日本ノ國カラ朝鮮ニ公使ト成ッテ居ッテおまけ  
ニ支那ノ公使マデシテ居ルト云フ先生デアアル、前ノ大石君ヲ取換ヘヌナラバ  
私ノ考ヘデハ大石君ハ左様ナ金玉均ノ養同様に御馳走ハ食ベニ往カナカッタ

人デアラウト思フ、併ナガラ免ニ角ツレヲ食ベニ往ツタト云フ事柄アル、サ  
 ウスレバ是カラ後ノコトハ私ノ考ヘルニ優柔不斷ニシテ此事柄ヲ事理曖昧ナ  
 ル間ニ置クカ、今日迄モ置イテ居ルガ、今日以後モ亦置クカ、飽迄其此侮辱  
 ヲ加ヘラレタコト、是ハ一言半句モ朝鮮政府ニ云フコトガ出來ヌノハ洪鐘  
 宇——金玉均ノ死骸是ヲ日本人ガ受取ツテ置イタモノヲ曖昧模稜ノ間ニ  
 取ツテ自國ノ軍艦ニ載セテ朝鮮ニ送ツタト云フノハ事實ガ明白分明、此事柄ハ  
 本當ノ外交政略ノ腕前ノアル人ナラバ、此禍ヲ轉ジテ福トスル仕事ガ出來ル  
 デアラウ、彼ノ李鴻章ノ肝膽ヲ冷ヤカナラシムルト云フ仕事モ出來ルデアラ  
 ウ、此談判ガ出來ルカ出來ナイカ、スルカシナイカト云フ事柄ヲ一ツ聽キタイ  
 ノダ、今日極ク強硬所謂對外硬派ノ考ハ總テノ事柄ニ就イテ簡様ノ時ニ侮辱  
 ヲ與ヘタ時ハ捨置カヌト云フツレバ政府ハ同意ヲスルカセヌカハ擱イテ、是  
 ニ於テ政府ハドウスルカ、此間ニ依ツテ——此答ニ依ツテ私ノ考ハ十年一日ノ  
 如ク外交政略ハ一モ變更シナイト云フ此伊藤伯ノ言ヲ疑フノデアアル、ドウ云  
 フノガ一體變更セヌト云フヤリ方デアアルカ、小サナ朝鮮政府ニ向ツテモ色  
 ヤリ方ガ違フノハ是ハ維新以來ノ一定ノ方針、一定ノ仕事ヲシテ居ル  
 言ツテ居ル、サウシテ見レバ此答ノヤリ方今日以後ノ仕事モ唯今以前ノ仕事  
 モ今日迄一ツニシテ居ルカ、今日カラ後モ是デ貫クト伊藤ノ言ハレタカラ、  
 ヲコデ此後ノ仕方ヲモ聽イテ置クト、海外諸國ノドコノ國ニ對シテモ今日  
 本ノ政府ノ方針迄併セテ知レルト思ヒマス、以上ノ理由デアリマスカラ極ク  
 貴重ノ時間ヲ諸君ノ清聽ヲ煩ハシマシタ、以上ハ私ガ此問題ヲ出シタ所以デ  
 アリマス

○山口千代作君(二百六十六番) 議長

○議長(楠本正隆君) 理由ノ説明ナラバ御登壇ヲ

(山口千代作君演壇ニ登ル)

○山口千代作君(二百六十六番) 私ハ本日此國事ニ關スル犯罪ノタメニ諸君  
 ヲ沒收サレタ法律案ヲ政府カラ提出致シマシタ、此事ニ就イテ少シ了解ニ苦  
 シムコトガアルノデ質問書ヲ提出シマシタ、其理由ヲ簡單ニ述ベルデゴザイ  
 マス、暫時御清聽ヲ請ヒマス、私ガ政府ニ質問致シマス要點ハ、第一條ノ明治  
 三年九月十日太政官布告藩制施行ヨリ同九年八月太政官第八號布告實施マ  
 デノ間ニ於テ國事ニ關スル犯罪ノタメ家祿ヲ沒收セラレタモノニ就イテ云フ  
 ト云フコトデアリマス、成程此等ノコトハ隨分吾々モ不同意デアリマセヌ  
 ガ、政府ハ是位ノコトヲ爲サウト云フ考ヲ持チナガラ是ヨリ以前ノモノニ對  
 シテハドウデアアルカ、明治二年カラ以前ノ間ノモノハ構ハヌノデアアルカ、斯  
 云フ點ナノデアリマス、同ジク國事ニ關シテ諸君ヲ沒收サレタモノデアリマ  
 スレバ元年以後ハ同ジク斯ノ如ク處分ヲシテモ當リ前ノ話デアアル、然ルニ三  
 年ト茲ニ期限ヲ切ツタノハ何等ノ所以アツテ斯ノ如クデアリマスカ、吾々ハ  
 少シ考ヘマス、一體政府ノ處置ガ偏重偏輕デアルト私ハ思ヒマス、何ゼサウ  
 云フコトヲ申スカト云フト、私ハ會津人デアリマス、我會津ノ如キハ戊辰ノ  
 際ニ御承知ノ通ア、成ツテ仕舞ツタノデアリマス、然ルニ明治二年ニ至ツテ斗  
 南ノ藩籍ニ移サレテ三万石ニ成ツタノデアリマス、其三万石ノ斗南藩ガ其藩主  
 ハ成程公債證書ハ貫ヒマシタケレドモ、其士族ニ至ツテハ一人モ公債證書ヲ  
 貰ツタ者ハナイ、ソレハ何等ノ譯カト云フニ此貫フベキ時節ニ居リシナカッ  
 タ、ソレガタメニ期限ヲ經過シタカラ今ニ成ツテ渡スコトガ出來ヌト云フ話

ダサウデアリマス、私ハ自分ハ士族デゴザイマセヌ、純粹ノ平民デゴザイ  
 マスカラ關係ガゴザイマセヌケレドモ、併シ會津ノ有様ハ私ハ承知致シテ居  
 リマス、流離顛沛ノ間ニナカノ一藩舉ツテ居書ヲサツかり揃ヘテ出スト云  
 フコトハ出來ヌコトハ事實ニ於テ相違ナイノデアアル、然ルニ政府ハ些トモ之  
 ニ向ツテ憫諒スベキコトモ何ニモ要セズシテ、却テ其他ノ事ニ向ツテ斯ウ云フ  
 法案ヲ出スト云フコトハ私ハ藩閥政府ガ藩閥ニ御勝手宜イ方ニノ最負スル  
 ト考ヘル、若シ政府ト云フモノガ三百諸侯ノ或ル中デ其臣下ニ一葉ノ公債證  
 書ヲ請取ラヌノガアルニ、之ヲ不問ニ措イテ政府ノ職分ガ立チマセウカ、  
 私ハ立チマセマイト思ヒマス、一人ヤ二人ハ成程期限經過ト云ツテモ宜カラ  
 ウ、一藩舉ツテ一人モ之ヲ受ケヌ者ニ向ツテツレバ不問ニ措イテ、此等ノ者  
 ハ期限經過デアアル、期限經過ト謂ヘバ此法律案モ期限經過デアアル、簡様ナ僅  
 ナ者ニ厚クシテ一藩舉ツテ斯ノ如キ非常ナ有様ニ沈淪シテ居ル者ヲ少レモ構  
 ハヌト云フハ、藩閥政府ハ會津征伐ノ怨ヲ以テマダマダ遣ツテ居ルカト云フ  
 考ヲ持ツテ居ル、サウ云フコトハ今日ナイ答デアアル、今日ノ立憲政治ニ於テ  
 ナイ答デアアルカラ、私ノ考フルニハ此等ノ者モ私ハ贊成シマスケレドモ、此  
 外ニモマダ漏レテ居ル者ガアル、斯ノ如キ者ハ一視同仁ノ恩惠ニ浴セシメラ  
 レンコトヲ希望シテ居ル、然ルニ夫等ノコトヲ政府ガ不問ニ措クト云フハ何  
 等ノ意味アツテ知ラヌ振ヲシテ居ルカ、其次第ヲ明ニ私ハ質問シテ茲ニ説明  
 ヲ請フノデゴザリマス、非常ナル多事ノ時デゴザリマスカラ多言ハ述ベマセ  
 ヌ

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ議事日程ニ掲ゲタル第一ノ鐵道ニ關スル法律案  
 ノ一讀會ヲ開キマス

第一 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出緊急事件) 第一讀會

(町田書記官朗讀)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條第九項ノ次ニ左ノ二項ヲ追加ス

一 中央豫定線ノ内長野縣下長野若ハ篠ノ井ヨリ松本ヲ經テ第一項ノ線路  
 ニ接續スル鐵道

一 九州豫定線ノ内熊本縣下宇土ヨリ八代ヲ經テ鹿兒島縣下鹿兒島ニ至ル  
 鐵道

(政府委員逓信次官鈴木大亮君演壇ニ登ル)

○政府委員(鈴木大亮君) 唯今議事日程ニ付セラレテ居リマスル鐵道敷設法  
 中改正法律案デゴザリマス、是ハ既ニ昨日第一讀會ヲ經マシタ鐵道ニ關シマ  
 スル法律案ト同シ性質ノモノデゴザリマス、別ニ要領ヲ述ベマシタル必要モナ  
 イト思ヒマスカラ、矢張昨日此處デ請求致シマシタト同様ニ速ニ協贊アラ  
 コトヲ希望シマス

○櫻井知則君(二百五十四番) 本員ハ昨日ノ決議ニ依リマシテ先刻議長ヨリ  
 御報告ニナリマシタ鐵道委員ニ付託スルト云フコトニ致シタイ

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 二百五十四番ノ意見デ最前ノ委員ニ付託シタイト云フ  
 ……(異議ナシ異議ナシ)ノ聲起ル)異議ガナケレバサウ致シマス——次ハ第  
 二ニ移リマス

第二 鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出)

緊急事件

第一讀會

〔町田書記官朗讀〕  
明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條第十項ノ中央豫定線比較線路ハ左ノ線路ヲ採ル

一 長野縣下條ノ井ヨリ松本ヲ經ル鐵道  
櫻井知則君(二百四十五番) 本案モ前同様御取計ヲ願ヒマス

〔贊成々々ノ聲起ル〕

○議長(楠本正隆君) 御異議ガナイカラ前同様決定致シマス——鐵道敷設法ニ關シテ加賀美嘉兵衛君外四名、同ジク加賀美嘉兵衛君外四名、同ジク時岡又左衛門君ノ提出ニ係リタル法律案モ鐵道ニ關シテ居リマスカラ、此法律案モ前同様先刻ノ委員ニ委託致ス召思ガゴザリマスレバ……

○時岡又左衛門君(九十八番) 贊成

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(楠本正隆君) 然ラバサウ致シマス——次ハ第三ニ移リマス

第三 營業滿期國立銀行處分法案(政府提出)

〔町田書記官朗讀〕

第一讀會

營業滿期國立銀行處分法案

第一條 國立銀行ニシテ營業滿期後國立銀行條例第十二條ニ依リ私立銀行ノ資格ヲ以テ營業ヲ繼續セントスルモノハ營業滿期ノ日ヨリ六箇月以前ニ營業繼續及定款改正ノ決議ヲ爲シ其ノ改正定款ヲ添ヘ大藏大臣ニ營業繼續ノ許可ヲ請フヘシ

第二條 前條ノ國立銀行ニシテ資本金額ヲ減少シテ營業ヲ繼續セントスルモノハ國立銀行條例第四十二條第四十三條及第四十四條ノ手續ヲ了シタル上前條ニ依リ營業繼續ノ許可ヲ請フヘシ但同條例第十七條ノ制限ヲ適用スル限ニアラス

第三條 營業繼續及定款改正ノ決議ハ國立銀行條例第六十九條格段決議ノ方法ニ依ル

第四條 營業滿期ニ至リ營業ヲ繼續セサル國立銀行ノ解散手續ニ關シテハ商法株式會社解散及清算ノ條項ヲ適用ス

○政府委員(田尻稻次郎君) 議長

○議長(楠本正隆君) 田尻君

〔政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田尻稻次郎君) 唯今提出ノ營業滿期國立銀行處分法案デアリマスガ、御承知ノ通り、國立銀行條例第十二條ヲ見マスト、現今ノ國立銀行ト云フモノハ營業滿期後ハ紙幣發行ノ權ト云フモノハ繼續スルコトガ出來ナイガ、併ナガラ私立銀行ノ資格デ其營業ヲ繼續スルコトヲ得トアリマス、然ルニ營業ヲ繼續ノ方法ト云フモノハ別ニ國立銀行條例ニ依リテ規定シテアリマセマデ、既ニ此期限ト申シマスモノハ早イノハ二十九年ノ九月ニ參リマス、遲イノハ三十二年ニ參リマスカラ、はや餘日モナイコトデアリマスカラ、何卒此期限ニ際シマシテ繼續ノ方法ヲ附ケテ置キマシテ、サウシテ繼續ガ全ク圓滑ニ出來ルヤウニ致シマセスト、其時ニ非常ニ混雜ヲ起サウト云フ憂ガアリマシテ、若シ又サウニ云フコトガアリマシタラバ經濟社會ニ非常ノ紊亂ヲ

惹起スコトデアツテ、國家ノ經濟ノタメニ憂フベキコトデアリマスカラ、此案ヲ提出致シマシテ成ルベク圓滿ニ經過ヲ遂ゲヤウト云フ考デアリマスカラ、尙ホ細カナコトハ何レ委員會ヲ開カレマセウカラ、詳細ナル御説明ヲモ申シマスガ、今日ハ唯此事ノ大體ニ附イテ此案ヲ諸君ニ御披露致シテ置キマス

○河島醇君(四十一番) 此政府提出ノ法案ハ最モ國家經濟上ノ必要ノ問題ト思ヒマスガ故ニ、希クハ特別委員十八名ヲ選定セラレムコトヲ希望スルノデゴザリマス

○奧三郎兵衛君(九十八番) 四十一番ヲ贊成

○清水隆德君(二百六十番) 私ハ本案ニ就キマシテ政府委員ニ質問ヲ致シタコトガ數箇條アリマスデ、今日唯今現存シテ居リマス所ノ國立銀行ト云フモノハ百三十幾ツノ多數アルデアリマスガ、其多數ノ銀行ト云フモノハ悉ク紙幣ヲ發行シテ居ルノデゴザリマス、其發行ヲシタ所ノ紙幣ト云フモノハ營業滿期ガ來タラバ必ズ償却シテ往カナケレバナラヌ責任ノアルコトデゴザリマス、前ニハ合同シテ償却方ガ出マシタ時分ニハ凡ソ二十箇年ト營業滿期ノ期限ヲ附ケル時分ニ合同償却方ニ依リテ紙幣ヲ償却シ盡ス目的デアリマシタガ、併ナガラ公債相場ノ變動トカ、又ハ公債利子ノ低減トカ云フヤウナコトヨリ遂ニ二十箇年ト營業滿期ニ至リテ紙幣償却ガ出來ナイコト云フ勘定ニナツテ居リマス、紙幣償却ト云ヒ營業滿期ト云フコトハ實ニ附帶シテ密著シテ離レハコトガ出來ナイ關係ヲ持ツテ居リマスカラ、此滿期ガ來マスレバ紙幣償却ハ政府ハドウ云フ方法ヲ以テナサル御見込カラ第一ニ聞キタイ、ソレカラシテ第二ハ本案ノ三條ニ此私立トシテ——滿期ノ後私立トシテ繼續致シマス際ニハ、株主ノ格段決議ヲ以テ繼續スルコトガ出來ルコトヲ言フ箇條ガ書イテアリマス、一體此國立銀行ト云フモノハ明治九年ニ改正ニ成ツテ、國立銀行條例ニ依リテ組織シタモノデゴザリマスカラシテ、若シ國立銀行ノ命脈ガ終ハッタナラバ株主ガ任意ニ之ヲ繼續シテ參ラウガ參ルマイガ、自分ノ心ニアルコトデゴザリマスカラ、二十箇年後ハサウ云フコトニシテモ決シテ差支ナイデアラウト私ハ思ヒマス、然ルニ格段決議ヲ以テ——多數ノ人ノ決議ヲ以テ銘々一己々々ノ意思ヲ束縛スルヤウナ結果ニナリハシナイカト私ハ思ヒマス、即チ國立銀行ノ同盟ヲ起シタ所ノ目的ニ反シタコトヲ、多數ノ壓制ヲ以テ成遂ゲルヤウナ都合ナ結果ニ成ツテハ參ルマイカト考ヘル、此等ハ政府ニ於テハ決シテ差支ナイコト云フ御考デゴザリマスカ、此二點ニ附イテ御辯明ヲ伺ヒタイノデゴザリマス

○小笠原定一君(二十六番) 議長

○議長(楠本正隆君) 今答辯ガアリマス

〔政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル〕  
○政府委員(田尻稻次郎君) 唯今ノ御問ニ對シテ第一ノ方カラ御答ヲ致シマスガ、紙幣ノ今ノ滿期ニナリマシタ時ニハ必ズ處分ト云フモノハアリマスデアリマスガ、御承知ノ通り、銀行條例ノ中ノ鎖店銀行ノ紙幣ノ處分ト云フモノハツレツレノスルコト云フ規定ガちやんと附イテ居リマス、所ガ滿期ノ時ノ規定ト云フモノハ何モナイデ、是ハ何レ又其考案シテ御相談ヲセナクンバナラヌ點デアリマスカラ、サウ致ス積デアリマスガ、御承知ノ通り、日本ノ國立銀行ト云フモノハ重ニ此亞米利加ノ國立銀行ノ様ナ工合ニ立ツテ居リマシテ、亞米利加ノ國立銀行デモ實ハ此事ハ規定シテアリマセマ、特別ノ法デ以テ繼續

シテ紙幣ト云フモノヲ始末スルト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ此事ハ今日此處極メマゼトモ御承知ノ通ニ銀行ノ一番末期ノヤツハ三十二年ニナリマスカラ、ソコマデハドウシテモ此ナント云フモノヲバ——銀行紙幣ノ流通ト云フモノハ止メル譯ニ往キマセヌ、ソコデナリマシタ時ニ銀行紙幣ノ流通ト云フモノハ止メマシタ所デ、是モ何レ法律ノ力ヲ要スルコトデアリマスガ、又ソレカラ先キノ時期ノ年ト云フモノハ幾何カ附ケナケレバナリマセヌガ、餘程是ハマダ先キノ長イコトデアリマセウ、又今ノ滿期ノコト、云フモノハ前ニ申上ゲタヤウニ極ク誠ニ追ッテ居リマスカラ、是ハ誠ニ一日モ忽セニスルコトガ出來マセヌカラ、此短期ヲモ願ミズ御相談ニ及ンダ譯デアリマスガ、併シ先キノ紙幣ノ始末ノコトニナリマスルト、少シ間合ガアリマスカラ、此ノ短期ノ中ニ法案モ種々輻湊シテ居リマス時ニ強テ持出サヌデモ宜シイト思フテ此度ハ持出サヌコトニシマシテ、一定ノ問題ニ屬シテ居リマスカラ、早晩此事ヲ御相談致スコトニナツテ居リマス、次ニ格段決議ノ話デアリマスガ、是ハ御承知ノ通りニ銀行條例ト云フモノニ此矢張六十九條ノ格段決議ト云フモノハ、マア此格段決議ト云フモノデ定款ノ改正ヲ致シマシテ、銀行全體ノコトニモ是ハハスツカリ此格段決議ヲヤルコト云フコトニナツテ居リマスカラ、ソレ邊ノ權衡ヲ取リマシテ矢張此繼續ノコトヲ格段決議アル方ガ權衡ガ宜イ様ニ思ヒマスカラ、經濟上ノ紊亂ト云フ恐ロシイコトガアリマスカラシテ、先ヅ今ノ定款改正杯ノコトヲ鄭重ニ決議ヲ致シマスニモ、方今此方法ヲ取リ來リマシテ是マデ皆國立銀行デモソレデアリマシテ居リマスカラ、是デ強テ支ヘハナイト思フテ、カウシタ譯デアリマスカラ、尙ホ十分ニ此方ノ點ハ審議ヲ爲サルコトヲ希望致スノデアリマス

○佐々田憲君(二百二十九番) 一寸質問ガゴザリマス、此唯今問題ニ就キマシテ二百六十番カノ質問ニ對シテ大藏次官ノ御答ニ就イテ一寸疑ガ生シマシタ全體此國立銀行ト云フモノハ公債ヲ抵當トシテ紙幣ヲ特發スルト云フ特權ヲ有シテ實ニ大變ナル利益ヲ得テ居ルノガ今日マデ國立銀行デアリマス、ソレデ法案ヲ見マスルト此營業滿期後ニ至レバ此特權ト云フモノハ無クナルモデアツテ、其滿期ト同時ニ紙幣ヲ返還スベキモノト考ヘル所ノ預ケテアル所ノ其償却資本タル公債證書ヲ以テ償還スベキモノト考ヘル、然ルニ今田尻次官ノ答辯ニ依リ紙幣ノ償還ノ方法ト云フモノハ追テ御相談ニ及ブト云フ様ナコトニ私ハ聽取ツタデアリガ、是ハ唯通用ノ時期ノコト丈ヲ議會デ討議セラルト云フノデアリカ、又ハ矢張特權ヲ尙ホ與ヘヤウト云フコトニ就イテ協議スルト云フ——與ヘナイト云フコトニ就イテ協議セラレルノデアリカ、ソレナラバ此所デ議論セヌケレバナラヌコトモゴザイマスカラ、一應伺ツテ置キマス

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) 唯今ノ御問ハ尙ホ此特權ヲ繼續シテ行クヤ否ヤト云フヤウニ要點ハ聽キマシタガ、是ハ與ヘヌ積デアリマス、十六年ノ銀行條例改正ニ就キマシテ明ニ特權ハ繼續スルコトハ出來ナイ、サウシテ此私立銀行トシテハ繼續スルコトハ出來ルシテアツテ、是ハ紙幣統一ノ制度上ニ於テ私共ハ美制ト考ヘテ居ル、之ヲ繼續セシメルト紙幣ヲ發行スル銀行ガ澤山ニナツテ國家ノ通貨統一ト云フ制度ハ布クコトガ出來ナクナリマスカラ、ソレハ繼續致サセヌ積デアリマス、是ダケデ御分リニナリマス

○吉本榮吉君(二百三十三番) 此特別委員ニ就イテ河島君ハ一部二名ノ説ヲ出シマシタガ……

○議長(楠本正隆君) ツレハ第四ニ移リマシテカラ……

○吉富簡一君(二百六十九番) 一寸私ハ質問ガアリマス

○野出鈞三郎君(二百六番) 委員ヲ選ブノダカラ質問ハ後トニシテハドウデス

○吉富簡一君(二百六十九番) ツレデモ宜シイノデスガ、一寸私ガ伺ヒタイノハ唯今此銀行案ノコトニ就キマシテ百二十九番及其前ニモ質問ガアリマシテ、大略ハ能ク分リマシタガ、サウ致シマスルト此銀行ノ條例ノ上ニ就イテハ隨分株主ノ權利上ニ關係スルコトノ善イコトモ惡イコトモアルガ、是ガ若シ繼續スルコトニナツタ以上ハ他日大藏大臣ナラ大藏大臣ガサウ云フ弊ハ他日改正スルト云フ意デアリマスガ、其邊ハマダ極リガ附イテ居ラナイ、政府ノ見込デアリマスガ、ソレダケ伺ヒマス

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) 少シク聽取リ兼ネマシタガ、此株主ノ權利ニ就イテ是迄善イコトモアリ惡イコトモアリ弊モ隨分アル、此銀行ヲ改正シタ以上ハ株主ノコトニ就イテ弊ナカラシメルヤウニ法律ヲ別ニ作ルカト云フヤウニ聽キマシタガ、サウデスカ

○吉富簡一君(二百六十九番) 大體ハサウデスカ

○政府委員(田尻稻次郎君) ソレハ多數ノ銀行ノ中デサウ云フコトモアリマセウケレドモ、先ヅ此銀行改正ニ就キマシテ株主ノ權利トカ義務トカ云フコトニ立入ツテ迄ノ改正ハ致サヌ積デアリマス、併ナガラ世ノ中ハ動クモノデアリマスカラ、他日棄置キ難イ弊害ガ出來テ參リマシタナラバ、是ハ其時ニ又法案ヲ作ツテ御相談致シマセウガ、唯今ハ此點ニ就イテ改正スルト云フコトハ先ヅ見込ハナイノデアリマス

○長谷川泰君(二百七十七番) 一寸政府委員ニ質問致シマス、此國立銀行ガ滿期ニ相成リマシタ砌、唯今政府委員ガ御述ニナリマシタ通、政府ガ其銀行紙幣ヲ償却ニナル其時ニ至リマシテ、銀行紙幣ノ無クナツタノハ澤山アラウト思ヒマス、例ヘバ一千万圓ニ就イテ二割トスレバ二百万圓無クシタトスルト、ソレ丈ハ引替ニ來ナイ、サウスルト浮イタ金ガ——二千万圓トシマスレバ四百万圓ノ金ガ出マスガ、此浮イタ金ハ將來ノ私立銀行當時ノ國立銀行ニ其金ガ歸シマスガ、政府ニ歸シマスガ、ドウ云フ政府ノ御見込カ、ソレヲ伺ヒタウゴザイマス

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) 唯今散失額ノコトニ就イテ御尋デアリマスガ、第一ノ御問ニ就イテ申シタ積デアリマスガ、散失額ノ處分ニ就キマシテハ何レ殘留紙幣ト云フモノヲ處分スル方法ト云フモノヲ極メナケレバナリマセヌカラ、其時ニ極メルモノデアリマシテ、未ダ政府ガ銷店銀行ナドノ例ニ倣ヒマシテ處分シテ往クガ宜シイカ、其他ノ方法ガアルカト云フコトハ今日ハ未ダ未定ノ問題デアリマスカラ、前ニモ申シマシタ通其事ハ少シモ銀行條例ニ規定シテナイコトデアリマシテ、先ヅ日本ノ模範トナツテ居リマス亞米利加ナドデモ外ニ其事ハ特別法ヲ以テヤツテアリマスカラ、必ズ此事ニ就イテハサウ云フ工合ニ特別ノ方法ヲ早晩御相談スル期ガ達スルト思ヒマス、此

事ハ誠ニ繼續ダケノコトデアリマシテ、ドウ云フ方法デ繼續致シマスト云フ  
ダケデ、マダ其處ニハ及バヌデアリマシテ、唯今ノ長谷川君ノ御問ノコトハ  
第二ト致シタイ積デアリマスカラ、左様御承知ヲ...

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ第四ニ移リマス、特別委員選舉ノ件  
○河島醇君(四十一番) 本員ハ先刻申述ベマシタ如ク是ハ國家經濟上ノ一大  
問題デゴザイマスルガ故ニ、願クハ特別委員十八名ヲ議長ノ指名ヲ以テ選舉  
セラレシコトヲ望ムノデアリマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○佐々田懋君(百二十九番) 本員モ河島君ノ説ヲ贊成シマス、議長ノ指名ト  
云フコトニ就イテモ異議ヲ容レナイニ就イテハ、此問題ニ就イテ宜シク御注  
意ナサツテ議長モ適當ノ人ヲ選ブヤウニ、其委員タル人モ十分注意ヲシテ貫  
ヒタイ、今日國立銀行ノ延期ト云フコトハ各銀行ガシテ居リマス、是ハ御承  
知ノ如ク是迄ノ特權ヲ得テ居ルモノヲ尙ホ得シテ居ルノデアラツテ、是迄此  
特權ヲ得タト云フコトニ就イテハ一般人民ガ迷惑ヲスルト云フヤウナ論ガ湧  
イテ來ル、是ハ議論ニナルカラ詳細ノコトハ此會デハ論ジマセヌガ、宜シク  
委員タル人ハ能ク注意シテ調査シ、議長モ注意シテ指名セラレシコトヲ望ミ  
マス

○吉富簡一君(二百八十九番) 同感デアリマス

○栗谷品三君(百五十二番) 本員モ餘程感ズル所ガアリマス、議長ニハ御注  
意アツテ銀行ニ關係セナイ者ヲ御選アラシコトヲ望ム

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 議長ノ指名デ十八名ノ特別委員ヲ選ブベシト申ス河島  
君ノ説ニ同意ノ方ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 大多數デアリマス

第五 國事ニ關スル犯罪ノ爲メ諸祿ヲ沒收セラレタル者ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

○議長(楠本正隆君) 次ニ第五ニ移リマス

(町田書記官議案ヲ朗讀ス)

第一條 明治三年九月十日太政官布告藩制施行ヨリ同九年八月太政官第百  
八號布告實施マテノ間ニ於テ國事ニ關スル犯罪ノ爲メ家祿賞典祿ヲ沒收  
セラレタル者及本法施行ノ日ニ於テ現ニ其ノ家名繼承人タル者ニ限リ其  
ノ沒收セラレタル當時ノ祿高ニ基キ明治九年太政官第百八號布告第一條  
ノ率ニ據リタル金祿公債證書額ニ相當スル金額ヲ一時國庫ヨリ支出シテ  
之ヲ給與ス

第二條 前條ノ祿高ハ明治四年七月二十日士族卒祿高取調ニ關スル民部省  
達同年同月二十四日同件取調ニ關スル太政官布告及同年九月賞典祿取調  
帳並士族卒祿高人別取調帳等ニ關スル大藏省達明治八年太政官第百三十  
八號布告ニ基キ調査シタル祿高ニ依ルモノトス但祿高調査以前ノ收祿ニ

係ルモノハ收祿ノトキ實際給與ヲ受ケタル祿高ニ依ル  
前條ノ祿高ヲ金額ニ換算スルノ必要アル場合ニ於テハ明治八年太政官第  
百三十八號布告ニ依ル

第三條 第一條ニ依リ給與ヲ受ケントスル者ハ國事ニ關スル犯罪ノ處刑ヲ  
宣告セラレタル裁判所又ハ其ノ事務引繼ヲ受ケタル官廳ヨリ本法第四條  
ノ認定及收祿ニ係ル證明書ヲ受ケテ地方廳ニ出願スヘシ但本法施行ノ日ヨ  
リ三箇月内ニ其ノ認定及證明ヲ求メヌ又ハ認定及證明ヲ受ケタル日ヨリ  
一箇月内ニ出願ヲ爲サ、ル者ハ第一條ノ給與ヲ受クルコトヲ得ス

附則

第四條 本法ニ於テ國事ニ關スル犯罪トハ其ノ處刑ヲ宣告シタル裁判所又  
ハ其ノ事務引繼ヲ受ケタル官廳ニ於テ刑法第百十七條、第百十九條、第百  
二十一條、第百二十三條、第百二十五條、第百二十六條、第百二十七條、第  
百二十九條、第百三十條、第百三十一條、第百三十二條、第百三十三條及第  
百三十四條ノ罪ト同視スヘキ認定ヲ經タルモノヲ云フ

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) 唯今ノ議案デアリマスルガ、此議案ヲ以テ諸君  
ニ相見ユルコト既ニ此處デ二回ニ相成リマス、ソレデモ餘程御熟知ノコ  
ト、モ思ヒマスルガ、元來此祿制ノ前後ニ於キマシテ同シ地位ニ居ル人ガ前  
ト後デ大ニ幸不幸ヲ生ジマシテ、法律ノ變更上止ムヲ得ナイトハ申シマスナ  
ガラ、誠ニ之ニ就イテハ惘然タルコトモ澤山アリマスルカラ、成ル丈世ノ中  
ノ人ヲシテ幸不幸ナカラシムルタメニ此案ヲ提出シテ斯ノ如キ不幸ノ人ノ  
メニ聊ナルト云フコトニ致シタイト云フ積リデアリマシテ、其事ハ別ニ喋  
喋ヲ要シマセヌガ、理由書ニ彼是隨分何シテアリマスシ、何レモ委員ヲ御  
設ケノコトデアリマセウカラ、委員會ナリ又本會ニ於キマシテナリトモ其他  
詳細ノ説明ハ十分骨ヲ折ツテ致ス積リデアリマスカラ、ドウカ速ニ御協賛ア  
ランコトヲ希望致シマス

○草刈親明君(百四十番) 明治三年九月以後ノ國事犯罪人ヨリ明治九年八月  
マデノ犯罪人ニ限ツテ此復祿ヲ與ヘラレテ、サウシテ明治三年以前ノ國事犯  
ニ關スル者ニハ此恩典ガナイト云フノハ如何ナル次第デアリマスカ、御説明  
ヲ願ヒマス

(政府委員大藏省國債局長曾根靜夫君演壇ニ登ル)

○政府委員(曾根靜夫君) 唯今百四十番ヨリ御尋デアリマスガ、此御尋ニ就  
キマシテハ先刻二百六十六番カラ政府ニ對シテ御質問書ガ出テ居ルヤウニ見  
エマスガ、其質問書ノ趣意ト同ジコトニ承リマスルデ、何レ二百六十六番ノ  
質問書ニ對シテ政府ハ答辯ヲ致スデアリマセウカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(楠本正隆君) 次ハ日程ノ第六ニ移リマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○江原素六君(二百二十四番) 此委員ハ矢張議長ノ指名ヲ以テ九名ヲ選定セ  
ラレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 是ハ別段議場ニ御異議ガゴザイマセヌケレバ決定セラ  
レタモノト認メマス

○議長(楠本正隆君) 次ハ第七ニ移リマス

第七 國稅徵收法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

(町田書記官朗讀)

明治二十二年法律第九號國稅徵收法中左ノ通改正追加ス  
第六條ニ左ノ一項ヲ加フ

納税人非常ノ變災ニ罹リ税金ヲ納ムルコト能ハスト認ムルトキハ大藏大臣ハ其ノ狀況ニ依リ被害當時ノ未納税金及被害後六箇月内ノ納期ニ係ル税金ニ限リ其ノ納期限後十二箇月ヲ限度トシ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

第十條 納期アルモノハ特別ノ規程又ハ事由アルモノヲ除クノ外該納期ノ十五日以前納期日ニシテ前日以前ハ初時收入ニ係ルモノハ其ノ納期日ヲ定メ徵稅令書若クハ徵稅傳令書ヲ發スヘシ

第十一條 第八條前段ノ場合ニ於テハ各納税人ハ税金ヲ市町村收入役ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ納稅義務了ルモノトス

第十二條 市町村ハ其ノ徵收シタル税金ヲ金庫ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ義務了ルモノトス

第十三條 市町村長ハ納期限ヲ過キ税金ヲ完納セサル者アルトキハ其ノ滯納ノ税目ノ金額及滯納人ノ住所氏名ヲ記載シ納期限後三日以内ニ之ヲ收入官吏ニ報告スヘシ

第十四條 納税人他ノ負債ノ爲メ強制執行ヲ受ケ又ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ既ニ徵稅令書ヲ發シタルモノニ限リ未タ其ノ納期ニ至ラサルモ國稅徵收ノ權利ハ總テノ債權ニ先ツモノトス

第十五條 酒類醬油造石税ニ於テ其ノ課額既ニ定リタル税金ニ付テハ其ノ徵稅令書ヲ發セサルモノト雖前項ニ同シ

第十七條 徵稅令書若クハ徵稅傳令書ヲ發セス又ハ之ヲ發シタルモノ其ノ徵收ヲ爲サシテ納期限ノ翌日ヨリ起算シ滿三年ヲ經過シタルトキハ納税人ハ其ノ義務ヲ免ル、モノトス

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) 唯今ノハ徵收法ノ改正案デアリマスルガ、是ハ何レモ手數ヲ簡便ニシマシテサウシテ、納稅ノ容易キコトヲバ期スル法案デアリマスルカラ、既ニ昨年モ提出ニナツタ譯デアリマスルカラ、ドウカ速ニ御審議ヲ遂ゲラレテ、協贊ヲ給ハランコトヲ希ヒマス、ソレカラ序デアリマスガ、度々申上ゲルモうるさうゴザイマスガ、此第九、ウレカラ第十一

是ハ丁度唯今ノト關聯スルモノデアリマスカラドウカ是モ同ジヤウナコトデアテ速ニ御協贊ヲ給ハランコトヲ願ヒマス、而シテ少シ私ガ申上ゲルト行過ギノヤウデアリマスケレドモ、是ハ後トノ九、十一ト云フモノハ誠ニ此第七ノ方ニクツツイタ附屬ノモノデアリマスカラ、ドウカ委員ヲ御選ビ下サル

ニモ同一ノ委員ニ御付託ニナツタ方ガ彼是ノ便利ト思ヒマスカラ……  
○議長(楠本正隆君) 御質疑ガナクバ……

○議長(楠本正隆君) 第八ニ移リマス

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

加藤六藏君(二百一十一番) 委員ハ九名ニシテ議長ノ指名

○中村克昌君(百十四番) 今辯者ガ述べマシタ通りデアリマス、九名ニ致シテ議長ノ指名ガ宜カラウト思ヒマス

○議長(楠本正隆君) 加藤六藏君ノ九名ノ指名說ニ別ニ御異議ガゴザイマセヌナラバ……  
(異議ナシト呼フ者アリ)

第九 明治二十二年勅令第四百一十一號 第一條改正法律案(政府提出)  
議長(楠本正隆君) 然ラバ可定セラレマシタモノト認メマス

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
議長(楠本正隆君) 第十二ニ移リマス

○岡田逸治郎君(八十五番) 是モ前ト同ジク九名ニシテ議長ノ指名デアリシウゴザイマス  
(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 前ノ委員ニ付託スルト云フコトノ加藤六藏君ノ御發議ニ御異議ガゴザイマセヌケレバ、共通ニ致シマス  
(異議ナシト呼フ者アリ)

第十一 明治二十三年法律第四號中改正法律案(政府提出)  
議長(楠本正隆君) 次ハ第十一ニ移リマス

第十二條第一項ヲ左ノ通改正ス  
北海道ニ於テハ水産税ハ郡區長ヨリ水産物營業人組合ニ對シ其ノ他ノ國稅ハ郡區長ヨリ各納税人ニ對シ徵稅令書ヲ發スヘシ

第五條 各納税人ハ水産税ハ水産物營業人組合納稅委員ニ其ノ他ノ國稅ハ戶長ニ郡區長ニ於テ戶長ノ職務ヲ行フ地方ニ於テハ金庫ニ税金ヲ拂込ミ其

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

ノ領收證ヲ得テ納稅義務ヲ了ルモノトス  
第六條 戶長又ハ水産物營業人組合ハ其ノ徵收シ又ハ取纏メタル税金ヲ金  
庫ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ義務ヲ了ルモノトス  
前項拂込期限ハ納期限後五日以内トス但此ノ期限ニ依リ難キ事由アルモ  
ノハ北海道廳長官若クハ縣知事ヲ經テ其ノ延期ヲ大藏大臣ニ請フコトヲ  
得

第七條 戶長又ハ水産物營業人組合納稅委員ハ納期限ヲ過キ税金ヲ完納セ  
サル者アルトキハ其ノ滯納ノ稅目金額及滯納人ノ住所氏名ヲ記載シ納期  
限後五日以内ニ之ヲ收入官吏ニ報告スヘシ  
〔前ノ委員ニ同様〕ト呼フ者アリ

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
○議長(楠本正隆君) 第十二ニ移リマス  
〔前同斷〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 前同様ニ思召ガゴザイマスナラバサウ致シマス  
〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 此事ハ御注意ヲ申シマスガ御發論ガナカラヌケレバ速  
記録ノ上ニ於テ——議事録ノ上ニ於テ迷惑ヲ致ス  
〔聽エマセヌ聽エマセヌ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 異議ナシ異議ナシデハ、ドナタガ發言ニ相成ツタカ筆  
記上ニ因リマスカラ、御發論ヲ特ニ願ヒマス  
〔モウ少シ大キナ聲ヲ願ヒマス〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 議場デ異議ナシ異議ナシト云フコトニナツテ居ル、委  
員ハ前ニ從ツテ議長ノ指名ニスルト云フコトハ特ニドナタカ御發論ヲ願ヒマ  
ス

○時岡又左衛門君(九十九番) 議長六十九番ガ異議ナイト云フノデス  
○議長(楠本正隆君) 御異議ガナケレバ前ノ通九十六番ノ説ニ依ツテ決シマ  
ス

第十三 明治二十五年豫備金支出ノ件(政府提出)

○議長(楠本正隆君) 次ハ第十三、朗讀ヲ省キマス

○加藤喜右衛門君(二百十九番) 早ク次ノ日程ニ移ルコトヲ望ミマス  
○議長(楠本正隆君) 次ハ第十四ニ移リマス

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○加藤喜右衛門君(二百十九番) 此委員ノ選舉ハ是レ亦十八名ヲ希望スル、  
十八名ヲ希望シテ議長ノ指名ニシテ後ニ至ツテ申シマスルガ、後ノモノモ矢  
張共ニ付託シナケレバナラヌモノデアリマスカラ、十八名ニシテ一統ニ付託  
スル積デアリマス  
○井上彦左衛門君(五十番) 是ハ十八名ト云フガ矢張九名デ宜シイ、サウシ  
テ議長ノ指名ニ致シタイ  
〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 二百十九番ハ十八名ヲ選ンデ議長ノ指名ニスル、五十  
番ハ九名ニシテ議長ノ指名ト致スト云フコトデアリマス、二百十九番ノ説ヨ

リ採リマス、二百十九番ノ十八名ヲ選ムト云フコトニ同意ノ諸君ハ起立  
起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數、然ラバ後トハ五十番ノ意見ニ異議ガゴザイマセ  
ヌケレバ可定ト認メマス  
〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

第十五 明治二十五年各特別會計豫算外支出ノ件(政府提出)  
○議長(楠本正隆君) 次ハ第十五ニ移リマス、是モ朗讀ヲ省キマス  
○井上彦左衛門君(五十番) 矢張前同様  
〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 御異議ガナケレバ第十六ニ移リマス

第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
○井上彦左衛門君(五十番) 前ノ委員ニ付託スルコトヲ望ミマス  
○議長(楠本正隆君) 前ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ガナケレバ其通致シ  
マス  
〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

第十七 明治二十六年豫備金支出ノ件(政府提出)

○議長(楠本正隆君) 次ハ第十七ニ移リマス、同ジク朗讀ヲ省キマス  
○梅田五月君(七十九番) 是レ亦委員ニ付スルガ宜シウゴザイマスガ、是ハ  
種類ガ違フテ居リマス、故ニ別段ニ九名ヲ選ンダラ宜カラウト思ヒマス  
○議長(楠本正隆君) 十八ニ移リマス

第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(楠本正隆君) 七十九番ハ九名ヲ選ム……  
○梅田五月君(七十九番) 議場ニ通算シテ……  
○加藤喜右衛門君(二百十九番) 是ハ名前ガ違ツテ居テモ是非前ノ委員ニ託  
サナケレバナラナイト思ヒマスカラ、矢張前ノ委員ニ付託スルコトニ……  
〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ七十九番ト二百十九番ノ二ツアリマス、二百十  
九番ハ前委員ニ付託スルト云フ、九名ノ委員デス九名ノ委員ヲ議長ノ指名ニ  
選ム——前ノ委員ニ付託スルト云フ説ニ同意ノ諸君ハ起立  
起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數——次ハ第十九ニ移リマス、朗讀ヲ省キマス

第十九 明治二十六年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外

支出ノ件(政府提出)  
○議長(楠本正隆君) 二十二ニ移リマス

第二十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○大久保端造君(二百七十一番) 是ハ新ニ九名ノ委員ヲ議長ノ指名デ選ムコ  
トヲ希望スル、其譯ハ憲法違犯ノ嫌ガアツテ前ノトハ少々違フ  
○松本長平君(百七番) 是ハ矢張前ノ委員ニ付託スルコトニシテ貫ヒタイ  
〔のーく〕ト呼フ者アリ

○時岡又左衛門君(九十八番) 是ハ本員ハ随分注意ヲ要スル議案デゴザリマスカラ、是ハ一部ニ二名十八人、各部通シテ選舉スル考デアリマス

○工藤行幹君(百四十五番) 是ハ委員ノ數ハ何モ異論ハアリマセヌガ、矢張議長ノ指名ニシテ十八名……

○議長(楠木正隆君) 二百七十二番ハ九名ノ委員ヲ議長ノ指名ニシテ特ニ選ムト云フ九十六番ハ各部ニ於テ十八名ノ委員ヲ選ムト云フコト——各部通シテ十八名ノ委員ヲ選ブ、議長ノ指名ヨリ決議ヲ採リマス、二百七十二番ノ動議議長指名ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠木正隆君) 少數、十八名ノ委員ヲ各部ニ通シテ選ブト云フハ九十六番ノ動議、右ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠木正隆君) 少數

○議長(楠木正隆君) 多數々々ノ聲起ル

○折田兼至君(五十五番) 各部通シテハ少數デゴザリマス

○議長(楠木正隆君) 少數、百七番ノ前委員ニ付託スルト云フ動議ガ出タト思フ、私共ハツレニ贊成シテ居リマスガ、其方ハドウナリマスカ

○議長(楠木正隆君) 少々御待チナサイ、マダアトニ殘ッテ居リマス、工藤行幹君ハ議長ノ指名ヲ以テ十八名ノ委員ヲ選ム

○議長(楠木正隆君) 工藤行幹君ハドウデス

○議長(楠木正隆君) 百七番ノ前委員ニ付託スルト云フ(ツレガ宜シイ)ト呼フ者アリ、十八名ノ説ヨリ決議ヲ採リマス、工藤行幹君ノ十八名ヲ議長ノ指名ニ選ブト云フニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠木正隆君) 少數、百七番ノ前委員ニ付託スルト云フ百七番ノ説ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠木正隆君) 少數

○大久保端造君(二百七十二番) 皆倒レマシタカラ更ニ動議ヲ提出致シマス、各部ヲ二名ツ、十八名ヲ選ムト云フ——(駄目ダ)ト呼フ者アリ、各部一名ツ、九名ヲ選ムト云フコトヲ更ニ提出致シマス

○時岡又左衛門君(九十八番) 本員ノモ能ク似テ居リマスケレドモ、本員ノハ各部通シテ九名ノ委員ヲ選舉スルト云フ、更ニ……

○松田吉三郎君(百八十番) 各部通算デ十名

○議長(楠木正隆君) 各部通算デ十名デスカ

○松田吉三郎君(百八十番) 九名

○星亨君(四十八番) 皆動議ガ成立タヌヤウデスガ、サウスルト本則ニ依ッテ取ツタモノト見テ宜シイカト思フ、本則ニ依ッテ各部ニ於テ一名ツツト云フコトニナラナケレバナラナイト考ヘル、動議ガ成立タナイカラ其通決議シテ

宜シカラウト思フ

○山口千代作君(二百六十六番) 四十八番ノデ宜シイ

○議長(楠木正隆君) 四十八番ノ説ハ各部一名ツ、選ムト云フ……

○星亨君(四十八番) 左様、本則ガ左様ニナッテ居リマスカラ

○議長(楠木正隆君) 異議ガアリマセヌカ

○議長(楠木正隆君) 然ラバ四十八番ノ説ノ通ニ各部一名ツ選ムコトニ致シマス——次ニ第二十一ニ移リマス

第二十一 明治二十六年度ニ於テ中央備荒貯蓄金ヲ以テ豫算超過支出ノ件(政府提出)

○議長(楠木正隆君) 次ハ第二十二ニ移リマス

第二十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○加藤喜右衛門君(二百十九番) 是ハ矢張十九ノ委員ト合セテ宜シイト考ヘル、十九ノ委員ニ託スル

○議長(楠木正隆君) 二百十九番ノ前ノ委員ト云フノハ唯今選ンダ委員デスカ

○加藤喜右衛門君(二百十九番) 九名選ムト極ツタ委員ニ託スル

○議長(楠木正隆君) 二百十九番ノ意見、唯今選ンダ委員ニ託スルト云フコト

○議長(楠木正隆君) 異議ナシノ聲起ル

○議長(楠木正隆君) 異議ガアリマセヌケレバ……

○議長(楠木正隆君) 次ハ第二十三ニ移リマスル、朗讀

第二十三 解散ニ關スル決議案(河野廣中君外一名提出)

○議長(楠木正隆君) 此案ニ對シテハ修正案ガ出テ居リマスル、朗讀ヲ致サセマス

○議長(楠木正隆君) 此案ニ對シテハ修正案ガ出テ居リマスル、朗讀ヲ致サセマス

○議長(楠木正隆君) 此案ニ對シテハ修正案ガ出テ居リマスル、朗讀ヲ致サセマス

○議長(楠木正隆君) 此案ニ對シテハ修正案ガ出テ居リマスル、朗讀ヲ致サセマス

○議長(楠木正隆君) 此案ニ對シテハ修正案ガ出テ居リマスル、朗讀ヲ致サセマス

○議長(楠木正隆君) 此案ニ對シテハ修正案ガ出テ居リマスル、朗讀ヲ致サセマス

○議長(楠木正隆君) 此案ニ對シテハ修正案ガ出テ居リマスル、朗讀ヲ致サセマス

提出者 犬養 毅君

○魚住逸治君(二百十二番) 前文カラ連續シテ讀ムベシ  
○議長(楠本正隆君) 宜シウゴザイマス、是ハ前ノ文章ガ出テ居リマセヌガ、唯今讀ンタル中ノ結末ノ修正文ト認メマスルガ、聯續シテ讀ミマスカ、提出者ニ尋ネマス

(ツレダケデハ分ラヌト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 唯今ノ修正案ハ三崎龜之助君ノ提出ニナツタ中ニ犬養毅君ガ出サレマシタノデゴザイマス、孰レ犬養君ガ何處カラ何處マデ修正スルト云フコトハ登壇上デ分ルデアラウト思ヒマス、百七十六番

○石田貫之助君(百八十五番) 唯今ノ修正案ト云フモノハ何處ヘ這入りマス、現内閣ヲ非行ト認メルト云フコトハ何ヲ非行ト認メルト云フカ分ラヌ

○議長(楠本正隆君) ツレハ犬養君ガ提出デアアルニ依ッテ登壇ノ上説明ガアルデアラウト思ヒマス

○石田貫之助君(百八十五番) 免ニ角ツレ丈ノ決議ニナリマスカ

○議長(楠本正隆君) 三崎龜之助君

(三崎龜之助君演壇ニ登ル)  
○三崎龜之助君(四番) 河野廣中君及本員ヨリ提出致シマシタル解散ニ關スル決議案ニ就キマシテ簡單ニ理由ヲ述ベ諸君ノ御贊同ヲ仰ギマス、第五期ノ議會ノ際ニ當ッテ現内閣ガ我ガ衆議院ヲ解散シタルコトニ就イテハ吾々ノ見ル所ニ於テハ如何ニモ其當ヲ得ナイデアルト認メマス、其譯ハ申上ゲルマデモナク諸君ガ夙ニ御承知ノ如ク、固ヨリ議會ヲ解散スルハ 天皇陛下ノ大權ニ屬シ、輔弼ノ臣ハ時機ニ依レハ解散ノ已ムヲ得ザルコトヲ奏請シ奉リ、自ラ責任ヲ帶ビテ解散ヲ促スハ當然ノコトデアリマセウ、又爲シ得ベキデアアルノハ論ハナイ話デアアル、併ナガラ其大權ヲ輔弼ノ臣ガ責任ヲ帶ビテ其大權ニ依ッテ之ヲ解散スルニ就イテハ必ズ相當ノ理由ガナクテハナラヌ、又之ヲ解散スレバ自ラ内閣ハ其所見ヲ世上ニ開陳シテ國民ノ輿論ニ問フ決心ガナケレバナルマイト思ヒマス、處ガ第五期ノ議會ヲ解散スルニ當ッテ現内閣ハ如何ナル所爲ニ出デタカ、先キニ前代議士安部并磐根君ガ條約履行案——履行建議案ヲ提出シ其説明ニ及バントスルヤ忽チ停會ヲ命シ、停會ヲ了ヘ更ニ又其案ニ就イテ説明ヲ加ヘテ未ダ數十言ヲ了ヘザル際忽チ停會ヲ命シタノデアアル、停會ノ後ニ至ッテ政府ハ遽ニ議ヲ變ジタカドウカ存ジマセヌガ、免ニ角ニモ停會ヲ命シテ數日ヲ經ザル中突然之ヲ解散致シタルデアアル、宜シク相當ノ理由ガアレバ解散スル尙ホ可ナリ、然ルニ政府ハ解散シテ置キナガラ何等ノ理由ヲ天下公衆ヘ示サナイ、國民ニ之ヲ示サナイノデアアル、成程解散スルノハ衆議院ハ到底國政ヲ議スルニ足ラナイト云フ見込ガ立ッテ始テ是ガ解散セザルヲ得ザルカト云フコトハ明ニ之ヲ示シテコソ當然ト言ハナケレバナラヌ、先キニ前内閣ノ際ニ當ッテハ(此時發言スル者アリ)解散ヲスルニ於テ官報ニ載セテ奏請文ヲ公ニ致シタコトガゴザイマスシテ(清水永三郎君「自家撞著ヲ言ッテ居ル、何故昨日上奏案ニ贊成シナイ」ト呼フ)解散ノ理由ヲ天下ニ示シテ居リマス——速記録ヲ能ク御覽ナサイマセ、私ガ此解散ノコ

トニ就イテ昨日如何ナル演說ヲシテ居ルカ、多分アナタ方ハ昨日ノコトハ御忘レデアアル(清水永三郎君「自家撞著」ト呼フ)斯ノ如ク前内閣ニ於テスラ斯ウシテ居ル、而シテ現内閣ハ其初メ組織セラレテ後第四期ノ議會ニ臨ムヤ、總理大臣ノ代理トシテ臨時總理大臣井上伯爵ハ政府ハ終始立憲的ノ動作ヲ爲サントシ、爲スコトヲ誓フモノデアアルト云フコトヲ此議會ニ於テ誓ハレタノデアアル(「ヨセ」ト呼フ者アリ)然ルニデス、第五期議會ヲ解散スルニ於テハ其理由一モ示スコトナク漫ニ解散ヲナシタト云フ舉動ハ蔽フベカラザル事實ダラウト思フノデゴザイマス、又更ニ進ンデ貴族院ノ諸君ガ——或一部ノ諸君ガ現任總理大臣ニ書翰ヲ投シ其答書ニ依レバ即チ解散ヲシタ所ノ理由ヲ掲ゲテアルノデアアル、是ハ公然ナル文書デアアルカドウカハ(「駄目」ト呼フ者アリ)知リマセヌケレドモ、若シ果シテ是ガ解散ノ理由ナリトスレバ私ハ又其解散ヲ不當ナルコトト認メナケレバナラヌデアリマス、ナゼカト云ヘバ其一二ノ例ヲ舉ゲバ彼ノ豫算委員ガ議決シタ所ノ豫算査定案ト云フモノハ到底政府ハ贊同スルコトガ出来ヌト云フコトデ解散ヲシタト云フコトノ一理由トシテ居ルデス、處ガ豫算委員ト云フ者ハ此議會ノ一員ニ過ギナイデアリマス、成程重大ナ委員ニハ違ヒナイ、成程多人數寄ッテ居ル所ノ委員ニハ違ヒナイ、併ナガラ豫算委員ノ議決ハ未ダ以テ衆議院ノ意思ヲ發表シタ議論トハ云ヘナイデアアル(「ナール程」ト呼フ者アリ)然ルニ衆議院ノ意思舉動未ダ確言セズ發表セラレザル前ニ當ッテ之ヲ解散シ、其理由ヲ現ハスト云フニ至ッテハ私ハ實ニ不當ナリト認メザルヲ得ヌデアリマス、又彼ノ履行建議案ノ如キニ至ッテモサウダ、未ダ議會ハ此建議案ニ附イテ議會ノ意見ヲ發表シタコトハナイデアリマス、唯提出者ガ僅ニ數十言ヲ費シ未ダ説明ノ終ラサルニ停會ノ 詔命ヲ蒙リテ遂ニ其意思ヲ達スルコトガ出来ナカッタノデアリマス(笑聲起ル)提出者スラモ其説明スルコトヲ得ズ、議會——衆議院全體ニ於テハ未ダ確實ノ意思ヲ發表スル時機ヲ得ナカッタノデアアル、然ルニ建議案ガ提出セラレ、其發表——意思ノ發表セラレザル前ニ當ッテ之ヲ解散シ、之ヲ理由トシテ貴族院ノ諸君ニ答ヘテ居リマス、此等ガ果シテ立憲的動作デアアルカト思ヘバ決シテサウデナカラウト思ヒマス、故ニ其外ノ事ヲ申スマデモナイ、諸君ハ既ニ實歴ナサツテ、又熟知ナサレテ居ルコトデゴザイマス、クダク、シウハ述ベマセヌ、吾々ハ即チ唯今提出致シマシタ所ノ案ノ如ク此衆議院ニ於テハ將來ノタメスノ如ク議決ヲ爲スコトノ必要ヲ認メマシタニ依ッテ、此處ニ提出ヲ致シマシタ、幸ニ諸君御同感デアリマスレバ御同贊アラントトヲ希ヒマス

(此時「質問」ト呼フ者アリ)  
○議長(楠本正隆君) 靜ニミ、二百六番  
○野出鎬三郎君(二百六番) 二百六番ハ質問シマス、極簡單ナコトデゴザイマス、此決議案ノ末文ニ「政府ノ行為ハ不當ナリト決議スト云フ決議案デアリマス、此不當ト云フコトハドウシテ意味デアリマスカ、現内閣ヲシテ提出者ハ此現内閣ヲ信任セラレルト云フノ意デアアルカ、或ハ現内閣ヲ信任セラレヌト云フ意デアアルカ、此不當ト云フコトニ就イテハ一應ドウ云フ意味デアリマス(無用々々)ト呼フ者アリ)

(此時三崎龜之助演壇ヲ降ル)

○議長(楠本正隆君) 三崎君此處へ御出デナサイ、能ク分リマス、登壇ヲ促シマス

(三崎龜之助君演壇ニ登ル)

○三崎龜之助君(四番) 二百六番ニ御答ヲ致シマス、是ハ讀ンデ字ノ如ク、政府ノ行爲ヲ不當……當……行爲ハ當ヲ得ヌト云フコトデアレバ、信任ガアルカナイマス、既ニ政府ノ行爲ガ其當ヲ得ヌト云フコトデアレバ、信任ガアルカナイカハ自カラ言外ニ分ルダラウト思ヒマス(のーく)「笑聲起ル」やーやート呼フ者アリ「言フコトガ出來マイ」ト呼フ者アリ

○守屋此助君(百十二番) 質問……三崎君、待チ給へ

○工藤行幹君(百四十五番) 自カラ分ルダラウト云フコトデゴザリマスガ、此議會デハわざく決議ヲ爲スニ唯今提出者ノ御存知ノ通不信任ナラ不信任ト明ニスルガ此議場デ議スルノ本體デアラウト思ヒマス(ひやく)讀ンデ字ノ如クダカモ知レナイ、ケレドモ既ニ其意衷ニ現内閣ヲ信用シテ唯御前ハ以來御注意ナサレト云フ心得デアアルカ、抑、非立憲的動作デアアルカラ此内閣ヲ信用セヌト云フコトデゴザリマスカ、願クハ明ニスレバ吾々ハ大ニ提出者ニ兩手ヲ擧ゲ賛成シタイト思ヒマス、願クハ曖昧模糊タルコトデナク明ニ御答ヲ願ヒマス(ひやく)「ト呼フ者多シ」

○三崎龜之助君(四番) 少シ御議論ニ涉ルヤウデゴザリマスケレドモ、尙ホ御答ヲ致シテ置キマスルノハ、現内閣ニ對シテ信任スルカセヌカト云フコトハ御互ニ大抵分リ切ッテ居リマス(言ヘナイノダラウト)信任スルトハ言ヘナカラウトト呼フ者アリ)唯今説明中デゴザリマスカラ暫ク御靜肅ニ願ヒマセウ(ハッキリ不信任ト言ヘナイダラウト)呼フ者アリ)而シテ此行爲ノミニ就イテ殊更ニ信任缺乏ト云フコトヲ書クニ及バナイノデアリマス(のーく)故ニ斯ク書イタノデアリマス、依テノ事ニ附イテ信任シナイノデアリマス(やーやー)ト呼フ者アリ)分ツタ分ツタト呼フ者アリ)

○守屋此助君(百十二番) 三崎君、暫ク、ソレデハ私ハ問ヒマスルガ、一體今ノ政府ノ外ノコトヲ信用シナイト云フコト、アル人ガ、第五議會ヲ解散シタコトハ其理由ヲ明示セヌト是ダケノコトダケヲ立憲的動作ニアラズト認メルト書イテゴザリマス、是ニ書イテアル所トアナタノ口トハ違ヒマス、ソレハドウ云フモノデアリマス(ひやく)「聲起ル」

○三崎龜之助君(四番) 是ハ解散ニ附イテノミヲ言フタノデゴザリマス、他ノ事ヲ言フテ居リマセス、能ク決議案ヲ御覽遊バサレルト分リマス

○守屋此助君(百十二番) サウスルト……サウスルト外ナ事柄モ政府ニ非立憲的ガアルト云フ事柄ヲ自由黨ノ諸君ハ立派ニ御認ニナツテ……

○三崎龜之助君(四番) アルト云フコトニ附イテ自カラ將來ノ御舉動ヲ御覽遊バサレタイ

○守屋此助君(百十二番) 將來シヤナイ、唯今ノ……

○三崎龜之助君(四番) 自由黨ハ如何……アルカナイカハ此議題ニ於テアナタニ私ハ答辯スルノ……(ひやく)「聲起ル」

○守屋此助君(百十二番) 然ラバ三崎龜之助君ハ言ヘルカ言ヘヌカラ……

○議長(楠本正隆君) 問答ニ就イテハ一人ツ、御質問ナサレ、議論ニナラヌヤウニ

○守屋此助君(百十二番) 宜シウゴザリマス、然ラバ三崎君ハ言ヘルカ言ヘ

ヌカ承ハリマセウ、提出者三崎君ハ(無用々々)ノ聲起ル)

○三崎龜之助君(四番) 御議論ガナサリタケレバ……

○守屋此助君(百十二番) 議論シヤナイ、答ヘラレルカト云フノデアアル、ツレカラモウツツ問ガゴザリマス、是ハ簡單ニ問ヒマス

○議長(楠本正隆君) 端ヲ更メテ質問ノ要點ダケヲ

○守屋此助君(百十二番) 宜シウゴザリマス、極ク簡單ナ質問デス

○萩野左門君(二十五番) 若シ是ガ始ニ議會ノ意思ヲ發表シテ置キ、又政府モ解散ノ理由ヲ明示シタナラバ、此度ノ解散ハ相當ノ解散デアルト云フノデアリマスカ、其點ヲはつきり……

(無用々々)ノ聲起ル)

○三崎龜之助君(四番) 二十五番ニ御答申シマス、理由ヲ明示シタナラバ當然デアルト云フバカリデハナイノデゴザリマス、理由ヲ明示シナカッタコトガ一つノ不當ナノデアアル、此示シタ理由ノ如何ニ依ッテハ又論シナケレバナラヌ、ツレモ一理由ニナツテ居リマスカラ、此二項ヲ御考下サレバ自カラ分ルト思ヒマス

○守屋此助君(百十二番) 解散理由ノ一ツニ數ヘテ伊藤伯ガ二條公ニ答ヘヌモノヲ一寸見マシタガ、議長ヲ除名シタト云フコトモ解散ノ理由ノ一ツニサレタガ、此點ハ解散理由ノ一ツト云フコトデハナイデスカ(無用々々)ノ聲起ル)

○三崎龜之助君(四番) ツレ迄學校デアナタ方ニ教フル様ニ御答辯ハ出來マセヌ (拍手起ル)

○守屋此助君(百十二番) 宜シウゴザリマス、御答ガ出來ナケレバ……

○工藤行幹君(百四十五番) 私ハモウ一ツ御尋シタイ、是迄斯ウ云フコトハ前例ニハナイ、ナクツテモヤレバヤレルノデスカ、不當ノ決議ヲスルノハ何ノタメデアリマスカ、内閣ヲ誡メルノデアリマスカ、或ハ唯言ツタバカリデ何ニモナラヌコトヲ云フノデゴザリマスカ、不信任ヲスルノデゴザリマスカ(ツンナコトガ知レナイカ)ト呼フ者アリ)知レナイカラ聞クノデアアル

○三崎龜之助君(四番) 百四十五番ニ一寸御尋致シマスガ、今側ノ御方ノ御問答デアナタノ要旨ガ分リマセヌカラ御苦勞ナガラモウ一度願ヒマス

○工藤行幹君(百四十五番) 此案ヲ提出スル所以ハ不當ト云フノ決議ヲシテ何ノタメニナルノデスカ、唯言フテ置クト云フノデアリマスカ、不信任ト云フノデアアルカ……

○三崎龜之助君(四番) 誠ニ是ハ嗚呼ガマシイ話デアリマスガ、議會ガ決議ヲ爲スニ就イテハ斯ウ云フコトヲ云フノハ何ノタメデアアルカ、何ノタメニナルト云フコトニ就イテハ自カラ各議員ノ腦髓ニアルト、思ヒマスカラ、特更説明シナクテモ議員タル者ハ御知りデアラウト思ヒマス

○議長(楠本正隆君) モウ質問ハ止メテ御討論ニナルガ宜シイ、修正案ノ提出者ニシテ二百七十一番

○元田肇君(百八十四番) 一寸御尋致シマス、謹ンデ御教ヲ受ケタウゴザリマスガ、學校デハゴザリマセヌケレドモ、此原案ニ「明治二十六年第五期帝國議會ニ於テ本院未タ其意思ヲ發表セサルニ當リテ」トゴザリマス、是當

時帝國議會本院ノ意思ヲ發表シテ決議ヲシタモノモアルカト思フテ居ル、

又決議ヲシナイノモアラウト思フノデアリマス、決議ヲシナイモノニ向ッテ意思行爲ヲ發表セザルニ當ッテト云フコトハ分ッテ居リマスガ、決議ヲシタモノニ向ッテハ既ニ發表シテ居ルノデアリマスカラ、一向分ラヌ文句ニナルノデアアル、未ダ意思行爲ヲ發表セザルニ當ッテト云フノハ何等ノコトヲ云フデアザリマセウカ、甚ダ原文ハナカク立派ナ御手際ヲ御拵ヘデアリマスガ、吾々ノヤウナモノニハ分ラヌ、謹ンデ御教ヲ受ケタイ、是モ學校ノ如キ答辯ハ教ヘテヤラヌト云フ御託宣デアリマスレバ已ムヲ得ナイ

○三崎龜之助君(四番) 御答ヲ申シマス、百八十四番ニ對シテノ御答ハ重ニ今説明ヲ致シマシタル中ノ條約履行建議案ノコトニ關シ、或ハ豫算案ニ關スルコトヲ重ニ説明ヲ致シテ居リマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○元田肇君(百八十四番) 始テ分リマシタ

○議長(楠本正隆君) 二百七十一番犬養毅君——修正案ノ提出者——登壇ヲ促シマス

(犬養毅君演壇ニ登ル)

○犬養毅君(二百七十一番) 私ハ此三崎君ノ提出サレマシタ決議案ノ修正案ヲ出シマシタ、尙ホ字句ノ這入リ處ヲ讀ンデ置キマス「明治二十六年第五期帝國議會ニ於テ本院未タ其意思」是タケテ削リ、ソレ丈ノ文字ヲ削ツタ處ニ「現内閣」ト云フ四字ガ這入ル、ソレカラ其下ヘ「行爲」ト下ハ「發表セサルニ當テ政府ガ之ヲ解散シ且其理由ヲ明示セサルハ立憲的動作ニアラズ」ト云フ丈ヲ削リ其削ツタアトデ「行爲」ト下ニ「非理不當」ト這入ル、ソレカラ「認ム因テ本院」マデハ活キルツレニ其下ガ「第五期議會解散ニ伴ヘル政府ノ行爲ヲ不當ナリ」ト云フノガ削ラレテ其跡ニ「現内閣ニ信任ヲ措ク能ハス茲ニ之ヲ決議ス」ト是ダケノ修正ニ成ル

(原文ヲモウ一遍讀ンデ頂戴「ト呼フ者アリ」)

○議長(楠本正隆君) 朗讀致シマス

(水野書記官長朗讀)

現内閣ノ行爲ハ非理不當ト認ム因テ本院ハ現内閣ニ信任ヲ措ク能ハス茲ニ之ヲ決議ス

(「ソレハ仕舞ノ文ダケダ、皆讀ンデ下サイ」ト呼フ者アリ)

(「まるデ消シテ書イタモノダ」ト呼フ者アリ)

(水野書記官長再朗讀ス)

現内閣ノ行爲ハ非理不當ト認ム因テ本院ハ現内閣ニ信任ヲ措ク能ハス茲ニ之ヲ決議ス

○重岡薫五郎君(二百九十八番) 唯今ノ朗讀ニ成ツタニ就イテ何ガアルノデアザイマス

○議長(楠本正隆君) 今朗讀シタル通ノ修正案

○重岡薫五郎君(二百九十八番) 一寸緊急ナコトデアリマス

○議長(楠本正隆君) 一寸御待チナサイ

○犬養毅君(二百七十一番) 修正ノ趣意ヲ述ベマス(重岡薫五郎君其前ニ緊急ノコトガアリマス「ト呼フ」修正ノ趣意ヲ述ベテカラ願ヒマス、私ガ之ヲ修正スルト云フ必要ヲ見マスノハ今ノ内閣ノ行爲ハ不當ナリト云フコトハ獨リ議會ヲ解散シタ時ニ止マラズ、此案ニ據リマス内閣ヲ責メルノハ唯議事ヲ進メツ、アル間十分議會ガ意見ヲ述ベヌ間ニ之ヲ止メタト云フ事柄ト、ソレ

カラ解散シテソレニ理由ヲ示サナカッタ、斯ウ謂フ事、勿論是ハ不都合デアアル、勿論不當デアアル、併ナガラ内閣ノ行爲ノ不當ナルコトハ獨リ是ニ止ラヌノデアアル、マダ是ヨリ大ナルモノガアル(拍手起ル) 若シ相當ナ内閣デアッテ餘リ不都合ヲセナイ内閣デアッタナラバ、此一事デモ内閣ハ進退セナケレバナラヌ事デアアル(拍手起ル) 併ナガラ不幸ニシテ今日ノ内閣ハ之ニ千百倍スル不當非理ヲ爲シテ居ルコトハ澤山アル(拍手起ル) 要スルニ斯様ナ些末今日ノ大キナ事ニ比スレバ比較的ニ些末ナ事柄ヲ以テ内閣ヲ責ムルナラバ先ツ是ヨリ大ナルモノヲ以テ責メナケレバナラヌ、サウ云フ小サイ箇條——過失ハ幾ツモ數フルニ及バヌ、若シ今日ノ内閣ノ過失ヲ數ヘレバ今日ノ内閣ハ我帝國ノ政治ヲ負擔スベキ真正ナ心、赤誠ヲ持ッテ居ナイト云フコトハ彼ニ向ッテノ大斷案デアアル(拍手起ル)「自家撞著」ト呼フ者アリ) 何ゼ不親切デアルカ、今日ノ内閣ハ實ニ儉安姑息デアアル、優柔懦弱デアアル、善ヲ見テ爲スコトヲ爲サズ、惡ヲ見テ檢ムルコトヲ爲サナイ、唯己ガ今日ノ地位ニ眷戀シテソレヲ守ルガタメニ生ズル所ノ事柄ガ悉ク惡事ニナル、悉ク過失ニナルノデアアル、此立憲的動作ニアラズト諸君ガ譴メラレ發案者ガ譴メラル、所ノ非立憲ノ仕事ヲ現内閣ハ澤山シテアル、併ナガラ獨リ内ニ對スル非立憲ノ事ノミナラズ、外國ニ對スル仕事ハドウ云フコトヲシテ居ルカ、昨日モ段々諸君ノ御説ガアツタ通外國ニ對シテハ怯懦ニ諛佞シテ居ル——媚ビテ居ルト云フ事柄ハ澤山出テ居ル、凡ソ此世界諸國ノ強大ナ國ニ向ッテ彼ガ柔弱ナ懦弱ナ政略ヲ取ッテ居ルト云フコトハ驚クニ足ラヌ、世界デ最モ優柔ナル弱國デアアル所ノ朝鮮、最モ弱イ支那ニ對シテ居ル現内閣總理ガ天津條約ヲ結ンデ、其墨ノ藩閥内閣ノ最モ元老ト呼ンデ居ル現内閣總理ガ天津條約ヲ結ンデ、其墨ノ未ダ乾カヌ間ニ朝鮮ニ向ッテ支那ハ如何ナル事ヲシテ居ルカ、十七年ノ變、大院君ノ變、近來ニ至ルノ始末金朴——金玉均事件等悉ク日本ノ額ニ泥ヲ塗ラレテ居リナガラ、之ヲ拭フコトヲ爲サナイ、殊ニ防殺事件ノ事ニ就イテハ殆ド公然ノ秘密ニナッテ居ル事柄ガアル、防殺事件ニ就イテ此柔弱ナル朝鮮ガ無禮ニモ日本ニ對シテ抗抵スルト云フコトノ技術ヲ出サセタノハ誰デアアルカ、誰ガ教唆シタカ、支那政府ガ之ヲ教唆シ、之ガ後口楯ニナッテ居ルト云フ證據事實ハ澤山アル、然ルニ日本政府ハ其教唆者タル支那ノ李中堂ニ向ッテ「李鴻章ニ向ッテノ仲裁ヲ頼ンダト云フコトハ實ニ公然ノ秘密ニナッテ居ル事柄デアアル、唯然ルノミナラズ此談判ノ結了ヲ爲スニ就イテ殆ド最後ノ決心ヲ以テ公使ガ日ヲ限ツテ其日迄ニ朝鮮政府ガ決答ヲシナケレバ引還スト云フマデニ決心シタ、其後ニドウ云フコトヲシタカ、世間ニ流布シテ居ル公然ノ秘密ニ依レバ、此時ニ當ッテ此伊藤内閣ハ更ニ腰ヲ折ッテ再ビ日本ヨリ駐劄シテ居ル公使ヲシテ此一番ノ教唆者タル袁世凱ニ向ッテ再ビ期ヲ延ベテ呉レイ、延期シテ呉レト云フコトヲ先方ヨリ言ハスヤウニ取計ヘト云フコトヲ言ツタト云フコトガ世間ニ流布シテ居ル、斯様ナ柔弱ナ斯様ナ怯懦ナ世界中一番弱イ國、一番微力ナ國ト云ヘバ朝鮮デアアル、其朝鮮ニ向ッテスラ相當ノ力ヲ伸ベルコトガ出來ナイ伊藤伯デアアル、世界中デ一番人ノ卑シイノハ支那デアアル、朝鮮デアアル、之ニ向ッテスラ外ニ力ヲ伸ベルコトガ出來ヌモノガドウシテ條約改正ガ出來マセウカ、彼ガ西洋諸國ト見レバ何時デモ頭ヲ下ゲ唯媚諛ッテ居ルコトハ怪シムニ足ラヌ、斯様ナ弱國ニスラ懦弱ノ政略ヲ取ッテ居ル、是ニ至リマシテハ殆ト黨派ノ別ヲ問ハズ凡ソ國民タル

衆議院議事速記録第三號

明治二十七年五月十八日

解散ニ關スル決議案

モノハ最モ親切ニ考ヘナケレバナラヌ時デアアル、凡ソ斯様ナ優柔懦弱ナ斯様  
 ナ不始末ノ政府ニ此國事ヲ任シタナラバ、不祥ナコトヲ云フノハ私ハ好マヌ  
 ガ殆ド又言フベカラザル有様ニ立至ルデアラウト思ヒマス（「別問題」ト呼  
 フ者アリ）別問題デアハナイ、外ニ對シテハ斯様ナコトガアル、元來今ノ國  
 務大臣ガ國事ニ不親切ト云フコトガ惡事ノ原因デアアル、此案ニ揭ケラレタ通  
 ニ議會ガ未ダ意思ヲ發表セザル中ニ解散シタルガ若シ親切ニ國事ヲ擔任シ、  
 國ノ事ヲ考ヘル内閣デゴザイマシタナラバ、如何ナル場合ニアツテモ如何ナ  
 ル事柄ガアツテモ自分ノ信シテ居ル意見ヲ十分述べテ闘ハナケレバナラヌ、  
 併ナガラ唯親切赤誠ヲ缺クト云フ故デ斯様ノ不始末ヲ致シテ居ル、現ニ一ノ  
 極ク明ナ例ヲ引ケバ此項井上大臣ガドウ云フコトヲ言ハレタカ、説明  
 ヲシナイト云フコトニ就イテ區々タル一ノ法律文ヲ擲出シテ楯ニ取ツテ説明  
 ヲシナイト云ハレタ、斯様ナコトガ井上大臣ノミナラズ總テ今日ノ内閣ガ不  
 親切ノ所以デアラウト私ハ確ク信ズル、刀筆ノ屬吏カ法制局ノ屬吏カ斯様ナ  
 區々トシタ法律論ヲ云フノナラバ咎ムルニ足ラヌガ、併ナガラ一國ノ政務ニ  
 當ツテ居ル國務大臣タル者ガ説明ヲ求メラレタナラバ十分出テ諸君ノ満足ス  
 ル程ノ説明ヲ與ヘナケレバナラヌ、是スラ拒ムノデアアル、要スルニ今日ノ内閣  
 ニ誰カ一體此日本帝國ヲ脊負ツテ立ツト云フ程ナ責任ヲ自ラ負ヒ自ラ信ジ  
 テ居ル人ガアルデアラウカ、實ニ私ハ始メ無イト云フ有様デアラウト思ヒマ  
 ス、斯様ナ有様デアアルカラ獨リ不正ナ事ヲシタノハ此案ニ書イテアル事柄  
 ノミデアハナイ、其外澤山アル、内治外交ニ就イテ總テ處置ヲ誤ツテアル、故  
 ニ之ヲ修正シテ更ニ意味ノ廣イモノニシテ總テノモノヲ包括シタイト云フコ  
 トガ修正ノ意味デアリマス、願クハ御贊成アラントラ希望シマス

○鈴木充美君(五十三番) 一寸提出者ニ御尋ヲ申シマスガ、此修正案ト云フ  
 モノハドウ云フ工合ノ修正案ニナルデアリマス、さるで別問題デアハナカ  
 ラウカト思ヒマス

○犬養毅君(二百七十一番) ドウ云フ工合ト云フコトハ書イテアル通ノ修正  
 デアリマス

○鈴木充美君(五十三番) 修正ヲナサルト云フコトデアアルガ、私ニハ別ノ様  
 ニ見ユルガ……

○犬養毅君(二百七十一番) 別ノモノデアハナイ、意味ノ狹イモノガ廣クナツ  
 タノデアリマス

○鈴木充美君(五十三番) 是デ廣イト云フコトニナルノデアリマス、カ  
 ○犬養毅君(二百七十一番) 左様

○鈴木充美君(五十三番) 一方ニハ事ヲ擧ゲテ此事ト云フデアアルカラツレ  
 廣クスルナラバ其條件ヲ廣クシテ往ツタナラバ修正デアアルケレドモ、事ヲ何  
 モ書カズニ置イタノガ修正ニナリマス、カト云フノデアス

○犬養毅君(二百七十一番) ナリマス、若シナラヌト云フ御意見ナラバナラ  
 スト云フ御意見デ御反對ナサルガ宜イ、私ハナルト云フ考デ修正ヲ致シタノ  
 デアル

○星亨君(四十八番) 一寸質問ヲ致シマスガ、私ハひつこく質問ハ致サナイ、  
 唯今ノ御話中ニ總テノコトガ含シテ居ル様ニ思ハレマス、即チ今ノ内閣ノ不  
 都合ナコト總テノモノガ含シテ居ル様ニ見エマス、其修正ノ中ニハ——私ハ  
 修正ト見ナイガ、マア其修正ノ中ニハ所謂厲行ノコトモ這入ツテ居ルノデアリ

○重岡薫五郎君(二百九十八番) 厲行案モ……宜シウゴザリマス  
 ○星亨君(四十八番) 厲行案モ……宜シウゴザリマス  
 ○重岡薫五郎君(二百九十八番) 私ハ唯今鈴木君ノ質問ト同シ様ナコトヲ聞  
 キタイノデアリマスガ、此修正案ノ提出者ハ至テ不當極マル、更ニ修正ノ理  
 由ト云フモノヲ言ハナイヤウナモノデゴザリマス、カ、私ハ改テ議長ニ建議  
 ヲシヤウト思フ、其事柄ハ一體修正案ト云フモノハ修正案デアハナクシテ特別  
 ノ議案デアアル

○犬養毅君(二百七十一番) 勿論サウデアリマス  
 ○星亨君(四十八番) 厲行案モ……宜シウゴザリマス  
 ○重岡薫五郎君(二百九十八番) 私ハ唯今鈴木君ノ質問ト同シ様ナコトヲ聞  
 キタイノデアリマスガ、此修正案ノ提出者ハ至テ不當極マル、更ニ修正ノ理  
 由ト云フモノヲ言ハナイヤウナモノデゴザリマス、カ、私ハ改テ議長ニ建議  
 ヲシヤウト思フ、其事柄ハ一體修正案ト云フモノハ修正案デアハナクシテ特別  
 ノ議案デアアル

○野平穰君(二百二十三番) 質問致シマスガ、現内閣ノ行爲ト云フモノハ漠  
 然總テノ行爲ヲ云フノデアリマス、カ

○犬養毅君(二百七十一番) 左様デゴザリマス、一言申シテ置キマスガ、此事  
 柄ニ就イテ是デアルト云フクダノシク述ベナイ、代言人ガ法廷デ理非曲直  
 ヲ爭フ様ナモノデアハナイ、政治上ノ審判ヲ下スハ天下公衆ノ認メテ——不都  
 合ト認ムルコトヲ云フノデアアル

○野平穰君(二百二十三番) 尙ホモウ一つ伺ヒマス、修正ト云フコトニ就イ  
 テハ鈴木君モ聽カレマシタガ……(此時議場騒然)是ハ單獨ニヤツタモノト見  
 エル、然ルニ是ガ修正ト云フノハドウ云フ考デアリマス、カ

○犬養毅君(二百七十一番) 私ハ修正ト信ズルノデアアル

○井上角五郎君(二百二十番) 二百三十番ハ極ク簡單ナコトデ、唯今星亨君  
 デアリマシタカ、厲行案モ此中ニ含シテ居ルカト尋ネタラ犬養君ノ御答ニ含  
 シテ居ルト云ハレタガ、厲行案ハドノ様ニ含シテ居ルカ、厲行建議案ヲ議會  
 ニ出シタノヲ政府ガ議サセナカッタノガ惡ルイノカ、政府ガ條約ヲ厲行シタ  
 イノガ惡ルイノカ、或ハ昨日ノ如ク議會ガ厲行ニ關シテ上奏案ヲ出シテ是ハ  
 破レタケレドモ其實厲行ト云フコトハ此議會ガ望シテ居ルト云フノ意思ヲ發  
 表スルタメニツレガ含シテ居ルト云フノカ

○犬養毅君(二百七十一番) 極ク簡單ニ御答致シマス、内閣ノ千百ノ惡事天  
 下公衆ノ認メテ居ルモノハ是ニ這入ツテ居ル

○井上角五郎君(二百二十番) 三ツノ中何レガ含シテ居ルノデアスカ  
 ○犬養毅君(二百七十一番) ドレデモ宜シイ、總テ含シテ居リマス

○鈴木充美君(五十一番) 議長、私ハ先決問題ノ動議ヲ提出致シマス、(此修  
 正案ハ修正案ニアラス)ト云フノ先決問題ヲ提出致シマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(楠木正隆君) 一寸御待チナサイ、五十三番ノ意見ハ此修正案ハ修正  
 案ニアラズト云フ先決問題ヲ提出シヤウト云フ……

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(楠木正隆君) 是ハ議長ガ判斷ヲ下スニ先決問題ニアラズ——ソレハ  
 修正ニ反對ノ意見デアゴザリマセヌカ

○野平穰君(二百二十三番) 質問致シマスガ、現内閣ノ行爲ト云フモノハ漠  
 然總テノ行爲ヲ云フノデアリマス、カ

○犬養毅君(二百七十一番) 左様デゴザリマス、一言申シテ置キマスガ、此事  
 柄ニ就イテ是デアルト云フクダノシク述ベナイ、代言人ガ法廷デ理非曲直  
 ヲ爭フ様ナモノデアハナイ、政治上ノ審判ヲ下スハ天下公衆ノ認メテ——不都  
 合ト認ムルコトヲ云フノデアアル

○野平穰君(二百二十三番) 尙ホモウ一つ伺ヒマス、修正ト云フコトニ就イ  
 テハ鈴木君モ聽カレマシタガ……(此時議場騒然)是ハ單獨ニヤツタモノト見  
 エル、然ルニ是ガ修正ト云フノハドウ云フ考デアリマス、カ

○犬養毅君(二百七十一番) 私ハ修正ト信ズルノデアアル

○井上角五郎君(二百二十番) 二百三十番ハ極ク簡單ナコトデ、唯今星亨君  
 デアリマシタカ、厲行案モ此中ニ含シテ居ルカト尋ネタラ犬養君ノ御答ニ含  
 シテ居ルト云ハレタガ、厲行案ハドノ様ニ含シテ居ルカ、厲行建議案ヲ議會  
 ニ出シタノヲ政府ガ議サセナカッタノガ惡ルイノカ、政府ガ條約ヲ厲行シタ  
 イノガ惡ルイノカ、或ハ昨日ノ如ク議會ガ厲行ニ關シテ上奏案ヲ出シテ是ハ  
 破レタケレドモ其實厲行ト云フコトハ此議會ガ望シテ居ルト云フノ意思ヲ發  
 表スルタメニツレガ含シテ居ルト云フノカ

○犬養毅君(二百七十一番) 極ク簡單ニ御答致シマス、内閣ノ千百ノ惡事天  
 下公衆ノ認メテ居ルモノハ是ニ這入ツテ居ル

○井上角五郎君(二百二十番) 三ツノ中何レガ含シテ居ルノデアスカ  
 ○犬養毅君(二百七十一番) ドレデモ宜シイ、總テ含シテ居リマス

○鈴木充美君(五十一番) 議長、私ハ先決問題ノ動議ヲ提出致シマス、(此修  
 正案ハ修正案ニアラス)ト云フノ先決問題ヲ提出致シマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(楠木正隆君) 一寸御待チナサイ、五十三番ノ意見ハ此修正案ハ修正  
 案ニアラズト云フ先決問題ヲ提出シヤウト云フ……

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(楠木正隆君) 是ハ議長ガ判斷ヲ下スニ先決問題ニアラズ——ソレハ  
 修正ニ反對ノ意見デアゴザリマセヌカ

○野平穰君(二百二十三番) 質問致シマスガ、現内閣ノ行爲ト云フモノハ漠  
 然總テノ行爲ヲ云フノデアリマス、カ

○犬養毅君(二百七十一番) 左様デゴザリマス、一言申シテ置キマスガ、此事  
 柄ニ就イテ是デアルト云フクダノシク述ベナイ、代言人ガ法廷デ理非曲直  
 ヲ爭フ様ナモノデアハナイ、政治上ノ審判ヲ下スハ天下公衆ノ認メテ——不都  
 合ト認ムルコトヲ云フノデアアル

○野平穰君(二百二十三番) 尙ホモウ一つ伺ヒマス、修正ト云フコトニ就イ  
 テハ鈴木君モ聽カレマシタガ……(此時議場騒然)是ハ單獨ニヤツタモノト見  
 エル、然ルニ是ガ修正ト云フノハドウ云フ考デアリマス、カ

○犬養毅君(二百七十一番) 私ハ修正ト信ズルノデアアル

○井上角五郎君(二百二十番) 二百三十番ハ極ク簡單ナコトデ、唯今星亨君  
 デアリマシタカ、厲行案モ此中ニ含シテ居ルカト尋ネタラ犬養君ノ御答ニ含  
 シテ居ルト云ハレタガ、厲行案ハドノ様ニ含シテ居ルカ、厲行建議案ヲ議會  
 ニ出シタノヲ政府ガ議サセナカッタノガ惡ルイノカ、政府ガ條約ヲ厲行シタ  
 イノガ惡ルイノカ、或ハ昨日ノ如ク議會ガ厲行ニ關シテ上奏案ヲ出シテ是ハ  
 破レタケレドモ其實厲行ト云フコトハ此議會ガ望シテ居ルト云フノ意思ヲ發  
 表スルタメニツレガ含シテ居ルト云フノカ

○鈴木充美君(五十三番) 違ヒマス

○高田早苗君(八十番) 何ガ故ニ修正案デナイカト云フコトノ説明ヲ聞キタ

○島田三郎君(三十一番) 何ガ故ニ修正案デナイカト云フ證據ガアルカ、説  
明ヲ請ヒタイ

○議長(楠本正隆君) 五十三番、アナタノ先決問題ト仰シヤルノハ反對論ダ  
ト議長ハ認メマスガ、其趣意ヲ(「のーく」ト呼ビ又「ひやく」ト呼フ者ア  
リ)御待チナサイ、其趣意ヲ御述ベナサイ

○鈴木充美君(五十三番) 其趣意ヲ述ベマス  
議長(楠本正隆君) 登壇ヲ促シマス  
(鈴木充美君演壇ニ登ル)

○鈴木充美君(五十三番) 單簡ニ申シマス、修正ト云フモノハ原案ノ文ノ中  
ニ斯ウ云フ事ハ斯ウナラナケレバナラヌトシテ書イテ往クノデアリマス(「其  
通」ト呼フ者アリ)此案ハ全ク別ノモノヲ持ッテ來テ之ヲ換ヘテ拵ヘタト云  
フノデアアルカラ修正デハナイ、是丈デ澤山デアアルト思ヒマス(議場騒然タリ)

○高田早苗君(八十番) 反對ノ意見ヲ述ベマス  
○島田三郎君(三十一番) 斯様ナコトハ後來ノコトニモ關係シマスカラ、斯  
様ナコトハ斥ケラレシコトヲ望ミマス

○星亨君(四十八番) 先決問題ナドニ辯論ハ要リマセヌ  
○山口千代作君(二百六十八番) 先決問題ニ質問ガ出來ナイト云フコトハナ  
イ、分ラヌコトハ先決問題トシテ議スルコトハ出來ヌ

○中村彌六君(九十七番) 修正案ハ修正案ニアラズト云フノハ、人間ハ人間  
ニアラズト云フト同ジコトデ……

○山口千代作君(二百六十八番) 私ハ質問ヲシマス

○高田早苗君(八十番) 八十番ハ唯今ノ先決問題ノ提出者鈴木君ニ向ッテ質  
問ヲ致シマスガ、鈴木君ノ唯今ノ御説ニ依リマスト云フト、此大養君ノ提出  
ノ修正案ナルモノハ原案ニ關係ガナイカラ修正案デハナイト云フコトデア  
ル(鈴木充美君、左様ト呼フ)何ガ故ニ關係ガナイト云フコトデアアルカ、現ニ  
案ナルモノハ文字ヲ違ヘテ出スノデアアル、違ヘテ出ス以上ハ元ノ文字ガ一字  
タリトモ半分タリトモ(笑聲起ル)存スル以上ハ是ハ則チ何レノ議會ニ於テモ  
認ムル所ノ修正デアアル(「ひやく」ト呼フ者アリ)何ガ故ニ鈴木君ハ之ヲ修正  
案デナイト云ハレマスカ

○鈴木充美君(五十三番) 御答ヲシマス

○山口千代作君(二百六十八番) 議長……議長

○議長(楠本正隆君) 一寸御待ナサイ

○鈴木充美君(五十三番) 答ヲ致シマス、修正ト云フコトニモ「ノ」ノ字ガ一  
字アツテモツレデ修正デアルト云フノカ「イロハ」ノ「イ」ノ字ガ一字アツテ修  
正デアルト云フヘルガ、ツンナコトハ修正デハナイ、議論ハ致シマセヌ

○山口千代作君(二百六十八番) 私ハ五十三番ニ質問シマス、今ノ修正ニア  
ラズト云フコトハ何等ノ理由ヲ以テ言フノデアアルカ、此文ヲ能ク讀ムガ宜シ  
イ「現内閣ハ非理不當ト認ム」ト云フノデ一番行爲ト云フコトガ大事ダカラ  
非理不當ト云フノデ之ヲ認ムト云フ字ガアル(笑聲起ル)是ガ修正デナイト云  
フノハ何ノ譯デアリマスカ、一向吾々ニハ分ラヌ、之ヲ擴メテ大キクシタノ

デ、文字上成ル程一寸見タナラバ文字ガ大變滅ジテ居ルカラ修正デナイト思ッ  
タカ知レナイガ、サウ云フ譯デハナイ、縱令文字ハドウデモ意味ハ不當ト認  
メルト云フノヲ擴メテイヤッタノデアアルカラ、修正ト云フハ思フノデアリマス、  
若シ三百圓ト云フ金ヲ五圓トカニ圓トカニ修正シタラ是ハ修正デナイト云フ  
カ(大違ヒダ)ト呼フ者アリ、甚ダ了解シ能ハザルトコロデアアルカラ了解シ得  
ラレルヤウニ説明アラシムコトヲ冀望シマス

○議長(楠本正隆君) 一寸御待ナサイ(發言スル者多シ)暫ク——著席ナサイ  
(發言ヲ求ムル者多シ)宣告ガアル  
(島田三郎君、一言シタイ、議長ノ宣告ノ前ニ一言シタイ)

○議長(楠本正隆君) 宣告ガアル、此事ハ明治二十六年十一月二十九日ニ先  
例ガアル、故ニ議長ハ是ハ先決問題ニアラズト致シマス(「ひやく」ト拍手起  
ル)山田東次君

○星亨君(四十八番) 議長……議長(發言ヲ許シタ)發言ヲ許シテカラハイ  
ケナイト呼フ者アリ

(山田東次君演壇ニ登ル)

○星亨君(四十八番) 議長……議長、何ノ用ガアルカモ知レナイ(「モウ登壇  
シテ居ル」ト呼フ者アリ)

○星亨君(四十八番) 議長……用ガアルノニナゼ許シマセヌカ(發言スル者  
多シ)

(退場ヲ命ゼヨ)黙ッテ聽ケ「議長ノ命令ヲ奉ゼザル者ハ退場サスベシ」  
(ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 登壇ヲ許シマシタカラ、發言ハ許シマセヌ

○星亨君(四十八番) 何ダカ分ラナイ、……ナゼ御許ニナラヌノデスカ、聽エ  
ナイ——何デスカ

○議長(楠本正隆君) 既ニ登壇ヲ促シタ後デアアルカラ發言ハ止メマス、意見  
ガアルナラ又後日ニ御出シナサイ

○星亨君(四十八番) サウデスカ、ツレナラ宜シイ  
(守屋此助君「強情ニヤレ、強情ニヤラヌト君ノ本職ガ無クナルヨ」ト  
呼フ)

○山田東次君(二百六十八番) 此決議案ニ就キマシテハ唯今提出者タル所ノ  
三崎龜之助君ヨリ決議案ノ趣旨ヲ述ベマシテゴザイマス、然ル所ガ犬養毅君  
ヨリ修正案ガ出マシタ、私ハ此修正案ハ實ハ單獨ナル別ナモノト思フ、併ナ  
ガラ私ハ夫等ノコトニ依ッテ規則ノ上ナドニ就イテ反對ハ致サヌ、犬養君ノ  
修正ハ「現内閣ノ行爲ハ非理不當ト認ム依テ本院ハ現内閣ニ信ヲ置ク能ハス  
茲ニ之ヲ決議ス」ト云フノデアアル、詰リ犬養君ノ言ハレル所ハ現内閣ノ罪ヲ  
數ヘ來ッテ現内閣一切ノ惡事ヲ此中ニ包含シテ信任缺乏ノ決議ヲ致スニ過ギ  
ヌノデアリマス、誠ニ現内閣ニ信ヲ措カヌト云フコトハ御同様ノコトデアアル、  
私ハ犬養君ニ賛成スルノデアアル(發言スルモノ多シ)滿場諸君中或ハ幾分カ一  
部分ノ人ニ至ッテハ隨分現内閣ヲ信用スル人ガアルカモ知ラヌ、併シ吾々同  
志ニ於テハ現内閣ニ信任ヲ致スト云フヤウナコトハナイ、現内閣ハ固ヨリ信  
任セザルノミナラズ明治政府ト云フモノニ吾々ハ信ヲ措イテ居ラヌノデア  
ル、信任缺乏ノ投票ヲ出シテ其罪ヲ數ヘ來ッテ信任缺乏ノ決議ヲ致スト云フ

ナラバ第一期ニ遣ルガ宜シ、第二期ニ遣ルガ宜シ、第三期ニモ遣ルガ宜シ、第四期ニモ遣ルガ宜シ、第五期ニモ遣ルガ宜シ、此間稲垣示君ガ信任缺乏ノ演説ヲ爲サレマシタ時ニ改進黨ノ諸君、又吾々同志モ此現内閣ニ信ヲ措カヌト言フコトハ吾々モ同感デアアルケレドモ今更事新シクヤルニハ及バヌト言フテ其時ニハ犬養君モ贊成者ノ一人デアッタ、改進黨ノ諸君モ其時ハ吾々ト共ニ其案ニ反對シタ諸君デアアル、然ルニ今日斯ノ如キ問題ヲ出サレルト云フコトハ昨日ノ決議案ニ負ケタカラ腹癒セニ(拍手起ル)斯ウ云フ修正ヲシテ此案ハ通過シナイデモ地方ニ往ツテ(中村彌六君)乃公自ラナリト呼フ(演説ノ種子ニナサルト云フ(拍手、笑聲起ル)吾々ニ於テモ現内閣ニ信ヲ措カヌト云ヘバナゼソレナラバ贊成ヲ致サヌカト言ハレルデアラウ、サリナガラ現内閣信任ノ決議ヲ致シタ所ガ(發言スルモノ多ク)「黙レ」ト呼フ者アリ)信任缺乏ノ決議ヲシタ所ガ死シタ馬ニ鐵ヲ致スヤウナモノデアアル、此明治政府ト云フモノハ立憲的ノ動作ヲ爲サヌト云フコトハ事新ラシク今日言フニハ及バヌ、一期以來今日マデ立憲的動作ヲ爲サナイコトハ分ツテ居ル、此立憲的動作ヲ爲サナイ政府ニ向ツテ信任缺乏ノ投票ヲシタ所ガ痛痒相關セヌト云フヤウナ有様デアツテ、まるデ死人ニ鐵ヲ致スヤウナモノデアアル(果シテ左様カナト呼フ者アリ)ソレヨリハ現政府ニ反對致シマスニハ事實問題デ大ニ戦フ途ヲ取ツタ方ガ却ツテ宜シイデアアル(中村彌六君)ソノコトヲ言フトソレガ速記録ニ殘ツテ君等ガ後トテ迷惑スルヨト呼フ)唯信任缺乏ノ決議ヲ致スヤウナコトヲシテ改進黨ノ諸君其外ノ諸君ガ世間ノ景氣取リニ斯ウ云フコトヲスルデアアルト云ハレルノハ、自分ハ改進黨ノ諸君及其外ノ諸君ニ向ツテ誠ニ其意思ガ御氣ノ毒ノコトデアアルト言フモ取テ不都合ハアルマイト思フデアアル(一ノ、ひや、ひや)ノ聲起ル)唯現政府ヲ信任致サヌト云フコトハ犬養君及其他贊成ナサル所ノ方ト同感デアアルガ、今ノ如キ政府ニ向ツテ信任缺乏(ソノナ政府ニ海軍ノ改革ヲ御請求ナサルノハドウシタノデス)ト呼フ者アリ)死人ニ鐵ヲスルヤウナコトヲシタ所ガ甚ダ詰ラナイデアアル、却ツテ諸君ノ方ガ現内閣ヲ買過ギテ居ル、信任缺乏ノ決議ヲ致ス丈ノ値打ノアル政府デアアルト斯ウ認メテ居ルデアアルカラ(ひや、ひや)「笑聲起ル」諸君ノ方ガ餘程現内閣ヲ買過ギテ居ル、吾々ハ信任缺乏ト云フ如キ立憲的政府ニ向ツテ爲スベキコトヲ今ノ政府ニ向ツテスルノハ誠ニ價値ナキコトデアアルト思フ、ソレデアアルカラ斯ノ如キ政府ニハ事實問題デ當ルガ一番デアアル、事實問題デ頭ヲこつんこつんと往カナケレバイケナイデアアル、然ルニ諸君ガ漠然タル罪ヲ數ヘ來ツテ今更事新シク申スデアアルガ、何故諸君ハ此信任缺乏ノ決議ヲスルナラバ第一期ノ時ニモ御遣リニナラヌ、改進黨ノ諸君ハ稲垣示君ノ出サレタ所ノ信任缺乏ノ動議ニ何故反對ヲナスツタ、實ニ昨日ノ決議案ガ否決サレタカラ腹癒セニ一番出シテ見ヤウト云フヤウナコトヲ言フテ無論こじつけニ成程修正ト云フマシテ修正カモ知ラヌケレドモ、木ニ竹ヲ接イダヤウナ修正案マデモ出シテサウシテ吾々モ此贊成ヲシテ提出ヲシタ所ノ此決議案ヲ妨害シヤウト云フ其意思ハ甚ダ拙劣ナリト言フモ妨ゲナイト思フ

○田中正造君(百六十一番) 稲垣君ニ反對ヲシタト云フテ改進黨ヲ小言ヲ言フマアナタモ其時ニ壇ニ登ツテ反對シタノヲソレヲ忘レハシマスマイナ、自分ノモ言ハナクテハイケナイ

○山田東次君(二百六十八番) 忘レハシナイカラ、私等モ今日ハ反對ヲシテ居ル

○犬養毅君(二百七十一番) 山田君ノ御説ニ依ルト云フト信任缺乏ト云フ決議ヲシテモ是迄效力ガナカッタ、ソレ故ニヤラヌ、今ノ政府ハ非立憲デ應ジナイカラ皆止メテ行ク、信任缺乏ト云フ決議ヲ議會ガシテモ是迄ノ經驗ニ依ルト云フト餘リ效能ガナカッタ、ソレ故ニシナイ、斯ウ云フ御議論ナラバヤッテ見テ内閣ガ應ジナイカラ……

○山田東次君(二百六十八番) 何デスカ、アナタノ質問ハ分ラナイ

○犬養毅君(二百七十一番) 山田君ノ御説ニ依ルト信任缺乏ト云フトノ決議ヲシタ、シタケレドモ是迄ノ經驗ニ依ルト内閣ハ一向平氣デ受ケナイ……

○山田東次君(二百六十八番) 信任缺乏ノ決議ヲシタトハ申シマセヌ、アナタモ一期カラ御出ニナツテ御承知デアリマセウ

○犬養毅君(二百七十一番) サウ云フコトヲヤッテモ效力ガナイカラ止メルト仰シヤル……

○山田東次君(二百六十八番) 斯ノ如キコトヲシテモ仕方ガナイ、吾々ハ事實問題ニ於テ現政府ト闘フト云フ考デアリマス

○犬養毅君(二百七十一番) 何故仕方ガナイ

○山田東次君(二百六十八番) 仕方ガナイト云フノハソレハ各々見ル所デ違フデアアル

○田中正造君(百六十一番) 山田君ハ度々幾度モ幾度モおれハ犬養君ト同意ナ意見ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ仰シヤル、政府ノ不信任ト云フコトニ就イテ犬養君ト同意デアアルト云フコトモ四度カ五度仰シヤッタ、ソレハ其當時言マコトヲ消スノデハナイデセウナ、ソレヲ一寸……

○山田東次君(二百六十八番) 勿論

○田中正造君(百六十一番) 消サナケレバ矢張此修正案ニ御同意デセウカ

○山田東次君(二百六十八番) 所ガ反對デアアル

○田中正造君(百六十一番) ソレデ反對ト云フノハドウ云フ譯デアアルカ(拍手スル者アリ)

○議長(楠本正隆君) 和田彦次郎君

(和田彦次郎君演壇ニ登ル)

○和田彦次郎君(二十九番) 本員ハ前出マシタ所ノ修正説ニ贊成ノ一人デゴザイマスル、此修正ニ贊成スル理由ハ先キニ河野廣中君三崎龜之助君ヨリ出サレマシタ所ノ本案ハ吾人ハ決シテ之ニ満足スルコトヲ得ナイモノデアアル、故ニ此修正ヲ贊成スルノ理由ト云フモノヲ證明セヌ又議案ヲ十分ニ議サセズシテ解散ヲシタ、此二點ノ手續ガ誤ツテ居ルカラ其手續ガ不當デアルト云フコトヲ議決シタルモノデアアル、唯手續丈ヲ以テ吾々ハ決シテ満足ハ出來ナイ、唯手續ノ不當丈ヲ茲ニ決議シテ満足スルト云フガ如キ軟弱ナル氣骨ノナキ決議案ヲ茲ニ何ガタメニ出ス積デアアルカラ疑フノデアアル(松方内閣ヲ信用スルカ)ト呼フ者アリ)故ニ修正案ヲ本員ハ贊成スルノデアアル、抑、修正案ハ前提出者ガ述べラレタルガ如ク意味ハ餘程廣クナツテ居リマスル、其意味ノ廣イモノヲ議決セザレバ殆ド用ナキ議決デアアルト云フコトヲ感ズル所以ノモノハ現内閣ハ憲法ヲ無視シタル所ノ行動ガ現在アルデアアル

(品川子爵ハ如何ト呼フ者アリ)此憲法ヲ無視シタル所ノ行動ガ現在アルニモ拘ラス管ニ手續ガ不當ナルカラト云フテ手續式ノコトヲ不當ナリト議決シテ以テ尙ホ吏黨ノ假面ヲ免レントスルガ如キハ決シテ天下公衆ノ許サザル所デアラウト思フ(拍手起ル)諸君ヨ、管ニ憲法ヲ無視シタルノミナラズ甚シキニ至ラハ現内閣ハ如何ナルコトヲ……(馬鹿野郎ト呼フ者アリ)○田中正造君(百六十一番)議長——演說中タリト雖モ馬鹿野郎ト云フ言葉ガアリマス、整理上ニ於テ宜シク御取調ナサイ

(吾々ノ耳ニ達シタ以上ハ宜シク是ハ懲罰委員ニ付スベシト呼フ者アリ)○和田彦次郎君(二十九番)管ニ現内閣ハ憲法ヲ無視シタルノミナラズ甚シキニ至リマシテハ内閣自身ガ憲法ヲ無視シテ内ハ國運ニ關スル所ノ須急ノ問題ヲ緩慢ニ附サシメ、外ハ外交ニ對スル所ノ方針ヲ誤ラテ居ナガラ、甚シキニ至リマシテハ己ノ罪、内閣ヲ自ノ罪ニシテ此議會ニ嫁セシメントスルガ如キ狡猾ナル所ノ舉動ガ見エテ居ルノデアル(己ノ真心ヲ欺ク勿レト呼フ者アリ)此内閣自身ノ過失ヲシテ此議會ニ向テ之ヲ嫁セシメントスル所ノ行動ハ一々述べナクモ諸君ハ既ニ記憶シテ居ルデゴザリマセウ、今ヨリ僅カ四十八時間前一日ノ午後三時ニ於テ總理大臣ハ茲ニ何ト述べラレマシタ、其總理大臣ガ述べラレタ際ニ於テ速記録ニアルノ御覽デモアリマセウガ、私ハ厭スルタメニ茲ニ讀ミマス

諸君ニ今虚心ニ御考慮ヲ願ヒタイト申シタノハ斯ウ云フ問題ヲ以テ政府ト議會ト始終衝突シテ居テ而シテ國家急要ナル事業ヲ後ニ殘サヌケレバナラヌト云フコトハ甚ダ痛嘆ニ堪ヘヌ所デアラト云フコトヲ言ハレテ居ル、斯ノ如ク此國家ノ急要ノ事物ヲシテカラニ議會ノ協贊ヲ得ルト云フノガ政府ノ趣意デアラナラバ、何故ニ第五議會ヲ故ナク解散致シタデゴザイマセウ、政府ガ故ナク解散致シタト云フ所ニ依ッテ見レバ政府自身ガ即チ憲法ニ違ッテ議會ヲ解散シテ國家急要ナル事業ヲシテカラニ殆ド半年ノ後ニマデ政府ガをくらサシメタト云フコトノ其罪、何レニアル、取リモ直サズ政府ノ罪ナリト信ズルノデアル、斯ノ如ク政府ノ所爲ハ内國ニ於テノ事業ノ發達ヲ阻ミタル所ノ行爲ガアルニ拘ラス此阻ミタル所ノモノヲ以テシテ議會ノ罪ナリトセシムルガ如キ政府ノ行爲ト云フモノハ、決シテ唯不當ナリト云フヲ以テ満足スルコトハ吾々ハ出來ヌノデアル(選舉干渉ナラバ宜シイト呼フ者アリ)又伊藤總理大臣ノ本席ニ於テ——此席ニ於テ僅カ四十八時間前ニ述べラレタル中ニ——勿論議會解散ノ止ムヲ得ザルニ出デタコトハ種々ノ事ガ湊合シテ居リマスルガコレヨリシテ此立法行政ノ衝突ト相成リマシタガ最モ重キハ厲行案ニ置イタニ相違ナイ政府ハ之ニ絕對的ノ反對デアアルト云フコトヲ述べラレタ、如何ニモ現内閣ニ於テハ厲行案ハ餘程厭ヤナモノト見エマス、絕對的ニ反對ヲ爲サル、モノト見エル、而シテツレヨリ僅カ二秒時間ヲ去ラサル後ニ於テ同總理大臣ガ一口カラ何ト云ハレタカ、諸君ハ記憶シテ居ラル、デアラウ「政府ハ條約ノ履行ニ必要ナルコトハ厲行シテ行キツ、アル」ト云フコトヲ云フテ居ルデハナイカ、是ニ由ッテ觀レバ厲行ト云フコトガ國家ノ治安ニ關シ厲行ニ反對ト口言ヒナガラ己ハ厲行シテ行キツ、アルト云フノハ厲行其者ニ厭ヤニアラズシテ己ノ爲シ能ハヌ限リノ部分ヲ責メラル、ノツラサニ茲ニ名ヲ假ッテ以テ此議會ヲ蔑視

シ所謂憲法ヲ蹂躪シタル所ノ所爲ヲ爲シタルモノデアルト認ムルノデアル、又總理大臣ガ一日此席ニ於テ演說セラレタ其中ニ「厲行法案ノ出所成立ト云フモノニ溯ッテ見ルト云フト即チ非内地雜居尙早論ヨリ起ツタノデアリマス」斯ノ如ク言ハレテ居ル、厲行法案ハ非内地雜居ノ論者ヨリ起ツタモノデアルト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、何等ヲ以テ之ヲ推測シ、何等ヲ以テ斯ノ如キ論斷ヲセラレタモノデアアルカ、恐クハ妄斷妄想ヲ以テカラニ——此議會ヲ己ノ妄想ヲ以テカラニ論斷シタルモノト云フハナケレバナラヌ、何故ナラバ僅カ其事ヲ述べタ三秒時間ヲ經タル後ニ於テ同ジ口カラ同ジ總理大臣ノ伯翁ガ何ト云フタ、所謂雜居尙早ニアラズ、厲行案ハ厲行案ナリト滿場ノ諸君ノ中デ述べラレタ際ニ於テ「ツレハ政府ノ大ニ喜ブ所デアリマス」ト述べラレタデハゴザイマセウカ、政府ガ既ニ喜ブコトデアアル、議會ノ意思ヲ聽イテ喜ブ位ノコトデアアツテ、昨年ノ第五ノ議會ニ於テハ妄斷ヲ以テ此厲行案ハ非内地雜居說ヨリ出テタルモノデアアルト云フノ意思ヲ以テ論斷シテ議會ヲ解散シナガラ本年此席ニ於テ言フトキニ當ッテ「決シテ然ラス」ト此議場ノ人ガ述べレバ「大ニ喜ブ所デアアル」ト言フタノデアル、既ニ此席ニ於テ述べル所ノ一時間經タズノ中ニ於テモ前述ベタル所ト後ニ議場ニ於テ形勢ヲ見テ喜ブト云フコト、相違スル所ノモノハ、彼ノ口彼ノ行爲ニ於テ明デアアル、既ニ斯ノ如ク明デアアル以上ハ第五ノ議會ヲ解散シタル所ノモノハ全ク過デアツタリシカ、將タ妄斷タルコトヲ白狀シタルモノデアアルカ、斯ノ如ク彼レ自ラ言ハレル所ノモノデスラモ此處デ演說セラル、時間中ニ於テ既ニ前ノ論斷ト後ノ喜ブト云フガ如キコトヲ言フテ居ルノデアル、之ヲ若シ伊藤總理大臣ノ口調ヲ以テ申シマスレバ、伊藤總理大臣ガ第五議會ヲ解散セラレタル所ノモノハ其出處成立ニ溯ッテ見ルト云フト憲法ヲ無視シタルト云フコトデアアツテ、憲法ノ解釋ヲ誤ラタモノト云フハ大變上品デアアルケレドモ、解釋ヲ誤ラタニアラズシテ此議會ヲ蔑視シタル所ノ行爲ヨリ出テタルモノデアアル(拍手起リ又「のー」ト呼フ者アリ)諸君「おい」ト呼フ者アリ(笑聲起ル)此解散ヲセラレタル所ノ行爲ト云フモノニ就イテ伊藤ノ口調ノ如ク其成立原因ニ溯ッテ見マシタナラバ、所謂憲法ノ侮蔑ハ勿論、議會ヲ輕視シタルモノデアアルト云フコトハ昨日來述べラレテ居ル所ノ屢、演說ノゴザイマシタル所ノ二條基弘公ニ送ラレタ回答書ニ依ッテ明カデハゴザイマセウカ、其回答書ハ諸君ノ御承知ノ如ク「議院ノ議ノ如キハ實ニ不肖ガ取ッテ己ノ及バザル所ヲ補フノ餘師トナサンコトヲ樂ム所——餘師トナサンコトヲ樂ム所思フニ立憲ノ義又茲ニ存スルヲ疑ハズ」ト云フデアアル、恐ラクハ憲法ノ——此憲法ヲ抑ヘタ所ノ伯ト呼バレ憲法伯ト稱ヘラレテ居ル所ノ人ガ此帝國議會ニ於テ議シタル所ノモノヲ以テ己ノ足ラザル所ヲ補ヒ、己ノ餘師ト爲スト云フガ如キハ實ニ憲法ヲ無視シタル所ノモノデアアル、殊ニ餘師トシテ以テ樂ム所——樂ム所トハ何デゴザイマセウ、此帝國議會ヲシテカラニ己ノ足ラザル所ヲ補フノ餘師トシテ樂ム所ナリト云フガ如キニ至ッテハ殆ド憲法ヲ無視シタル所ノモノデアアル、議會ヲ侮蔑シタル所ノモノデアアル、諸君、斯ノ如キ内閣、斯ノ如キ總理大臣ノ行動ガアルノニ管ニ(「簡單」ト呼フ者アリ)議會ヲ解散スル際ニ於テ十分ニ理由ヲ述べサセナカツタト云フコトガ一箇條ト、モウ一ツハ其理由ヲ十分ニ述べナカツタト云フコトダケヲ以テシタノガ不當デアアルト云フ丈ヲ以テ吾々ハ満足スルコトハ出來ヌノデアアル、(「簡單々々」ト呼フ者アリ)故ニ斯ル内閣

シ所謂憲法ヲ蹂躪シタル所ノ所爲ヲ爲シタルモノデアルト認ムルノデアル、又總理大臣ガ一日此席ニ於テ演說セラレタ其中ニ「厲行法案ノ出所成立ト云フモノニ溯ッテ見ルト云フト即チ非内地雜居尙早論ヨリ起ツタノデアリマス」斯ノ如ク言ハレテ居ル、厲行法案ハ非内地雜居ノ論者ヨリ起ツタモノデアルト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、何等ヲ以テ之ヲ推測シ、何等ヲ以テ斯ノ如キ論斷ヲセラレタモノデアアルカ、恐クハ妄斷妄想ヲ以テカラニ——此議會ヲ己ノ妄想ヲ以テカラニ論斷シタルモノト云フハナケレバナラヌ、何故ナラバ僅カ其事ヲ述べタ三秒時間ヲ經タル後ニ於テ同ジ口カラ同ジ總理大臣ノ伯翁ガ何ト云フタ、所謂雜居尙早ニアラズ、厲行案ハ厲行案ナリト滿場ノ諸君ノ中デ述べラレタ際ニ於テ「ツレハ政府ノ大ニ喜ブ所デアリマス」ト述べラレタデハゴザイマセウカ、政府ガ既ニ喜ブコトデアアル、議會ノ意思ヲ聽イテ喜ブ位ノコトデアアツテ、昨年ノ第五ノ議會ニ於テハ妄斷ヲ以テ此厲行案ハ非内地雜居說ヨリ出テタルモノデアアルト云フノ意思ヲ以テ論斷シテ議會ヲ解散シナガラ本年此席ニ於テ言フトキニ當ッテ「決シテ然ラス」ト此議場ノ人ガ述べレバ「大ニ喜ブ所デアアル」ト言フタノデアル、既ニ此席ニ於テ述べル所ノ一時間經タズノ中ニ於テモ前述ベタル所ト後ニ議場ニ於テ形勢ヲ見テ喜ブト云フコト、相違スル所ノモノハ、彼ノ口彼ノ行爲ニ於テ明デアアル、既ニ斯ノ如ク明デアアル以上ハ第五ノ議會ヲ解散シタル所ノモノハ全ク過デアツタリシカ、將タ妄斷タルコトヲ白狀シタルモノデアアルカ、斯ノ如ク彼レ自ラ言ハレル所ノモノデスラモ此處デ演說セラル、時間中ニ於テ既ニ前ノ論斷ト後ノ喜ブト云フガ如キコトヲ言フテ居ルノデアル、之ヲ若シ伊藤總理大臣ノ口調ヲ以テ申シマスレバ、伊藤總理大臣ガ第五議會ヲ解散セラレタル所ノモノハ其出處成立ニ溯ッテ見ルト云フト憲法ヲ無視シタルト云フコトデアアツテ、憲法ノ解釋ヲ誤ラタモノト云フハ大變上品デアアルケレドモ、解釋ヲ誤ラタニアラズシテ此議會ヲ蔑視シタル所ノ行爲ヨリ出テタルモノデアアル(拍手起リ又「のー」ト呼フ者アリ)諸君「おい」ト呼フ者アリ(笑聲起ル)此解散ヲセラレタル所ノ行爲ト云フモノニ就イテ伊藤ノ口調ノ如ク其成立原因ニ溯ッテ見マシタナラバ、所謂憲法ノ侮蔑ハ勿論、議會ヲ輕視シタルモノデアアルト云フコトハ昨日來述べラレテ居ル所ノ屢、演說ノゴザイマシタル所ノ二條基弘公ニ送ラレタ回答書ニ依ッテ明カデハゴザイマセウカ、其回答書ハ諸君ノ御承知ノ如ク「議院ノ議ノ如キハ實ニ不肖ガ取ッテ己ノ及バザル所ヲ補フノ餘師トナサンコトヲ樂ム所——餘師トナサンコトヲ樂ム所思フニ立憲ノ義又茲ニ存スルヲ疑ハズ」ト云フデアアル、恐ラクハ憲法ノ——此憲法ヲ抑ヘタ所ノ伯ト呼バレ憲法伯ト稱ヘラレテ居ル所ノ人ガ此帝國議會ニ於テ議シタル所ノモノヲ以テ己ノ足ラザル所ヲ補ヒ、己ノ餘師ト爲スト云フガ如キハ實ニ憲法ヲ無視シタル所ノモノデアアル、殊ニ餘師トシテ以テ樂ム所——樂ム所トハ何デゴザイマセウ、此帝國議會ヲシテカラニ己ノ足ラザル所ヲ補フノ餘師トシテ樂ム所ナリト云フガ如キニ至ッテハ殆ド憲法ヲ無視シタル所ノモノデアアル、議會ヲ侮蔑シタル所ノモノデアアル、諸君、斯ノ如キ内閣、斯ノ如キ總理大臣ノ行動ガアルノニ管ニ(「簡單」ト呼フ者アリ)議會ヲ解散スル際ニ於テ十分ニ理由ヲ述べサセナカツタト云フコトガ一箇條ト、モウ一ツハ其理由ヲ十分ニ述べナカツタト云フコトダケヲ以テシタノガ不當デアアルト云フ丈ヲ以テ吾々ハ満足スルコトハ出來ヌノデアアル、(「簡單々々」ト呼フ者アリ)故ニ斯ル内閣

シ所謂憲法ヲ蹂躪シタル所ノ所爲ヲ爲シタルモノデアルト認ムルノデアル、又總理大臣ガ一日此席ニ於テ演說セラレタ其中ニ「厲行法案ノ出所成立ト云フモノニ溯ッテ見ルト云フト即チ非内地雜居尙早論ヨリ起ツタノデアリマス」斯ノ如ク言ハレテ居ル、厲行法案ハ非内地雜居ノ論者ヨリ起ツタモノデアルト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、何等ヲ以テ之ヲ推測シ、何等ヲ以テ斯ノ如キ論斷ヲセラレタモノデアアルカ、恐クハ妄斷妄想ヲ以テカラニ——此議會ヲ己ノ妄想ヲ以テカラニ論斷シタルモノト云フハナケレバナラヌ、何故ナラバ僅カ其事ヲ述べタ三秒時間ヲ經タル後ニ於テ同ジ口カラ同ジ總理大臣ノ伯翁ガ何ト云フタ、所謂雜居尙早ニアラズ、厲行案ハ厲行案ナリト滿場ノ諸君ノ中デ述べラレタ際ニ於テ「ツレハ政府ノ大ニ喜ブ所デアリマス」ト述べラレタデハゴザイマセウカ、政府ガ既ニ喜ブコトデアアル、議會ノ意思ヲ聽イテ喜ブ位ノコトデアアツテ、昨年ノ第五ノ議會ニ於テハ妄斷ヲ以テ此厲行案ハ非内地雜居說ヨリ出テタルモノデアアルト云フノ意思ヲ以テ論斷シテ議會ヲ解散シナガラ本年此席ニ於テ言フトキニ當ッテ「決シテ然ラス」ト此議場ノ人ガ述べレバ「大ニ喜ブ所デアアル」ト言フタノデアル、既ニ此席ニ於テ述べル所ノ一時間經タズノ中ニ於テモ前述ベタル所ト後ニ議場ニ於テ形勢ヲ見テ喜ブト云フコト、相違スル所ノモノハ、彼ノ口彼ノ行爲ニ於テ明デアアル、既ニ斯ノ如ク明デアアル以上ハ第五ノ議會ヲ解散シタル所ノモノハ全ク過デアツタリシカ、將タ妄斷タルコトヲ白狀シタルモノデアアルカ、斯ノ如ク彼レ自ラ言ハレル所ノモノデスラモ此處デ演說セラル、時間中ニ於テ既ニ前ノ論斷ト後ノ喜ブト云フガ如キコトヲ言フテ居ルノデアル、之ヲ若シ伊藤總理大臣ノ口調ヲ以テ申シマスレバ、伊藤總理大臣ガ第五議會ヲ解散セラレタル所ノモノハ其出處成立ニ溯ッテ見ルト云フト憲法ヲ無視シタルト云フコトデアアツテ、憲法ノ解釋ヲ誤ラタモノト云フハ大變上品デアアルケレドモ、解釋ヲ誤ラタニアラズシテ此議會ヲ蔑視シタル所ノ行爲ヨリ出テタルモノデアアル(拍手起リ又「のー」ト呼フ者アリ)諸君「おい」ト呼フ者アリ(笑聲起ル)此解散ヲセラレタル所ノ行爲ト云フモノニ就イテ伊藤ノ口調ノ如ク其成立原因ニ溯ッテ見マシタナラバ、所謂憲法ノ侮蔑ハ勿論、議會ヲ輕視シタルモノデアアルト云フコトハ昨日來述べラレテ居ル所ノ屢、演說ノゴザイマシタル所ノ二條基弘公ニ送ラレタ回答書ニ依ッテ明カデハゴザイマセウカ、其回答書ハ諸君ノ御承知ノ如ク「議院ノ議ノ如キハ實ニ不肖ガ取ッテ己ノ及バザル所ヲ補フノ餘師トナサンコトヲ樂ム所——餘師トナサンコトヲ樂ム所思フニ立憲ノ義又茲ニ存スルヲ疑ハズ」ト云フデアアル、恐ラクハ憲法ノ——此憲法ヲ抑ヘタ所ノ伯ト呼バレ憲法伯ト稱ヘラレテ居ル所ノ人ガ此帝國議會ニ於テ議シタル所ノモノヲ以テ己ノ足ラザル所ヲ補ヒ、己ノ餘師ト爲スト云フガ如キハ實ニ憲法ヲ無視シタル所ノモノデアアル、殊ニ餘師トシテ以テ樂ム所——樂ム所トハ何デゴザイマセウ、此帝國議會ヲシテカラニ己ノ足ラザル所ヲ補フノ餘師トシテ樂ム所ナリト云フガ如キニ至ッテハ殆ド憲法ヲ無視シタル所ノモノデアアル、議會ヲ侮蔑シタル所ノモノデアアル、諸君、斯ノ如キ内閣、斯ノ如キ總理大臣ノ行動ガアルノニ管ニ(「簡單」ト呼フ者アリ)議會ヲ解散スル際ニ於テ十分ニ理由ヲ述べサセナカツタト云フコトガ一箇條ト、モウ一ツハ其理由ヲ十分ニ述べナカツタト云フコトダケヲ以テシタノガ不當デアアルト云フ丈ヲ以テ吾々ハ満足スルコトハ出來ヌノデアアル、(「簡單々々」ト呼フ者アリ)故ニ斯ル内閣

シ所謂憲法ヲ蹂躪シタル所ノ所爲ヲ爲シタルモノデアルト認ムルノデアル、又總理大臣ガ一日此席ニ於テ演說セラレタ其中ニ「厲行法案ノ出所成立ト云フモノニ溯ッテ見ルト云フト即チ非内地雜居尙早論ヨリ起ツタノデアリマス」斯ノ如ク言ハレテ居ル、厲行法案ハ非内地雜居ノ論者ヨリ起ツタモノデアルト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、何等ヲ以テ之ヲ推測シ、何等ヲ以テ斯ノ如キ論斷ヲセラレタモノデアアルカ、恐クハ妄斷妄想ヲ以テカラニ——此議會ヲ己ノ妄想ヲ以テカラニ論斷シタルモノト云フハナケレバナラヌ、何故ナラバ僅カ其事ヲ述べタ三秒時間ヲ經タル後ニ於テ同ジ口カラ同ジ總理大臣ノ伯翁ガ何ト云フタ、所謂雜居尙早ニアラズ、厲行案ハ厲行案ナリト滿場ノ諸君ノ中デ述べラレタ際ニ於テ「ツレハ政府ノ大ニ喜ブ所デアリマス」ト述べラレタデハゴザイマセウカ、政府ガ既ニ喜ブコトデアアル、議會ノ意思ヲ聽イテ喜ブ位ノコトデアアツテ、昨年ノ第五ノ議會ニ於テハ妄斷ヲ以テ此厲行案ハ非内地雜居說ヨリ出テタルモノデアアルト云フノ意思ヲ以テ論斷シテ議會ヲ解散シナガラ本年此席ニ於テ言フトキニ當ッテ「決シテ然ラス」ト此議場ノ人ガ述べレバ「大ニ喜ブ所デアアル」ト言フタノデアル、既ニ此席ニ於テ述べル所ノ一時間經タズノ中ニ於テモ前述ベタル所ト後ニ議場ニ於テ形勢ヲ見テ喜ブト云フコト、相違スル所ノモノハ、彼ノ口彼ノ行爲ニ於テ明デアアル、既ニ斯ノ如ク明デアアル以上ハ第五ノ議會ヲ解散シタル所ノモノハ全ク過デアツタリシカ、將タ妄斷タルコトヲ白狀シタルモノデアアルカ、斯ノ如ク彼レ自ラ言ハレル所ノモノデスラモ此處デ演說セラル、時間中ニ於テ既ニ前ノ論斷ト後ノ喜ブト云フガ如キコトヲ言フテ居ルノデアル、之ヲ若シ伊藤總理大臣ノ口調ヲ以テ申シマスレバ、伊藤總理大臣ガ第五議會ヲ解散セラレタル所ノモノハ其出處成立ニ溯ッテ見ルト云フト憲法ヲ無視シタルト云フコトデアアツテ、憲法ノ解釋ヲ誤ラタモノト云フハ大變上品デアアルケレドモ、解釋ヲ誤ラタニアラズシテ此議會ヲ蔑視シタル所ノ行爲ヨリ出テタルモノデアアル(拍手起リ又「のー」ト呼フ者アリ)諸君「おい」ト呼フ者アリ(笑聲起ル)此解散ヲセラレタル所ノ行爲ト云フモノニ就イテ伊藤ノ口調ノ如ク其成立原因ニ溯ッテ見マシタナラバ、所謂憲法ノ侮蔑ハ勿論、議會ヲ輕視シタルモノデアアルト云フコトハ昨日來述べラレテ居ル所ノ屢、演說ノゴザイマシタル所ノ二條基弘公ニ送ラレタ回答書ニ依ッテ明カデハゴザイマセウカ、其回答書ハ諸君ノ御承知ノ如ク「議院ノ議ノ如キハ實ニ不肖ガ取ッテ己ノ及バザル所ヲ補フノ餘師トナサンコトヲ樂ム所——餘師トナサンコトヲ樂ム所思フニ立憲ノ義又茲ニ存スルヲ疑ハズ」ト云フデアアル、恐ラクハ憲法ノ——此憲法ヲ抑ヘタ所ノ伯ト呼バレ憲法伯ト稱ヘラレテ居ル所ノ人ガ此帝國議會ニ於テ議シタル所ノモノヲ以テ己ノ足ラザル所ヲ補ヒ、己ノ餘師ト爲スト云フガ如キハ實ニ憲法ヲ無視シタル所ノモノデアアル、殊ニ餘師トシテ以テ樂ム所——樂ム所トハ何デゴザイマセウ、此帝國議會ヲシテカラニ己ノ足ラザル所ヲ補フノ餘師トシテ樂ム所ナリト云フガ如キニ至ッテハ殆ド憲法ヲ無視シタル所ノモノデアアル、議會ヲ侮蔑シタル所ノモノデアアル、諸君、斯ノ如キ内閣、斯ノ如キ總理大臣ノ行動ガアルノニ管ニ(「簡單」ト呼フ者アリ)議會ヲ解散スル際ニ於テ十分ニ理由ヲ述べサセナカツタト云フコトガ一箇條ト、モウ一ツハ其理由ヲ十分ニ述べナカツタト云フコトダケヲ以テシタノガ不當デアアルト云フ丈ヲ以テ吾々ハ満足スルコトハ出來ヌノデアアル、(「簡單々々」ト呼フ者アリ)故ニ斯ル内閣

シ所謂憲法ヲ蹂躪シタル所ノ所爲ヲ爲シタルモノデアルト認ムルノデアル、又總理大臣ガ一日此席ニ於テ演說セラレタ其中ニ「厲行法案ノ出所成立ト云フモノニ溯ッテ見ルト云フト即チ非内地雜居尙早論ヨリ起ツタノデアリマス」斯ノ如ク言ハレテ居ル、厲行法案ハ非内地雜居ノ論者ヨリ起ツタモノデアルト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、何等ヲ以テ之ヲ推測シ、何等ヲ以テ斯ノ如キ論斷ヲセラレタモノデアアルカ、恐クハ妄斷妄想ヲ以テカラニ——此議會ヲ己ノ妄想ヲ以テカラニ論斷シタルモノト云フハナケレバナラヌ、何故ナラバ僅カ其事ヲ述べタ三秒時間ヲ經タル後ニ於テ同ジ口カラ同ジ總理大臣ノ伯翁ガ何ト云フタ、所謂雜居尙早ニアラズ、厲行案ハ厲行案ナリト滿場ノ諸君ノ中デ述べラレタ際ニ於テ「ツレハ政府ノ大ニ喜ブ所デアリマス」ト述べラレタデハゴザイマセウカ、政府ガ既ニ喜ブコトデアアル、議會ノ意思ヲ聽イテ喜ブ位ノコトデアアツテ、昨年ノ第五ノ議會ニ於テハ妄斷ヲ以テ此厲行案ハ非内地雜居說ヨリ出テタルモノデアアルト云フノ意思ヲ以テ論斷シテ議會ヲ解散シナガラ本年此席ニ於テ言フトキニ當ッテ「決シテ然ラス」ト此議場ノ人ガ述べレバ「大ニ喜ブ所デアアル」ト言フタノデアル、既ニ此席ニ於テ述べル所ノ一時間經タズノ中ニ於テモ前述ベタル所ト後ニ議場ニ於テ形勢ヲ見テ喜ブト云フコト、相違スル所ノモノハ、彼ノ口彼ノ行爲ニ於テ明デアアル、既ニ斯ノ如ク明デアアル以上ハ第五ノ議會ヲ解散シタル所ノモノハ全ク過デアツタリシカ、將タ妄斷タルコトヲ白狀シタルモノデアアルカ、斯ノ如ク彼レ自ラ言ハレル所ノモノデスラモ此處デ演說セラル、時間中ニ於テ既ニ前ノ論斷ト後ノ喜ブト云フガ如キコトヲ言フテ居ルノデアル、之ヲ若シ伊藤總理大臣ノ口調ヲ以テ申シマスレバ、伊藤總理大臣ガ第五議會ヲ解散セラレタル所ノモノハ其出處成立ニ溯ッテ見ルト云フト憲法ヲ無視シタルト云フコトデアアツテ、憲法ノ解釋ヲ誤ラタモノト云フハ大變上品デアアルケレドモ、解釋ヲ誤ラタニアラズシテ此議會ヲ蔑視シタル所ノ行爲ヨリ出テタルモノデアアル(拍手起リ又「のー」ト呼フ者アリ)諸君「おい」ト呼フ者アリ(笑聲起ル)此解散ヲセラレタル所ノ行爲ト云フモノニ就イテ伊藤ノ口調ノ如ク其成立原因ニ溯ッテ見マシタナラバ、所謂憲法ノ侮蔑ハ勿論、議會ヲ輕視シタルモノデアアルト云フコトハ昨日來述べラレテ居ル所ノ屢、演說ノゴザイマシタル所ノ二條基弘公ニ送ラレタ回答書ニ依ッテ明カデハゴザイマセウカ、其回答書ハ諸君ノ御承知ノ如ク「議院ノ議ノ如キハ實ニ不肖ガ取ッテ己ノ及バザル所ヲ補フノ餘師トナサンコトヲ樂ム所——餘師トナサンコトヲ樂ム所思フニ立憲ノ義又茲ニ存スルヲ疑ハズ」ト云フデアアル、恐ラクハ憲法ノ——此憲法ヲ抑ヘタ所ノ伯ト呼バレ憲法伯ト稱ヘラレテ居ル所ノ人ガ此帝國議會ニ於テ議シタル所ノモノヲ以テ己ノ足ラザル所ヲ補ヒ、己ノ餘師ト爲スト云フガ如キハ實ニ憲法ヲ無視シタル所ノモノデアアル、殊ニ餘師トシテ以テ樂ム所——樂ム所トハ何デゴザイマセウ、此帝國議會ヲシテカラニ己ノ足ラザル所ヲ補フノ餘師トシテ樂ム所ナリト云フガ如キニ至ッテハ殆ド憲法ヲ無視シタル所ノモノデアアル、議會ヲ侮蔑シタル所ノモノデアアル、諸君、斯ノ如キ内閣、斯ノ如キ總理大臣ノ行動ガアルノニ管ニ(「簡單」ト呼フ者アリ)議會ヲ解散スル際ニ於テ十分ニ理由ヲ述べサセナカツタト云フコトガ一箇條ト、モウ一ツハ其理由ヲ十分ニ述べナカツタト云フコトダケヲ以テシタノガ不當デアアルト云フ丈ヲ以テ吾々ハ満足スルコトハ出來ヌノデアアル、(「簡單々々」ト呼フ者アリ)故ニ斯ル内閣

ハ國務上ノ事ヲ妨グ、且ツ外ハ國家ノ方針ヲ誤テ其國家ノ大事ヲ誤ラント  
 スル所ノモノデアアルニ對シテ、唯手續ノ不當ヲ議決ス杯ト云フヤウナコト  
 ハ決シテ吾々ハ之ニ贊成スルコトノ出來ヌモノデアアル、諸君ヨ、憲法ヲ無視  
 シ漫ニ議會ヲ解散シ、須急ノ國務ハ之ヲ疊ンデ置キ、外交ハ誤テ置キ、其  
 罪ヲ刺ヘ議會ニ責付ケントスル所ノ内閣ヲシテ唯手續ガ不當ト云フ言葉ヲ以  
 テ今日犯セシ所ノ己ノ内ニ疚シキモノヲ蔽ハントスルガ如キ決シテ天下ノ人  
 之ヲ認メテ許ス氣遣ハゴザリマセヌ(拍手起リ又)の「ト呼フ者アリ」然  
 ラバ諸君、宜シク今ノ内閣ノ罪ハ先刻來犬養君モ述ベラレマシタ如ク數フル  
 ニ暇アラザル所ノモノデアレバ、其行爲ノ不信任ナルコトヲ立派ニ明白ニ極  
 メテアル所ノ茲ニ決議ヲ爲スト云フコトハ本議院ノ面目ノタメニ飽クマデ望  
 ム所デゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 志波三九郎君

(志波三九郎君演壇ニ登ル)

○志波三九郎君(百五十三番) 諸君、本員ハ則チ此決議案原案ヲ贊成スルノ  
 一人デゴザリマス、因テ原案ヲ贊成スル所ノ理由ヲ聊カ述ベル考デゴザリマ  
 ス(モウ理由ハ言ハヌデモ宜シイ)ト呼フ者アリ、河島醇君「新吏黨タルガ故  
 ニ」ト呼フ、河島君、靜ニナサイ「マー狼狽テナイデ宜シイ」眞直ニ向ヒテ  
 ト呼フ者アリ、天下ノ大事ヲ議スル諸君ガ斯ル輕々タル言葉ヲ爲スハ何事ダ  
 (笑聲起ル)本員ガ此案ヲ贊成スル所ノモノハ外デナイ、則チ今日ノ國務大  
 臣ガ此第五期議會ヲ解散スル所ノ不當ナル所ヲ責ムルノ意デアアル、此意ヲ贊  
 成スル者デアアル(「ん」とう)ト呼フ者アリ、何トナレバ彼國務大臣ノ爲ス  
 所ハ則チ妄動デアアルト思フ、故ニ吾々ハ其妄動タルコトヲ示シテ彼ノ十分ニ  
 顧ミテ斯ル行爲ヲ將來ニ爲サシメザルコトヲ期スルモノデアアル(熱心ニオ  
 ヤシナサイ)「モウ一步進メテ頌德表ヲ上レ」ト呼フ聲アリ、故ニ余ハ政府委員  
 ニ向テ陳ル所ヲ十分意ヲ止メテ聽カレタイト思フ(眞直ニ向ヒテヤ  
 レ)ソレハ官舎ニ往ッテ言ハニアイカヌト呼フ者アリ、眞ニ此議會ヲ解散ス  
 ル所ノ理由ト云フモノハ政府則チ内閣員タルノ人ハ定メテ承知デゴザリマセ  
 ウ、尤モ總理大臣タル伊藤博文ハ(勿體ナイ、様ト言ヘ)ト呼フ者アリ、尤  
 モ自分ガ此憲法ニ對シテ此義解ヲ下シテ此義解ニ於テハ則チ衆議院ヲ解散ス  
 ルハ更ニ新選ノ議員ニ向ッテ輿論ノ屬スル所ヲ問フ所以ナリト云フコトヲ解  
 シテ居リマス(「旨イゾ旨イゾ」ト呼フ者アリ)伯爵伊藤博文ノ意見ハ此ノ如シ  
 (様ト言ヘ)ト云フ者アリ、然レドモ内閣ノ總理大臣伊藤伯爵ハ内閣ノ決議  
 ニ依ルモノデアアルカラ、此義解ヲ實行スルコトガ出來ヌト云フナラバ仕方ガ  
 ナイ、併ナガラ内閣員タル諸公ハ斯ルコトヲ知ラザル人ハ一人モ無イデアリ  
 ラウ、果シテ然ラバ此新選ノ議院ニ向ッテ自ラノ意思ノアル所ノ議院ノ意思ノ  
 アル所ヲ示シテ始メテ此(分ラナイ)ト呼フ者アリ、國民ニ向ッテ訴ヘル所ノ  
 精神ト云フモノガ分ルデゴザリマセウ、然ルニ國務大臣ハ此手續ヲ爲シテナ  
 イ(三崎君ニ聞キ給ヘ)ト呼フ者アリ、聞カズトモ知ッテ居ル——拙者知ッテ  
 居ル——百五十三番ガ承知シテ居ル、然ルニ(ソレハ御門達)ト呼フ者アリ、  
 此不法ダト云フ點ニ向ッテハ一ツアリマス、第一ニハ(澤山アル)「十モ二十モ  
 アル」ト呼フ者アリ、是ガ解散ノ理由ヲ示サザル所デアアル、第二ニハ(贊成ガ減リ  
 マスゼ)ト呼フ者アリ、贊成ハ減ッテモ構ハナイ(笑聲起ル)吾々ハ國家ノタメ

ニ盡ス者デアアル、堂々タル國會議員デアアル(笑聲起ル)「御立派ナコトデガス  
 ナ」ト呼フ者アリ、例ヘバ其理由ヲ捨テ——代議ト云フモノガ、即チ國會ノ意  
 思ヲ發表セザルニ當ッテ之ヲ解散スルト云フコトデアアル——、聽キ給ヘ——政  
 府委員聽キ給ヘ——議院ノ意思ハ既ニ發表シテ居ナイデ(新吏黨ノ意思ヲ發  
 表セザルニ當ッテ)ト呼フ者アリ、即チ政府ノ意思ヲ發表セザルニ當ッテデハ  
 ナイ、國會ガ則チ衆議院ガ意思ヲ發表セザルニ當ッテ之ヲ解散スルノ不當デ  
 アルト云フコトデアアル(「モウ宜シイ」ト呼フ者アリ)「大分御仲間ガ汗カ、  
 レテ居ル」ト呼フ者アリ、此事ハ輕キコトノ如クナルモノナカノ、大ナルコトデ  
 アル、國會議院ニ於テ則チ衆議院ニ於テ議決セザルニ當ッテ唯問題トナツタ  
 カラト云ッテ解散ヲシタナラバ何時デモ政府ハ之ヲ解散スルコトガ出來  
 ル、左様ナ亂暴ナ(五六度解散サレ、バ宜イシヤナイカ)ト呼フ者アリ、左  
 様ナ事ハ決シテナラヌ、將來ノ弊害デアアル(「度々受ケレバ宜イ」ト呼フ者ア  
 リ)解散ノ擅行ダ、是ハ最モ緊要ナルコトデアアル(議場騒然タリ)聽キタクナ  
 イ者ハ聽カヌデ宜シイ(ドウカ外ヘ往ッテ願フ)ト呼フ者アリ、何ト云フテモ  
 言ヒタイ丈ハ言フ、夜ニ入ッテモ言フ、斯ル事柄ヲシテ政府ガ爲スト云フコ  
 トハ誠ニ以テ憲法ノ精神ヲ見誤ッタルモノ、憲法ノ精神ヲ蹂躪シタルモノデ  
 アル(「ナール程」ト呼フ者アリ)憲法ノ明文ニ直接ニ反スルト云フコトハ出來  
 ヌガ、憲法ノ精神ニ背反シテ、憲法ノ精神ヲ蹂躪シタルモノデアアル、ソコデ斯  
 ルコトハ爲スベキモノデナイト云フコトヲ茲ニ議決シテ示スノデアアル、吾々  
 則チ此議院ニ於テ自ラ不當ナルコトヲ判決スルノデアアル、判決ヲ下スノデ  
 アリマス(ドウ云フノ、カ分ラナイ)ト呼フ者アリ、分ラヌデモ政府ガ分レバ  
 宜シイガ(本音ガ出マシタ)ト呼フ者アリ、笑聲起ル)斯ルコトヲシテ何ヲ以テ  
 國家人心ノ……ト云フコトガ出來マスカ、是ガ吾々ガ最モ此議決ヲ要スル所  
 デゴザリマス(忠義ダテガ能ク分ッテ居リマス)ト呼フ者アリ、更ニ進ンテ修  
 正案ニ向ッテ駁撃ヲ加ヘマスガ——靜聽サレタイ——修正案ハ即チ曩キニ何  
 番カモ言フ通り修正案ト云フモノデハナイ、實ハナイ、是ハ既ニ修正案ノ意思  
 ト云フモノハ昨日上奏案ニ於テ現レテ居ッテ、其意思ト云フモノハ既ニ彼上  
 奏案ニ於テ十分ニ現レテ居ル、而シテ本會ノ斥クル所トナッテ居ル——本會ノ  
 否決スル所トナッテ居ル、然ルニ其意思ヲ茲ニ持出シテ之ヲ爲スト云フコト  
 ハ三百代言ノ處置デアアル——處爲デアアル、其行爲ハ三百代言ノ行爲デアアル、  
 斯ル事ヲシテ此貴重ノ時間ヲ費スハドウデス(貴重ノ時間ガ費ヘマスカラ簡  
 單ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ、正々堂々ト——左様ナ心ガアツタナラバ始メヨ  
 リ斯ル決議案ヲ出スガ宜シイ、併ナガラ余輩ハ此決議案ニ向ッテ之ヲ出スコ  
 トハナラヌト云フコトハ言ハナイ、出スガ宜シイ、十分意見ヲ闡スガ宜シイ、  
 併ナガラ是ハ先ハ既ニ昨日倒レテ居ル、是モ今日モ倒レルニ違ヒナイ、故  
 ニ駁撃スルノ價值ハ無イデアアル、故ニ吾々ハ即チ此修正案ト云フモノハ最モ  
 もぐり説カラ出タ所ノ修正案デアアルト思フテ居ル(政府ニ不利ナルガ故  
 ニ)もぐり演説ナリト呼フ者アリ、政府ニ不利ナリトアツテモ宜シイ、政府  
 ニ不利ナルガ故ニ言フテモ宜シイ、此志波三九郎ガ最モ不可トスル所デア  
 ル、政府ガ可トシヤウガ不可トシヤウガ宜シイ(「えらい者ダ」ト呼フ者アリ)  
 因テ吾々ガ今日之ニ贊成シテ以テ政府ノ十分茲ニ於テ意ヲ注ガレテ將來斯ル  
 矇昧ナルコトヲナサレヌコトヲ茲ニ決議シテ望ンデ置クノデアアル(「上奏案ニ



タル所ノ舉動ニ於テハ苟モ籍ヲ我國ニ置ク所ノ人ハ憤慨嘆息シテ是非共其事  
實ヲ世ノ中ニ發表シテ再ヒ斯様ナル事ヲ爲サシメザルノミナラス、尙ホ進  
デ大臣ノ責ヲ問ハナケレバナラヌト私ハ考ヘルノデアアル、其理由ニ向ッテ反  
駁ノ與ヘタノハ誰ガ與ヘタカ、内閣ハ一モ此理由書ニ向ッテ反駁ヲ爲シ得ヌ  
ノミナラス、尙ホ本案ノ主持者ニ向ッテ其是非ヲ言ハズ行ヲ爲サズ、間接ニ  
無責任ノ言論ヲ放ッテ無智ノ庸人ヲ瞞著セント企テタル舉動ハ確ニ諸君ノ前  
ニ事實ヲ舉ゲテ明言ヲシヤウト思ヒマス、其解散ヲ行ヒマシタ前後ニ政府ノ  
機關ト聞エタル新聞ハ此理由書ニ向ッテ種々ナル反駁ヲ與ヘテ之ヲ地方官ノ  
手ヲ通シテ尙ホ亦郡役所ノ手ヲ通シテ全國ニ與ヘタト云フコトハ政府ハ此理  
由書ニ向ッテ己ニ責ナキモノヲシテ、己ノ言ハント欲スル所ヲ言ハシメ、全  
國ニ訴ヘタルハ是ガ立憲の舉動ト云フコトガ出來マスルカ(拍手起ル)自由黨  
諸君ト雖モ此事實ハ確ニ認メラル、事實デアラウ、此新聞ハ如何ニ保護サレ  
テ居ルカ、吾々國民ガ租稅トシテ出スモノ、一部ガ豫算ニ上ッテ、機密費ノ中  
カラ斯様ナ内閣ガ非立憲の舉動ヲ爲ス所ノ材料ヲ出シテ居ルダラウト私ハ  
考ヘテ居ルノデアアル(拍手起ル)併ナガラ内閣ノ事ハ尙ホ忍ブベシ、進ンデ  
斯様ナ毒氣ヲ外國ニ擴メルニ至ッテハ最早吾々ハ忍ブコトガ出來ナイ、解散  
前後選舉前後マデニ開港場ノ英字ノ新聞ニ現レタ事蹟ハドウデアアルカ、如何  
ニモ日本ノ内地ニ於テハ日々新聞アリ、英國文字ニハ横濱ぬゝる新聞アリ、  
此新聞ガ又日々新聞ノ成立ト同シ手續ニ依ッテ定メテ日本全國ノ人ノ租稅ト  
シテ出シタ租稅ガ機密費トナッテ、其機密費ガ矢張斯様ナ部分ニ這入ッテ居  
ルト云フコトハ世ノ中ノ政治上ニ眼ヲ注グ者ノ皆認メル所デアアルノミナラ  
ズ、信ジテ疑ハザル所ノコトデアアル、此新聞ハ如何デアアル、此新聞ハ英國ノ  
文字ヲ以テ日本ノ全體ノ社會ハ最早鎖港ノ氣風ニ立戻タト言ハヌバカリ  
ノ毒筆ヲ振ッテ之ヲ海外諸國ニ頒布シタ、頒布シタモノ其物ノコトハ言ハズ  
シテ寧ロ斯様ナルコトヲ頒布セシムルモノハ何レニアルカ考ヘナケレバナ  
ラヌ、諸君見ラレヨ、解散後選舉前後ニ當ッテ歐羅巴諸國ノ新聞紙ニ現レタ  
所ノ日本ノ政治上ノ有様ハ如何デアアル、日本ニハ非内地雜居ト言ハムヨリハ  
寧ロ鎖港ノ氣風ガ盛ニナッテ、日本ノ都下ニ於テモ外國人ガ安全ニ往來スル  
コトガ出來ヌト、日本政府更ニ野蠻ノ氣風ニ引戻サレタト云フガ如キ語氣  
ヲ以テ種々ナル譏謗ノ出タノハドウデアアル(厲行案ナリ)ト呼フ者アリ)決シ  
タト云フコトヲ證據立テヤウト思フ、此事ニ就イテドウデアアルカ、一番多ク  
出タノハ英國ノ社會デアアル、而シテ大陸諸國ノ新聞ハ英國ノ如ク甚シクナイ、  
又同シ英文ヲ以テ行ハレテ居ル所ノ亞米利加ノ新聞モ英國程斯様ナコトノ出  
テ居ラヌノハドウデアアル、是ニハ深キ意味ガ無ケレバナラヌ、大陸ノ新聞ニ  
特ニ横濱ニ斯様ナ毒分ヲ吐ク機關ガナイノデアアル、普通通信ニ依ッテ出ルノデ  
アル、故ニ歐羅巴諸國ガ日本ノ衆議院ハ厲行案ヲ議シタカラ鎖港ノ氣習ニ滿  
タサレタト云フ鑑定ガアルナレバ何故ニ亞米利加ニモ英國ニモ大陸諸國ニモ  
同シ觀察ガ新聞紙ニ現ルベキニ、特ニ英國ニ於テ現レタト云フハ諸君ノ著目  
スベキコトデアアル、是ハ何デアアルカ、めゝる新聞ハ即チ政府ノ機關デアアル、  
尙ホ又金ノ力ヲ以テ外國ノ諸新聞紙ニ日本ノ品位ヲ低ウシ、鎖港攘夷ト稱シ  
テ政略ヲ妨グントスルト言ハシムルモノガアッテ、一番此機關ヲ能ク通ジ

テ居ルノデアアリマセウ、若シ吾々ニ言ハシタナレバ一番日本ノ真相ヲ察スベ  
キ地位ニアル英國ノ社會ガ斯クマデ大ニ誤ルト云フノハ之ヲ誤ラシムルモノ  
内ニ在ッテ即チ外ニ現レタルコトハ諸君ガ必ズ推察セラル、ダラウト思ヒ  
マス(誤ラシメタ者ハ六派ノ行爲ナリ)ト呼フ者アリ)又繰返シテ申シマス、  
何故ニ厲行案ガ誤ラシメタノデアアル、凡ソ條約ヲ決シタ上ニ於テ(否ナキト)  
ト呼フ者アリ)見ラレヨ、吾々ハ決シテ外國人ノ内地ニ雜居スルコトヲ  
忌ム者デハナイ、サリナガラ我取ルベキモノヲ取ラズシテ彼ニ與フル丈ヲ與  
フルト云フコトハ國ノタメニ謀ッテ決シテ爲スベキ政策デアナイト思ヒマス、  
現在ドウデアアル、葡萄牙ノ領事裁判所ヲ事實上撤去シテ何ノ報酬ヲ與ヘタ  
カ、何モ與ヘナイデアハナイカ、明治六年ニ伊太利ガ日本ニ内地ノ商賣ヲ許シ  
テ吳レタナレバ、治外法權ヲ棄テヤウト要求シタノハ内地ニ這入ッテ自由ニ  
商賣スルコトヲ得タイ、雜居ノ自由ヲ得タイト望ンダノデアアル、望ンデ居ル  
所ノ機會ニ應ジテ我又取ルベキ所ヲ取ッテ我國權ヲ全クスルコトヲ外交上ノ取  
ルヘキ方針デアアル、故ナク與フルトカ、知ラザル間ニ雜居ノ姿ヲ爲ストカ、  
唯彼ノ意ヲ迎フルタメニ條約ヲナキガ如クニシテ自然ノ内地雜居ヲ爲スト云  
フ此點ニ至ッテハ吾々ハ斯ノ如キ雜居ニハ反對ヲシナケレバナラヌ(拍手起  
ル)嘗テ内地雜居ヲ外人ニ許シテ取ルベキモノヲ取ラズ、言ハズ語ラズノ間  
ニ唯與ヘルト云フコトニ反對スルニ至ッテハ吾々ハ厲行ノ精神ヲ振ッテ反對  
シナケレバナラヌ、自由黨諸君ハ是デモ矢張知ラズ、知ラザル間ニ外國人ガ  
這入ッテ治外法權ヲ維持シ稅權ノ束縛ヲ甘ズル人デアリマスカ、恐ラクハ左  
様デアアリマスマイ、然ラザレバ我取ルベキモノヲ取ラズシテ彼ニ斯様ナ束  
縛ヲ受ケナケレバナラヌノデアアル、如何デアアル、内地ニ於テ日々新聞ヲ使  
所ノ政府ハ外ニ於テ矢張外國新聞ヲ使ツタ所ノ政府デアアルト吾々ハ推測シテ  
差支ナイ、昔シ漢土ニ於テ契丹ノ兵ヲ藉ッテ一時ノ志ヲ爲シタ其害ハドウデ  
アル、斯ノ如ク日本ノ國ノ程度ヲ低メテ其上ニ立ッ政府ガ外國ニ向ッテ力ア  
リト云フハ誤ツタ考ト言ハナケレバナリマセヌ、日本ノ進歩ノ度ヲ低メ其上  
ニ立ッ政府ガ我賢明ナリト誇ランガタメニ斯様ナ政策ヲ執ルハ最モ吾々ガ攻  
撃シナケレバナラヌ要點デアアルト思フ、若シ外國人ヲシテ言ハシメタナラバ  
寧ロ素朴自ラ信ズル了簡ノ堅イ者ハ、縱令外國人ノ利益ハ殺グトモ尊敬ヲ加  
ヘルト思ヒマス、見ラレヨ、維新前幕府ハ如何ナル考ヲ以テ居ッタカ、丁度  
現政府ノ持ッテ居ルガ如ク外國人ニ向ッテ總テ丁寧ニ扱ヒ、彼ノ要求ニ應ジテ  
之ヲ遂ゲントシタガ、何ゾ圖ラン外國人ノ烟眼ナル維新ノ改革ニ當ッテ幕府ニ  
與セズシテ、新ニ起ッタル政府ノ主權ヲ認メタルト云フハ國ノタメニ眞直グ  
ナル取ルベキ方針ヲ執ッテ居ルモノハ、縱令彼ト交際ガ熟セズトモ不利益ナ  
リトモ其者コトヲ相手ニナル力ガアルト信用スレバ、斯様ナル場合ニ於テハ優  
柔不斷ナル政策トハ全ク途ヲ異ニスルハ遠イ昔ノ話デアハナイ、僅ニ二十七  
年前日本歴史ニ徵シテ判然ナル譯デアアリマセヌカ、何故總理大臣ハ何ト  
言ッタカ(大隈ノ歴史ヲ語レ)ト呼フ者アリ)簡單々々ト呼フ者アリ)益、ナ  
カ(簡單ニハ出來ナイノデアアル、ナカ(簡單ニハ出來ナイノデアアル、尙  
見ラレヨ、政府ハ外交ニ就イテ一定ノ方針ヲ執ッテ居ルト云フコトハ、丁度  
歐羅巴諸國ハ捨テ置イテ近イ所ノ前ノ演說者モ申シマシタ通、文明ノ  
程度モ低ケレバ國ノ輕侮ヲ受ケテ居ル支那ナリ朝鮮ナリハ如何デアアルカ、維

新ノ初ハ我ヨリ進シテ我國境ヲ定メントシテ沖繩ヲ我國トシ、我ヨリ進シテ朝鮮ト交ヲ修メントスルニ、彼レ肯カズンバ我之ヲ屈セントスル方略ヲ取リ、臺灣ニ至リテハ我進シテ我ガ爲ス所ヲ爲サントシタ、其時ノ方針ガ一轉シテ遠慮ヲスル政略トナリ、遠慮ヲスル政略ガ又一轉シテ遂ニ自ラ引退ク政略ト成ツタ、此時ニ當リテ支那ニ對スル感情ハ遠慮ヲシテ引退ケバ彼ニドシナ善キ感情ヲ持ツヤ否ヤ、例ヘバ金玉均事件ハ如何デアアル、故ラ支那政府ガ軍艦ヲ發シテ彼ノ洪鐘宇ヲ一入ヲ殺シテ忌マザル所ノ彼ノ奸賊ナル洪鐘宇ヲ故ラニ軍艦ヲ派遣シテ送り、尙ホ且ツ久シク日本ノ保護ニアッタ所ノ此憐ムヘキ政治上ノ亡命者ノ屍ヲ故ラニ軍艦ヲ發シテ支那ヨリ朝鮮ニ送ルト云フニ至ッテハ、支那政府ハ最早日本政府ニハ遠慮スルニ及バナイト斯様ナ考ヲ定メタカラ恩ヲ朝鮮ニ賣ツテ以テ支那ニ志ヲ成スト云フ方略ヲ爲シタノデアアル、此考一度支那ニ定ツタナラバ日本政府幾ハ遠慮スルト云フテモ交際ヲ全ウシテ二國ノ交際ヲスルト云フコトハ出來ナイノデアアル、今ニ於テ極ク開ケタル考ヲ以テ見タナラバ如何デアアルカ知ラヌガ、明治十年頃ニ於テハ時トシテハ征韓論ガ起リ、時トシテハ臺灣征討ヲ切齒扼腕ヲシテ論ジタ、其間ニ於テ公平ノ眼ヲ以テ見タナラバ或ハ落度ガアツタカモ知レマセヌ、併ナガラ此精神ガ存スル間ハ蓋シ支那ガ軍艦ヲ發シテ故ラニ朝鮮ニ刺客ヲ送ルト云フ忌憚ルコトナキ舉動ハ爲サヌト思フノデアアル、併ナガラ物ノ分ツタル言葉ノ時代ニ自ラ志ヲ失フテ總テガ讓ルト云フ政略ヨリドモマデモ讓テ決シテ國際ヲ好クスルコトモ出來ナケレバ、交ヲ厚ウスルコトモ出來ヌト云フ極、却ツテ平和ナル交際ヲ破ルニ過ギナイ、政府ノ一部ハ斯様ノ方略ヲ以テスルモ國民ノ意思ハ斯様ナコトヲ見ル度ニ支那朝鮮ニ向ツテ一益、我國ヲ侮ル、ソレニ依ツテ我國民ハ彼ノ爲ス所不滿ナルガ故ニ、彼ノ二國ヲ忌ムト云フコトガアツタナラバ、此二國ノ人民ノ感情ハ區々タル政府ノ政略ニ依ツテ止ルコトハ出來ナイノデアアル、即チ斯ノ如キハ海外ト相對スルニ於テ方針ナキ所ノ政略ト言ハナケレバナラヌ(「簡單々々」ト呼ブ者アリ)簡單ニハ出來ヌノデアアル、尙ホ左様ニ御急ギニ成ルナラバ尙ホ長ク述べナケレバナラヌト思フ(「長クヤルト却ツテ贊成者ガナクナルゾ」ト呼ブ者アリ)長ク成ツテ贊成者ガ少ク成ツテモ斯様ナルタメニ贊成者ヲ減ズルト云フ左様ノ人ニハ決シテ贊成ハ請ハヌノデアアル、何故ニ修正案ガ必要デアアルカ、此原案ハ排斥セザルベカラザルカト云フコトヲ定メルノハ即チ吾々ノ最モ望ム所デアツテ、決シテ區々タル左様ナ御世辭ヲ以テ贊成者ヲ求ムルト云フ意味デナイ(「御世辭ヲシイコトヲ言フテモ贊成者ハナイ」ト呼ブ者アリ)如何デアアル、當政府ハ物ヲ知ラザル所ノ國人ノ眼ニ砂ヲ打込マンガタメニ奇妙ナル舉動ヲヤツテ居ル、ソレハ何デアアルカ、布哇ト日本ノタメニ結ンダ條約、改正ト謂ハシヨリハ一種ノ修正ト云フ可キモノヲ勿卒ニ勅令ヲ以テ出シタノハ何デアアルカ、其意味ヲ解スルコトガ出來ヌノデアアル、文面ヲ見ルト此布哇竝ニ日本ノ間ニ取結ンダ條約ハ如何デアアルカ、彼ガ裁判權ニ關スル規定ヲ無効ニ歸セシメタカラ我ハ是ヨリ内地雜居ヲセシメ、内地ニ商賣ノ自由ヲ與ヘルト云フ斯様ナ條約ヲ結ンダト云フ此意味ノ勅令ガ四月十一日ニ出タノハドウ云フ意味デアアルカ、ドウ云フ手續ニ依ツテ斯様ナコトガ起ツタノデアアルカ、ドウ

云フ意思デ政府ガヤツタカト云フコトハ一應此議會ガ開カナケレハナラヌコトデアアル、又評サナケレバナラヌ問題ト私ハ考ヘルノデアアル(「のーく」ト呼ブ者アリ)決シテのーデハナイノデアアル、政府ノ味方ハ先ツ默ツテ開クガ宜シイ、元來條約ヲ締結スルニハ正則ヲ履メバ無論、特ニ御依頼ヲ蒙ツタ親任ノ大臣ガ條約ヲ定メテ、ソレデ御批准ヲ請フテ確定スルノニ、此事ハドウ云フ譯デ勿卒ニ爲シタノデアアルカ、今左様ナ手續ヲ爲シテハ時日ニ間ニ合ハヌト云フヤウナコトガ布哇ト日本ノ間ニ起ツテ左様ニ匆卒ニ爲シタノデアアルカ、抑、布哇ガ何モ言ハヌデ以來ハ治外法權ヲ日本國內ニ撤去スルト云フ通知ヲ寄越シタノデアアルカ、ソレトモ我ヨリ是非共要求シナケンバナラヌト云フテ要求ヲシテ、彼ガ應ジタノデアアルカ、是等ニ就イテハ更ニ開クコトガ出來マセヌガ、宛ニ角四月十一日國會ノ將ニ開ケントスル場合ニ當リテ斯様ナモノヲ出シタノハ如何ナル譯デアアルカ、是ハ小兒ノ嚙言ト謂ハナケレバナラヌ、誠ニ結構デアアルト言フナラバ、是ハ小兒ノ嚙言ト謂ハナケレバナラヌ、現在如何デアアルカ、墨西哥條約ニ於テ治外法權ハ取ラレテ居ル、尙ホ葡萄牙ニ於テハ治外法權ハ自ラ日本ガ無クナシタノデアアル、勿論斯様ニ他ノ國ニ向ツテ我國ガ爲シ得ル事柄ヲ如何ナル譯デアアルカ、布哇ニ向ツテハ故ラニ手柄ヲシキコトヲ爲シテ日本ノ人民ニ示シタノハ、政府ハ治外法權ハ内地雜居ト交換シテ爲シ得ヘキモノデアアルト云フ標準ヲ國ニ示シタモノデアアルト思フ、事實必要ハナイノデアアル、現在ノ處布哇ノ籍ヲ持ツテ我國ニ居ル者ハ幾人アルノデアアルカ、僅カ二十人ニ過ギナイノデアアル、又布哇ニ我國ヨリ勞役者ガ彼レニ往クトスルモ彼ノ地ヨリ來テ内地雜居ヲ必要トスルコトハ萬ナカルベキコトデアアルノニ、雜居ヲ許スト同時ニ治外法權ヲ解イタト云フコトヲ斯様ニ示スノハ蓋シ政府ガ雜居ト治外法權ヲ交換シテ之ヲ以テ標準トシテ條約ヲ改正スルト云フ意味デ、先ヅ以テ國民ノ意思ヲ試メサントメニ示シタモノダト考ヘル、若シ斯様ナル意味デアアルカ、吾々ハ政府ノ爲ス所甚ダ國民ヲ信ゼズ、國民ヲ愚弄スルト斷言シナケレバナラヌ、明治二十二年ノ墨西哥ノ條約ハ如何、墨西哥國小ナリト雖モ布哇ニ比スレバ先ヅ堂々タル一國ナリト謂ハナケレバナラヌ、葡萄牙微小ナリト雖モ歐羅巴ニ在ッテ大陸ノ間ニ同等ノ權利ヲ道理上持チ、實力上實際持ッテ居ル一國デアアル、此二國ノ條約ヲ以テ墨西哥ハ確ニ治外法權ヲ解キ、尙ホ緊要ナル箇條ヲ加ヘテ後來力ヲ勞ゼズシテ條約ヲ改正ガ出來ルヤウニ仕組ンデアアル、ソレガ唯今條約ヲ改正ガ出來ヌトハ如何カ雙方協議ノ上ニ改メテ以テ改正スルト云フノデアアル、協議ガ調ハヌ以上ハ何時マデマデモ、安政ノ條約ヲ繼續シナケレバナラヌ、彼レ應ゼザレバ我レ何時マデモ引張ラレルト云フ其不利益ハ條約ヲ改正スル上ニ於テ不利益ト成ルノデアアル、墨西哥條約ハ如何デアアル、雙方ヨリ六箇月以前ニ於テ止メヤウト云ヘバ其時ニ無効ニナルガ、協議ヲ要セズシテ彼背ゼズンバ更ニ新ニ條約ヲ結ベルト云フコトニナツテ居ルノデアアル、然ルニ布哇ニ於テハ如何デアアル、布哇ハ小國ダカラドウデモ宜シイト云フ事實ノ問題デアリマヌレバ、小國ニシテ人民ノ少イ布哇ニ於テ緊急ニ特別ノ手續ヲ以テ何ガタメニ勅令ヲ發シタノデアアルカ、如何ニシテ墨西哥位ノ如キ條約ガ出來ヌノデアアルカ、此事ヲ無定見ニシテ尙且ツ物ヲ知ラザル人ノ眼ニ砂ヲ打込ム姑息ノ政略ト謂ハナケレバナラヌ、(「拍手起ル」朝鮮政略ト謂ヒ、布哇政略ト

謂ヒ、凡テノ事斯ノ如シ、斯ノ如クシテ是テ諸外國ニ向ッテ正當ニ我國ノ國威ヲ繁ギ、條約改正ヲ致スコトガ遺レルト云フコトハ私ハ信ズルコトハ出來ヌ、尙且ツ諸君ニ向ッテ厲行ノ精神ノ必要ヲ私ハ言ハネバナラヌ、厲行案ノ出タル時ニ匆卒ニ議員ヲシテ口ヲ開カシメヌノハ、則チ斯様ナル案ガ出レバ、諸外國ノ機嫌ヲ損ズルト斯様ニ政府ハ退縮ノ精神ヲ以テ厲行ノ精神ト衝突セシメタト考ヘル、是ガ即チ厲行ノ必要ナル所以デ、斯様ニ獨リ振ハザル所ノ精神ヲ以テ外國ト談判スルト云フハ尙且ツ其精神ト違フガタメニ内ニ向ッテ妄斷ニ議會ヲ解散シテ國民ノ意思ヲ紊リ、國民ニ蒙ラスニ無限ノ無實ヲ以テシテ鎖攘ノ徒ナリト罵ラシメ、内ニハ機關新聞ヲ使ヒ、又外ニ向ッテハ外國通信ニ由ッテ日本ヲ目シテ鎖攘ノ巢窟ナリト言ハシムルニ至ッテハ、殆ド外ノ勢ヲ假ッテ内ヲ壓セントスル内閣ノ政略デアルト言ハネバナラヌ(拍手起ル)斯ノ如キ内閣ニ向ッテ其解散ノ手續ガ惡イ位ノ建議案ヲ以テ満足スルニ至ッテハ殆ド意味ナキ建議案デアアル(拍手起ル)吾々ハ確ニ之ヲ排斥シテ今一層内閣外交ノ方略宜シキヲ得ヌト云フ意ヲ含シタル所ノ修正案ニ同意シナケレバナラヌ、此修正案ニ同意セラレンコトヲ私ハ諸君ニ望ムモノデアアル

○井上角五郎君(二百二十番) 本員ハ昨日カラ島田君ト契約ガゴザリマスカラ質問致シタウゴザリマスガ、ソレニ就イテ先刻モ島田君ハ後程演説スルカラ質問セナイカト斯ウ云フ御話デゴザリマスカラ、謹シテ演説ヲ拜聴致シマシタ、所ガ島田君ハ其實私共ノ質問ハ大ニ恐レラレルモノ、如クニ聴取ラレタ、今質問スルニ就イテ特ニ此事ヲ申シテ置ク、ナゼサウ聴取レタカト云フニ島田君ハ厲行案其物ハ賛成シタガ、理由書ハ成程提出者ノ意味ノ如ク之ヲ賛成シタノデハナイ、成程……

○議長(楠本正隆君) 質問ノ要領ヲ……

○井上角五郎君(二百二十番) 質問ヲスルニ就イテノ前置キヲ言フノデアアル、是ハ言ッテ宜イ、私ハ島田君ト約束シテアル、(遣ルベシ)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 質問ノ要領ヲ御述べナサイ

○井上角五郎君(二百二十番) 議長ニ此事ヲ申ス前ニ一言忠告スル、議長ハ常ニ不公平ナ事ヲ致シマスカラ(然リキ)ト呼フ者アリ(二百二十番ハ今發言權ヲ得テ居ル、此權利ヲ利用シテ議長ノ不公平ナルコトヲ演壇ニ於テ述べル)

○島田三郎君(三十一番) 井上君ニ問ヒマスガ、質問ノ必要ハナイノデスカ

(井上角五郎君進シテ演壇ノ側ニ到ル)

○議長(楠本正隆君) ソレハ後トテ御述べナサイ、後トテ御述べナサイ

(井上角五郎君然ラバ後トテ遣リマス)ト言ヒツ、復席ス

○井上角五郎君(二百二十番) 島田君、簡單ニ質問シマスカラ御待チナサイ、議長ニ對スルコトハ後程ニシマス、質問ハ斯ウ云フコトデアアル、昨日カラ私共ノ島田君ニ質問シタイト云フノハ厲行案ノ理由ニ付イテ質問シタイノデアアル、島田君ハ理由ニハ賛成シナイ、賛成シナイト云フナラバ昨日來私ガ質問シヤウト申上ゲテ、島田君モ質問ニ答ヘヤウト言ハレタガ、今モ矢張御答ニナルカト云フコトヲ先ツ承ッテ置ク

○島田三郎君(三十一番) 先ツ以テ答フベキ性質ノモノデアアルカ、答フベキ性質ノモノデナイカ、御打出シニナルガ必要ダラウ

○井上角五郎君(二百二十番) 理由書ニ就イテ片端カラ舉ゲテ質問シタイ

○島田三郎君(三十一番) 委イ事ハ此箇條ハ如何アノ箇條ハ如何ト言ヘバツレニ就イテ御答スル

○井上角五郎君(二百二十番) アナタガ理由書ニ御同意ナラバ問フシ、御同意デナケレバ問フ必要ハナイ

○島田三郎君(三十一番) 全部同意ニ非ズ、全部不同意ニ非ズト云フノデス、尙ホ井上君ニ御分リ申サユウニ申シマスガ、昨日賛成反對ノ二ツノ種類ニ分レテ粟谷品三君ガ劈頭第一ニ上奏案ニ反對セラレタトキニ、解散ガ恐ロシイカラ反對ヲスルト言ハレタ、此理由ハ昨日反對セラレタ諸君ガ皆御同意デアアルマイ、ソレ故ニ演説ト謂ヒ理由書ト謂ヒ全部同意ト云フコトハナイ

○井上角五郎君(二百二十番) 宜シイ

○中村彌六君(九十七番) 討論終結ノ動議ヲ提出シマス

(賛成々々)のーくーノ聲起ル

○草刈親明君(百四十番) 此修正案ニアル通り政府ノ行爲ハ凡テ立憲的動作ニ非ズト認ムト自信シテ居ルカ、此原案ニ記載シタ事項ノ外ハ本院ハ政府ノ行爲ヲ總テ自認シタモノトナル御意見デアリマスカ

○島田三郎君(三十一番) 左様

○草刈親明君(百四十番) 犬養君ノ修正案ハ現内閣ノ行爲ハ非理不當ト認ムト云フ事柄ハ原案ノ方カラ——反對カラ解釋スルト現内閣ノ總テノ行爲ガ皆不當非理ト云フコトニナルガ、然ラバ則チ國會ヲ開イテ居ル現内閣ノ所爲モ不當トセラル、カ

○島田三郎君(三十一番) 誠ニ不當ナル質問ト思フ、内閣ノ信任ヲ問フト云フコトハ政略ニ就イテ大ナル政務ニ依ッテ説明スル箇條ヲ舉ゲテ……ソレニ含レテ居ル

○草刈親明君(百四十番) 原案ノ方ハ……

○島田三郎君(三十一番) 原案ニハ朝鮮政略トカ、一般ノ外交政略ハ洩レテ居ル、解散ヲシタ手續ガ惡ルイト云フコトダケ解散其モノ、理由ハ含マレテ居ラヌノデ不完全極ルト思フ

(討論終結)ト呼フ者アリ「登壇ヲ許スベシ」ト呼フ者アリ議場騷然タリ

○議長(楠本正隆君) 二百二十三番

(中村彌六君九十七番ガ討論終結ノ動議ヲ出シテ賛成ガアリマス)ト呼フ

(野平櫻君演壇ニ登ル)

○野平櫻君(二百二十三番) 少し聲ガ出マセヌガ、私ノ極ク惡意ナ強イ其相撲取ガ居リマスガ、關取ガ何時デモ勝ツタ話バカリシテ負ケタ話ヲシナイ、ソコデ私ガ問フニ貴様ハ負ケタコトハナイカト言フタラ、關取笑ッテ言フニ私ノ負ケタ話ハ勝ツタ方デスルカラ負ケタ話ハシナイデモ宜イト言フタ(拍手起ル)總テ今ノ對外硬派ト言フテ居ルモノハ、相撲取ガ勝ツタ話ヲシテ負ケタ話ヲシナイト同一デアアル、外面ハ柔らいコトヲ言フガ、其實ハ弱イ(中村彌六君「解散ヲ恐ルノダ」ト呼フ)弱イ證據ヲ申シマセウ、元來對外硬派ハ表面ニ強イコトヲ云フガ、其實吾々ヨリ一層腰拔ガ多イ(のーく)黙ッテ

聞ケ、元來四十三番ノ和田彦次郎君ノ如キハ競馬場ニアル所ノ人デアアル、  
 兩方目ヲ隠シテアル馬車馬ノ人デアアル、ソレ故ニ自由黨ノ中ニハ弱イヤウ  
 ニ見ユルガ、彼ノ張子房ノ如キモノガアルト云フコトハ見ユヌデアアル、則  
 チ自由黨ハ弱イノシヤナイ、張子房ガ君等ノ如キ馬車馬ノ人間ニハ見ユヌ  
 ノデアアル(大演説大演説)ト呼フ者アリ、今ノ島田君ガ言ハレタコトハさつば  
 リ分ラヌ、島田君ハ改進黨中錚々タル人物ト聞イテ居ル、其人ガ演壇ニ登ッ  
 テドウ言ツテ居リマス、此決議案ハ無理有害ナルモノデアアルト云フコト  
 果シテ無理有害デアアルナラバ何故絶對的ニ反對シナイ、無理有害ト云フコト  
 ニ就イテハ毫モ理由ヲ言ハナイデ、長ト新聞ノ取次、歴史ノ講釋ガアリマ  
 シタガ、斯ル新聞ノ取次歴史ノ講釋ハ改進黨ノ專門學校カ若クハ府下ノ寄席  
 ニ往ツテヤツタラ大當リデアラウト思フ(能ク角力取リノ犢鼻褌ニ似テ居  
 ル)ト呼フ者アリ「角力取ノ講釋ハ回向院ニ往ツテヤレ」ト呼フ者アリ「黙ッテ聞  
 ケ、又厲行案ノ必要ナルコトヲ言ハレマシタガ、既ニ厲行案ハ先キニ  
 出シタモノヲ今回ハヨウ出サナイデアハナイカ、昨日厲行案ハ上奏案デ破レ  
 タ、其昨日ノ愚痴ヲ今日此處デ言フハ餘リ大人氣ナイ、今日此處デ愚痴ヲ言ッ  
 タツテ詰ラヌ、元來平生反對黨ハドウ云フ、國家ニ對シテ責任ヲ持ッテ居  
 ラナケレバナラヌ、内閣ニ對シテ責任ヲ責メルト云フテ居ル、然ラバ何故反  
 對ノ人ハ國家ニ對シテ責任ヲ帶ビテ議論ヲシナイノデアアルカ、此修正案ト云  
 フモノヲ見マスルニ内閣ノ行爲ト云フコトガアル、内閣ノ行爲トハ何ノコト  
 デゴザリマス、詰リ雲ヲ掴ミ風ヲ握ル様ナコトデアハナイカ、何故行爲ニ就イテ  
 責任ヲ帶ビテ列舉シナイ、例ヲ取ツテ言ヘバ四十三番和田彦次郎ハイヤダト云  
 フト同ジダ(和田彦次郎君三十九番ダカラ能ク見給ヘ)ト呼フ者三十九番カヨ  
 シ「モウ止メタラ宜カラウ」ト呼フ者アリ「黙ッテ聞ケ、内閣ニ信任  
 ガナイト云フコトヲ決議シタラバ如何ナルコトガアリマスカ、何モ效力ハナ  
 イ、イヤダト云フコトヲ言フ位ナコトデ何ノ(ちまモナイ、又修正ト云フコ  
 トニ就キマシテ修正デモ何デモナイ、別ノ物デ解散ニ關スル決議案ヲ議スル  
 ニ當ツテ、之ニ向ツテ不信任ト云フコトヲ言フノハ修正案デモ何デモナイ、  
 今少シ氣ノ利イタコトヲ言ハナケレバナラヌ、要スルニ長イコトハ申シマセ  
 スガ、詰リ反對黨ノ人ハ條約厲行案ヲ出スコトヲシテ上奏案ヲ出ス、ソレガ  
 否決ヲスルト今日愚痴ヲコボスタメニ斯ルコトヲ致シマシテ國家重要ノ議事  
 ヲ妨グルハ國民ニ對シテ最モ不親切ノモノデアアル、故ニ私ハ此反對黨ニ如何  
 ナル議論ガアルニモ拘ラス此修正案ハ否決ヲ致シタイト思ヒマス(惜イ  
 惜イ)ト呼フ者アリ)

○前川楨造君(百二十四番) 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス  
 (賛成々々)ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 討論終結ガ問題ニナリマシタ、討論終結ノ決ヲ採リマ  
 ス、百二十四番ノ提出ニ係ル討論終結ノ動議ニ同意ノ諸君ハ起立  
 起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數  
 ○高田早苗君(八十番) 闕席者ガアルカラ御注意ヲ願ヒマス

○河島醇君(四十一番) 記名投票ヲ願ヒマス  
 (賛成々々)ト呼フ者アリ

○野出鎔三郎君(二百六番) 記名投票ニ希望致シマス  
 ○議長(楠本正隆君) 此問題ハ重大ナ問題デゴザリマスカラ、記名投票ヲ以  
 テ決議ヲ採リマス  
 (異議ナシ)ト呼フ者ナリ

○議長(楠本正隆君) 閉鎖  
 ○星亨君(四十八番) ドウデス、モウ少シ待ッテハ……  
 ○議長(楠本正隆君) 是ヨリ修正案ノ決ヲ採リマス、修正ヲ可トスル諸君ハ  
 白票ニ記名ヲ……  
 (モット大キナ聲デ願ヒマス)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 否トスル者ハ青票ニ姓名ヲ御書キニ……  
 (モウ一度願ヒマス)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 白ハ修正案ニ賛成  
 ○神輿知常君(二百六十五番) 修正案ノ可否ヲ採リ、其後トデ修正ガ成立チ  
 マセスケレバ原案ニ就イテ……  
 ○議長(楠本正隆君) ソレカラ原案ニ就イテ採リマス、是ヨリ氏名點呼ヲ始  
 メマス

(町田書記官氏名ヲ點呼ス)  
 ○議長(楠本正隆君) 是ヨリ開匣致シマスル  
 (書記官投票ノ數ヲ計算ス)

○議長(楠本正隆君) 諸君、氏名ノ結果ヲ報道致シマスル——投票ノ……  
 總數 二百八十八

修正案ヲ可トスル者 百二十九  
 否トスル者 百四十九

○議長(楠本正隆君) 著席——諸君、著席ヲ願ヒマス  
 ○野出鎔三郎君(二百六番) モウ今度ハ投票スルニ及バヌト思フ直グ分ル  
 (昇怯ナコトヲ言ヒ給フナ)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 議長ノ宣告ガアツテ續イテ居ル——閉鎖ヲ命ジマス  
 ——記名投票ヲ以テ原案ノ決議ヲ採リマス——氏名點呼ヲ始メマス、原案ヲ  
 可トスル者ハ白  
 (書記官氏名ヲ點呼ス)

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ開匣ヲ致シマスル  
 (町田書記官投票ノ數ヲ計算ス)

○議長(楠本正隆君) 諸君、投票ノ結果ヲ報道致シマス  
 總數 二百七十九

原案ヲ可トスル者 百三十一  
 之ヲ否トスル者 百四十八

(拍手起リ)内閣萬歳ト呼フ者アリ

諸君著席ヲ乞ヒマス、未ダ六時ニハ相成リマセスケレドモ今夕ハ特別委員ヲ  
 選定スルコトニ致シ、議事ハ是デ止メ、特別委員ヲ選定スルコトニ致シマス

(異議ナシ)ト呼フ者多シ)明日ノ議事日程ヲ報道致シマス

[水野書記官長朗讀]

議事日程 第四號 明治二十七年五月十九日(土曜日)

午後一時開議

第一 上奏案(片岡健吉君外五名提出)

第二 田畑地價特別修正法律案(東尾平太郎君外二十三名提出)

第一讀會

第三 古物商取締條例改正法律案(森東一郎君外十名提出)

第一讀會

第四 市制中東京市京都市大阪市ニ設ケタル特別廢止法律案(加藤喜右衛門君外二名提出)

第一讀會

第五 市制中追加法律案(加藤喜右衛門君外二名提出)

第一讀會

○議長(楠本正隆君) 是デ散會

午後五時四十九分散會

衆議院速記録第二號正誤

頁	段	行	誤	正	頁	段	行	誤	正
二九	下	三八	達シ	連シ	四二	上	一八	遣ラヌ	遣ラス